

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Hブロック】

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
H	音楽	オーケストラ等	日本センチュリー交響楽団	○	○	○	○	日本センチュリー交響楽団の 見て、聴いて、一緒に！オーケストラ♪	ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲、オッフエンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲、徳山 美奈子：大阪素描 より 祭、各校校歌 等 【小学校公演】三村総徹編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」、すぎやまこういち：ドラゴンクエスト 序曲 等 【中学校公演】アンダーソン：プリンク・ブレンク・ブランク、スメタナ：連作交響詩『我が祖国』より モルダウ（フルタヴァ） 等	
H	音楽	オーケストラ等	シエナ・ウインド・オーケストラ	○	○	○	○	みんなのハートは何拍子？～吹奏楽の楽器と拍子が学べるコンサート～	【オープニング】リード：「吹奏楽のための第一組曲」より「ギャロップ」 【2拍子】ビゼー：歌劇「カルメン」より「ハバナラ」等 【3拍子】サン・サーンス：「動物の謝肉祭」より「ぞう」等 （共演コーナー）シンスタイン：ロック・トラップ 等 【5拍子】シプリン：ミッション・インポッシブル 【6拍子～変拍子】ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」より「私のお気に入り」 【アンコール】スーザ：星条旗よ永遠なれ 等	
H	音楽	オーケストラ等	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	○	○	○	○	神奈川フィル「ゆめコンサート」オーケストラと共演！	1. ビゼー作曲：歌劇「カルメン」より前奏曲（省略） 3. オーケストラの楽器の紹介（1種類ごと） 4. 一緒に演奏しよう！（共演） ロジャース作曲：サウンド・オブ・ミュージック 【中学校吹奏楽等】 5. 児童生徒作詞作曲：私たちだけの合唱曲（省略） 7. （アンコール）校歌（オーケストラによる特別編曲の演奏と斉唱） 等	R2 (継続)
H	演劇	児童劇	人形劇団むすび座	○	○	○	-	自己肯定感を育む人形劇「オズのまほうつかい」～自分を好きになる冒険の旅～	「オズのまほうつかい」 原作：ライマン・ボーム 脚色：篠原久美子（劇団劇作家） 演出：関根信一（劇団フライングステージ） 美術：宮武史郎・小辻賢典 音楽：音響ノノヤママナコ（マナコ・プロジェクト） 振付：振付指導／LONTO（ラストラダカンパニー）・服部哲郎（afterimage） 衣装デザイン／長谷川真代 照明：若狭慶大（藤井照明） 合唱指導／板倉恵三子・板倉歌奈子 制作／吉田明子・伊藤博美	
H	演劇	演劇	有限会社 劇団銅鑼	○	○	○	○	劇団銅鑼公演「いのちの花」	「いのちの花」 原作：向井愛実著「いのちの花」(株式会社WAVE出版刊) 演 晴巳香「世界でいちばんかわいい花 それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(キャンビット刊) 脚本：畑澤聖悟 演出：齊藤理恵子	
H	舞踊	バレエ	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	○	○	○	○	貞松・浜田バレエ団 『子供のためのバレエ鑑賞会』	白鳥の湖ハイライト(2幕・4幕の湖の場より) チャイコフスキー曲 日本のバレエ『祭』 中村茂隆選曲 ※その他演目にて小中学校用あり	
H	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益社団法人 宝生会	○	○	○	○	はじめまして 能楽	■狂言「柿山伏」 ■能「黒塚」	
H	伝統芸能	邦楽	邦楽グループ「玉手箱」	○	○	○	○	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」	1. 六段調 2. 鹿の遠音 3. 琵琶 4. 春の海 5. 雪ものがたり～朗読入り～または「海鳴り」 6. バロック風「日本の四季より」 ※または「ワールド・トリップ！」 7. 合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう	
H	伝統芸能	邦舞	沖縄伝統組踊「子の会」	○	○	○	○	おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』	本公演演目：琉球舞踊『四つ竹』と 組踊『万歳(まんざい)敵討(てきうち)』 監修：宮城能鳳(みやぎのうほう) 等	
H	伝統芸能	演芸	わんぱく寄席・学校寄席	○	○	○	○	みんなで笑おう！「わんぱく寄席」「学校寄席」	1. 開口一番 2. 上方落語 3. 江戸落語 4. 代表児童・生徒による落語発表会と寄席語り「かつぼれ」 5. 色物 6. 落語 ※落語の演目は「牛ほめ」「子ほめ」「お菊の皿」「つる」「狸の札」「元犬」など子どもたちにわかりやすいものの中から、子どもたちの雰囲気を見て落語家が当日選定します。	

【C区分団体】

G・H・I・J	音楽	オーケストラ等	京都フィルハーモニー室内合奏団	○	○	○	-	夢いっぱいコンサート	■ウイリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッセーニ作曲 ■ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」第1楽章/ヴィヴァルディ作曲 ■すいすいずっこころばし(童謡)(木管五重奏) ■人形の歌～オペラ「ホフマン物語」より(歌)/オッフェンバック作曲 ■「アルルの女」よりメヌエット、ファンタジー/ビゼー作曲 ■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 ■ポストホルンキャロップ/ケーニヒ作曲 ■交響詩「魔法使いの弟子」(パレシオン付)/デュカス作曲 等	
H・I・J	音楽	音楽劇	ミラマレーオペラ	○	○	○	○	オペラ「おこんじょうり」 命と呼びかけの大切さを知るために	オペラ「おこんじょうり」 作曲：林光 原作：さねとうあきら 台本：若林一郎 演出：三浦安浩 振付：三浦安浩	
G・H・I・J	演劇	児童劇	劇団風の子九州	○	○	○	-	「あっかんべー！」は男気の言葉（「やだ、やだ あっかんべー！」公演）	「やだ、やだ あっかんべー！」 作・演出/あさのゆみこ 音楽・効果/曲尾友克 美術/あさのゆみこ	
H・I・J	演劇	ミュージカル	劇団ショーマンシップ	○	○	○	-	笑って！泣いて！心揺さぶる物語を子供たちへ	『ないた赤おに』 原作：浜田廣介 脚色・演出：仲谷一志 音楽：山浦弘志 振付：近藤勇人 制作総指揮：仲谷一志	
G・H・I・J	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	囃子堂 音楽として聴く能	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早稲 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については、実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し、文化庁(事務局)、実施団体、実施校間において、必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため、各企画の出演希望調査では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から、「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

巡回ブロック	A・B区分団体									
	H207	H235	H1602	H407	H514	H708	H939	H1119	H1205	H1304
	日本センチュリー交響楽団	シエナ・ウインド・オーケストラ	神楽川ファミリーモニー管弦楽団	人形劇団もすび屋	有楽会社 劇団朝陽	一般社団法人 興松・浜田バレエ団	公益社団法人 宝楽会	邦楽グループ「玉手箱」	沖縄広域連合「子の会」	わんぱく音楽・学校音楽隊
項目	H	H	H	H	H	H	H	H	H	
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし
6月1日	火									
6月2日	水									
6月3日	木									
6月4日	金									
6月5日	土									
6月6日	日									
6月7日	月									
6月8日	火									
6月9日	水									
6月10日	木									
6月11日	金									
6月12日	土									
6月13日	日									
6月14日	月	○	○							
6月15日	火	○	○							
6月16日	水	○	○							
6月17日	木	○	○							
6月18日	金	○	○							
6月19日	土									
6月20日	日									
6月21日	月		○							
6月22日	火		○							
6月23日	水		○							
6月24日	木		○							
6月25日	金		○							
6月26日	土									
6月27日	日									
6月28日	月		○							
6月29日	火		○							
6月30日	水		○							
7月1日	木		○							
7月2日	金		○							
7月3日	土									
7月4日	日									
7月5日	月									
7月6日	火		○							
7月7日	水		○							
7月8日	木		○							
7月9日	金		○							
7月10日	土									
7月11日	日									
7月12日	月		○							
7月13日	火		○							
7月14日	水		○							
7月15日	木		○							
7月16日	金		○							
7月17日	土									
7月18日	日									
7月19日	月									
7月20日	火									
7月21日	水									
7月22日	木									
7月23日	金									
7月24日	土									
7月25日	日									
7月26日	月									
7月27日	火									
7月28日	水									
7月29日	木									
7月30日	金									
7月31日	土									
8月1日	日									
8月2日	月									
8月3日	火									
8月4日	水									
8月5日	木									
8月6日	金									
8月7日	土									
8月8日	日									
8月9日	月									
8月10日	火									
8月11日	水									
8月12日	木									
8月13日	金									
8月14日	土									
8月15日	日									
8月16日	月									
8月17日	火									
8月18日	水									
8月19日	木									
8月20日	金									
8月21日	土									
8月22日	日									
8月23日	月									
8月24日	火		○							
8月25日	水		○							
8月26日	木		○							
8月27日	金		○							
8月28日	土									
8月29日	日									
8月30日	月		○							
8月31日	火		○							
9月1日	水		○							
9月2日	木		○							
9月3日	金		○							
9月4日	土									
9月5日	日									
9月6日	月									
9月7日	火	●	○							
9月8日	水	○	○							
9月9日	木	○	○							
9月10日	金	○	○							
9月11日	土									
9月12日	日									
9月13日	月		○							
9月14日	火		○							
9月15日	水		○							
9月16日	木		○							
9月17日	金		○							
9月18日	土									
9月19日	日									
9月20日	月									
9月21日	火		○							

C区分団体				
K263	K316	K442	K621	K940
京都フィルハーモニー室内合奏団	ミラマール・オペラ	劇団風の子九州	劇団ショーマンシブ	一般社団法人 京都音楽女子合唱会
G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J	H/I/J	G/H/I/J
オーケストラ等	音楽劇	児童劇	ミュージカル	歌舞伎・音楽
なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	○			
6月2日	○			
6月3日	○			
6月4日	○			
6月5日	○			
6月6日	○			
6月7日	○			
6月8日	○			
6月9日	○			
6月10日	○			
6月11日	○			
6月12日	○			
6月13日	○			
6月14日	○			
6月15日	○			
6月16日	○			
6月17日	○			
6月18日	○			
6月19日	○			
6月20日	○			
6月21日	○			
6月22日	○			
6月23日	○			
6月24日	○			
6月25日	○			
6月26日	○			
6月27日	○			
6月28日	○			
6月29日	○			
6月30日	○			
7月1日	○			
7月2日	○			
7月3日	○			
7月4日	○			
7月5日	○			
7月6日	○			
7月7日	○			
7月8日	○			
7月9日	○			
7月10日	○			
7月11日	○			
7月12日	○			
7月13日	○			
7月14日	○			
7月15日	○			
7月16日	○			
7月17日	○			
7月18日	○			
7月19日	○			
7月20日	○			
7月21日	○			
7月22日	○			
7月23日	○			
7月24日	○			
7月25日	○			
7月26日	○			
7月27日	○			
7月28日	○			
7月29日	○			
7月30日	○			
7月31日	○			
8月1日	○			
8月2日	○			
8月3日	○			
8月4日	○			
8月5日	○			
8月6日	○			
8月7日	○			
8月8日	○			
8月9日	○			
8月10日	○			
8月11日	○			
8月12日	○			
8月13日	○			
8月14日	○			
8月15日	○			
8月16日	○			
8月17日	○			
8月18日	○			
8月19日	○			
8月20日	○			
8月21日	○			
8月22日	○			
8月23日	○			
8月24日	○			
8月25日	○			
8月26日	○			
8月27日	○			
8月28日	○			
8月29日	○			
8月30日	○			
8月31日	○			
9月1日	○			
9月2日	○			
9月3日	○			
9月4日	○			
9月5日	○			
9月6日	○			
9月7日	○			
9月8日	○			
9月9日	○			
9月10日	○			
9月11日	○			
9月12日	○			
9月13日	○			
9月14日	○			
9月15日	○			
9月16日	○			
9月17日	○			
9月18日	○			
9月19日	○			
9月20日	○			
9月21日	○			



## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんせんちゅりーこうきょうがくだん ----- 公益財団法人日本センチュリー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 水野武夫		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-0885 大阪府豊中市岡町1-1 きたしん豊中ビル6F (阪急電鉄 岡町駅)		
電話番号	06-6848-3333	FAX番号	06-6848-3345
ふりがな 公演団体名	にほんせんちゅりーこうきょうがくだん ----- 日本センチュリー交響楽団		
代表者職・氏名	楽団長 望月 正樹		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-7 (北大阪急行 緑地公園駅)		
制作団体 設立年月	1989年 5月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:水野武夫 専務理事:望月正樹 他 理事、評議員、監事	日本センチュリー交響楽団 楽団員 2管10型(定員55名) 首席指揮者:飯森範親 ミュージックアドバイザー:秋山和慶 首席客演指揮者:久石譲(2021年4月より) コンサートマスター:後藤龍伸、松浦奈々、荒井英治 事務局員 14名 加入条件 楽団員はオーディションにより採用	
事務体制の担当	<input type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部 西岡 千博

経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	総務・経理部長 武田 嘉子
制作団体沿革	<p>大阪府のオーケストラとして 1989 年に発足し、府民への公募で大阪センチュリー交響楽団と命名される。2011 年に大阪府から独立し、現在の名称(日本センチュリー交響楽団)となる。2019 年に創立 30 周年を迎えた。</p> <p>ウリエル・セガルが名誉指揮者を、飯森範親が首席指揮者を、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021 年 4 月より、首席客演指揮者に久石譲が就任予定。</p> <p>「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念の基 づき、演奏を通して多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、新しい時代のオーケストラとし て発展を目指し活動している。</p>		
学校等における 公演実績	<p>◆Touch The Orchestra 当団練習場である、センチュリー・オーケストラハウスにおいて、小学校高学年を対象に、体験型 コンサートを年間 8 公演開催。</p> <p>◆豊中市との連携事業 2018 年度より、豊中市と連携し、中学生舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ」(中学 1 年生対 象、合同鑑賞会)を 3 公演開催、年々参加校は増加しており、2021 年度には 4 公演を目指す。</p> <p>◆大阪市北区役所事業「中学校部活動支援事業 特別講師派遣(吹奏楽部・音楽部)」に、各楽器 講師を派遣し、大阪市立中学校(北区内全 4 校)の吹奏楽部、音楽部への指導を行う。 また、2020 年度からは、大阪市北区役所事業として、北区内中学校の合同鑑賞会を受託し 2 月に 公演開催の予定。</p> <p>◆青少年向けコンサート「こどもクラシックの日」 豊中市立文化芸術センターを全館使用した公演。オーケストラ公演をはじめ、0 歳児からのコンサ ートや楽器体験ワークショップ、作曲ワークショップなど、様々な企画に参加。</p> <p>その他、学校へ出向いての室内楽公演や青少年向けの室内楽公演を 2020 年度は 8 公演程度を 予定。</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>◆特別支援学校コンサート 大阪府内の特別支援学校の児童・生徒を対象に、完全バリアフリーのホール(国際障害者交流セ ンター)にて、オーケストラコンサートを年 1 回開催している。2019 年度より、文化庁「障害者による文 化芸術活動推進事業」に 2 年連続採択。</p> <p>◆支援学校アンサンブルコンサート 大阪府内の支援学校へ出向いての室内楽公演を年間 5 公演開催。 2020 年度については、上記、文化庁「障害者による文化芸術活動推進事業」の採択内容の一部 として、オーケストラコンサートとの一貫性をもって実施している。</p>		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ <input type="checkbox"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパス ワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパス ワード	ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 日本センチュリー交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	日本センチュリー交響楽団の 見て、聴いて、一緒に！オーケストラ♪		
<p>本公演演目</p> <p>原作 / 作曲 脚 本 演出 / 振付</p>	<p><b>小学校公演</b></p> <p>【オープニング】ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲  【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏  【オーケストラが奏でるみんなの校歌】各校校歌  【オーケストラとの共演①】三村総撤編:手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」  — 休憩 —  【サプライズファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)  すぎやまこういち:ドラゴンクエスト序曲  【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)  オフエンバック:歌劇『天国と地獄』より序曲(抜粋)  【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子:大阪素描 より 祭  【オーケストラとの共演②】(以下より1曲を選択)  杉本竜一:ピリブ、村井邦彦:翼をください、平吉毅州:気球に乗ってどこまでも  菅野よう子:花は咲く、米津玄師:パブリカ、F.W.メラー:ゆかいに歩けば  【大迫力のオーケストラ】チャイコフスキー:バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ  【アンコール】久石譲:「となりのトトロ」～さんぽ</p> <p><b>中学校公演</b></p> <p>【オープニング】ビゼー:歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲  【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】各楽器の説明と演奏  アンダーソン:プリンク・プレング・プランク  アルフォード:ボギー大佐  【オーケストラの響きの発展】  ヘンデル:水上の音楽より アラ・ホーンパイプ  オフエンバック:歌劇『天国と地獄』より序曲  — 休憩 —  【オーケストラとの共演】(以下より1曲を選択)  ホルスト:吹奏楽のための第一組曲より行進曲 (吹奏楽部)  村井邦彦:翼をください (全校合唱)、八木澤教司:あすという日が (全校合唱)  【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)  ブラームス:ハンガリー舞曲第5番(抜粋)  【オーケストラで感じる大阪の色】徳山 美奈子:大阪素描 より 祭  【大迫力のオーケストラ】スメタナ:連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)  【アンコール】各校校歌</p> <p style="text-align: right;">公演時間(90分)</p>		
著作権	制作団体が 所有	○ 制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含ま れる場合) 許諾の有無

## 演目概要

子ども達とオーケストラとの一期一会の特別なコンサート、初めてオーケストラを聴く子ども達が、集中力を切らさず、オーケストラの魅力を存分に味わうことができる曲目構成としました。また、子ども達の成長過程に合わせた公演内容とするため、小学校と中学校では異なるプログラムを用意し、それぞれより深く、オーケストラや音楽に親しめるように、そして、ワークショップとの繋がりがより濃くなるように構成しております。それぞれの作品は、聴きやすい旋律を持ちながらも、異なる性格を持ち、その対比を感じ取ることによって、音楽に対する感性を働かせ、音楽の多様性を感じられるものを選択しています。

また、子ども達がオーケストラと共に音楽を作る作品も盛り込み、自発的な活動を引き出し、双方向のコミュニケーションを取れることを目指します。また、鑑賞・参加することによって、日本だけでなく世界の音楽と文化との関わりを感じ取りやすい作品や、人々に長く親しまれている作品に自然とふれることができる、そして全身で音楽の魅力を体感できる曲目構成としました。

### 【オーケストラの響や迫力を楽しむ作品】

ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲  
チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より 花のワルツ  
スメタナ：連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)

### 【オーケストラと共に音楽を作り上げる作品】

三村総撤編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」(手拍子での共演)  
杉本竜一：ピリブ、村井邦彦：翼をください 他 (歌唱での共演)  
ホルスト：吹奏楽のための第一組曲より行進曲 (吹奏楽部との共演)

### 【日本の文化を体験・感じる作品】

三村総撤編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap! 2」  
/手拍子を通じて、わが国に伝わる民謡(ソーラン節)や手拍子(揉み手)などの体験  
徳山 美奈子：大阪素描 より 祭  
/大阪の伝統的な祭りを題材とした作品、公演地域との文化交流も図る

### 【オーケストラの歴史的発展を聴く】

ヘンデル：水上の音楽より アラ・ホーンパイプ  
オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲

### 【オーケストラの仕組み、楽器への知識を深める】

アンダーソン：プリンク・プレング・プランク  
アルフォード：ボギー大佐 他、楽器紹介

## 演目選択理由

### 各曲選択の共通した事由

- ・初めてオーケストラを聴く子ども達に、聴きやすいメロディーや要素を持った作品であること。
- ・子ども達の集中力の途切れない長さの作品であること。
- ・親しみやすさと芸術性を兼ね備えている作品であること。
- ・曲想やその変化など、作品の特徴を感じ取りやすい作品であること。
- ・子ども達と共演する作品は、共に音楽を作りあげたという達成感と、楽しかった充実感を感じることができる作品であること。
- ・会場となる体育館で、最大限の演奏効果を上げることのできる作品であること。
- ・日本センチュリー交響楽団ならではの作品を組み込むこと。

### 作品ごとの具体的自由

#### 【ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲】

明るい曲調で音楽の多彩な響を楽しむことができる、オープニングにピッタリの作品。  
コンサートへの期待感をより高めることができる。

#### 【徳山 美奈子：大阪素描 より 祭】

我が国の伝統、その土地ならではの文化をオーケストラの迫力あるサウンドで楽しむことができる。  
題材が祭りであることから、音楽の社会との関わりや働きについて意識を深めることができる。

	<p>【ヘンデル:水上の音楽より アラ・ホーンパイプ】 オーケストラの始まりとなる時代の作品で、オーケストラの発展を感じることができる。</p> <p>【オッフェンバック:歌劇『天国と地獄』より序曲】 ヘンデルとの対比が如実である作品。およそ 200 年の歳月によって発展したオーケストラの響きを感じることができる。また、各楽器の音色やオーケストラの中で担う役割をハッキリと感じることができる。よく知っているフレーズ(カンカンの部分)だけではなく、作品全体を鑑賞することで、作品の構成や変化を知ることの重要性にも気づくことができる。</p> <p>【スメタナ:連作交響詩『我が祖国』より モルダウ(ブルタヴァ)】 曲調の変化から、音楽によって表現される心情や情景描写を感じることができ、力強い響きや旋律、繊細な表現など音楽の幅広さを感じることもできる。音楽を多角的に体験するには最適な作品といえる。</p>							
<p>児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態</p>	<p>【指揮者を体験してみよう】(小中学校プログラム共通) 学校代表の児童・生徒に“指揮者”を体験してもらいます。指揮者はどうして必要か、指揮者は何をしているのか、オーケストラの前に立つ緊張感、オーケストラの演奏の迫力を誰よりも近くで聴く、とても貴重な体験になることでしょう。</p> <p>【手拍子協奏曲「Clip Beat Clap!2」】(小学校プログラム) 日本センチュリー交響楽団のコンサートはタイトル通り、オーケストラと児童のみなさんが一緒に公演を作り上げます。当団オリジナルで作成した、手拍子協奏曲「クリップ・ビート・クラップ！2」では、行進曲からはじまり、日本の民謡(ソーラン節)、ラテン音楽やフラメンコのリズムなど、様々なリズムパターンを体験し、手拍子でオーケストラと共演し、会場にいる人全員が演奏者となります。</p> <p>【オーケストラの伴奏で歌おう】(小中学校プログラム共通) 普段は先生のピアノ伴奏やCDの伴奏で歌っている合唱曲も、伴奏がオーケストラになれば、雰囲気は全く違います。オーケストラの演奏の中に自分たちの声が包まれ、大きな響きの中で歌う体験をしていただきます。選択曲の幅を広げ、それぞれの学校に適した作品を選択いただきます、小規模校にも、音楽に力を入れている学校にも、柔軟に対応いたします。</p> <p>【吹奏楽部との共演】(中学校プログラム) 中学校公演で学校からの希望がある場合は、吹奏楽部とオーケストラとの共演を選択いただけます。吹奏楽とオーケストラ共に数多くの名作を残した作曲家 G.ホルストの吹奏楽の作品と一緒に演奏します。</p> <p>【校歌のプレゼント】 各実施校の校歌をオーケストラ伴奏版に編曲し、会場で演奏します。また、公演の記念として、オーケストラ伴奏を CD に録音し、楽譜と併せて学校に贈呈します。</p>							
<p>出演者</p>	<p>指揮者:栗辻 聡 他(調整中) 管弦楽:日本センチュリー交響楽団(編成:2 管 10 型)</p>							
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">出演者: 59名</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">機材等 運搬方法</td> <td style="text-align: center;">積載量 6.6t</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">スタッフ: 6名</td> <td style="text-align: center;">車長 9.4m</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計: 65名</td> <td style="text-align: center;">台数 1台</td> </tr> </table>	出演者: 59名	機材等 運搬方法	積載量 6.6t	スタッフ: 6名	車長 9.4m	合計: 65名	台数 1台
出演者: 59名	機材等 運搬方法	積載量 6.6t						
スタッフ: 6名		車長 9.4m						
合計: 65名		台数 1台						

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ <input checked="" type="checkbox"/> ) 会場設営の所要時間(2時間程度) <table border="1" data-bbox="336 548 1377 629"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:00</td> <td>9:30～12:30</td> <td>13:30～15:00</td> <td>15分</td> <td>15:00～16:00</td> <td>16:15</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	9:00	9:30～12:30	13:30～15:00	15分	15:00～16:00	16:15
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
9:00	9:30～12:30	13:30～15:00	15分	15:00～16:00	16:15													
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	10～700名(体育館のサイズによる)																
	本公演	10～700名(体育館のサイズによる)																
ワークショップ実施形態及び内容	<p><b>小学校プログラム</b></p> <p>コンサートの雰囲気慣れ、音楽や楽器、オーケストラに興味を持って本公演に臨むことができるようにすることを目標としています。</p> <p>ワークショップの前半はコンサートの楽しみ方について、拍手などの聴衆の表現方法を体験しながら、コンサートが演奏だけでなく、客席と舞台、双方向のコミュニケーションによって成り立つことを伝え、実際に体験をしていただきます。また、オーケストラの歴史や楽器の種類と仕組み、音楽の要素について演奏を交えながら説明をしていき、オーケストラを身近なものとして受け入れることができる環境を作っていきます。</p> <p>後半は、ボイスアンサンブルや本公演で共演する合唱曲の歌唱の練習など実際に子ども達が能動的に参加する場面をより多く設けます。子ども達自らが参加することによって、音楽やコンサートを共に作るということを体験し、コンサートは双方向のコミュニケーションによって成り立つものであることという実感を強めていただきます。</p> <p>共演する合唱曲については、担当の先生との打合せを行い、指導状況、レベルを確認した上で、オーケストラの奏者からという普段の授業の指導とは別の目線からの課題を子ども達に提示します。ちょっとした工夫で音楽の表現が豊かになることや、音楽を作る楽しさを体験することで、音楽表現についての興味関心を高めます。また、子ども達とのコミュニケーションを図り、奏者やオーケストラを身近なものとして感じてもらうことで、本公演への期待感、オーケストラへの親近感を、更には、ワークショップ全体を通じてコンサートに積極的に参加する意識を高めます。</p> <p><b>中学校プログラム</b></p> <p>-吹奏楽部との共演がある学校-</p> <p>共演曲の技術指導を行います。ワークショップの前半は、木管楽器、金管楽器、打楽器とセクションごとのグループに分かれて、生徒それぞれのレベルに合わせた技術指導を行います。</p> <p>後半は合奏練習により、アンサンブル力の向上や楽曲への理解を促します。</p> <p>また、ワークショップの最後には講師によるソロコンサートも行い、プロの奏者の演奏を間近で体感していただきます。時間の許す限り、子ども達の疑問点に対応し、顧問の先生とのコミュニケーションも密にして、より良い演奏を共に目指します。</p> <p>-吹奏楽部との共演がない学校-</p> <p>小学校プログラムでのワークショップの内容に加え、西洋音楽の発展が現代ポップス音楽へと続く音楽史を学ぶ要素を加えて、知的興味を深められるよう、また、本公演のプログラムへの理解を更に深められるように構成しています。</p>																	

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>本公演のプログラムを積極的に楽しめるよう、本公演と関係性の深い内容を実施することで、本公演への期待感を高めます。また、ワークショップで課題を見つけ提示することで、本公演までの期間に、子ども達が課題の解決に取り組み、本公演でその成果を発表する機会を作ることにより、文化芸術への理解を深め、鑑賞能力を高めるだけでなく、文化芸術へ自ら積極的に興味を持って参加する意識を高めます。</p> <p>また、ワークショップ、本公演を通じて、他者と協働しながら、コンサートへの積極的な参加をすることによって、学校生活や日常のさまざまな場面での積極性や、これから必要となる共生社会への参画意識が高まることに繋がることを期待しています。</p> <p><b>小学校プログラム</b></p> <p>コンサートの雰囲気早い段階で慣れ、全身で音楽を吸収できる状態を整えます。音楽の楽しさを知ることで、本公演への期待感の高まりを促します。</p> <p>また、ワークショップ講師メンバーをより身近に感じられるように呼び名やキャラクターを設定することによって、子ども達は、より身近に楽しくワークショップに参加でき、効果を高めることができると考えます。</p> <p>コンサートはただ聴くだけのものではなく、演奏者と聴衆の相乗効果によって作り上げてゆくものであるということを、実体験をもとに理解できるよう促し、本公演に積極的に参加できるような期待感を持たせます。</p> <p>普段の音楽の授業とは違う新たなアプローチによって、音楽への更なる興味や理解を促します。</p> <p><b>中学校プログラム</b></p> <p>-吹奏楽部との共演がある学校-</p> <p>楽器の基礎演奏法を理解した上で、より高度な演奏表現を学ぶ機会を設けることにより、音楽表現の視野を広げます。演奏を他者と作り上げる為のアンサンブル力を磨くことで、演奏レベルの向上を目指すと共に、楽器の演奏以外での日常生活でも、他者と協力・協調し物事を作り上げることのできる力を育成する一助となるような時間といたします。</p> <p>また、ワークショップ講師の演奏を聴くことによって、楽器演奏の可能性や演奏表現の広さを知り、自身の演奏活動の大きな目標となるようにします。</p> <p>また、ワークショップの講師メンバーと共に、基礎的な演奏技術の向上に取り組むことによって、他者と共に課題を解決するための能力を養います。</p> <p>-吹奏楽部との共演がない学校-</p> <p>小学校プログラムと同様に、コンサートはただ聴くだけのものではなく、演奏者と聴衆の相乗効果によって作り上げてゆくものであるということを、実体験をもとに理解できるよう促し、本公演に積極的に参加できるようにします。</p> <p>普段の音楽の授業とは違う新たなアプローチによって、音楽への更なる興味や理解を促します。また、音楽史という、音楽だけではない他の領域との横断的な話題の提供で、子ども達の知的好奇心から自ら調べ考えることを促すことで積極的に学習し、文化芸術への関心度を高めることを目標とします。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>演奏会場、演奏時間、曲目、開演時間など、可能な限り学校側の要望にお応えし、公演制作を行います。</p> <p>担当の先生との綿密な打ち合わせをすることによって、学校・児童生徒の状況それぞれに応じた環境作りをし、コンサートを実施いたします。</p> <p>(対応例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートの司会進行のスピードをゆっくりとする。</li> <li>・視覚支援学校の場合は司会内容に楽器紹介の説明などで楽器のサイズや演奏の姿勢などの状況描写を増やす。</li> <li>・聴覚支援学校や手話通訳を立てる必要のある場合は進行台本を事前にお渡しすることで当日の手話通訳教員がスムーズに対応できるようにする。</li> <li>・音の大きな楽器の音量を少し抑える、また、事前に音が大きくなる箇所をお伝えする。</li> <li>・演奏会場のセッティングに工夫し(体育館を横向きに使用するなど)、車椅子やバギーで参加する</li> </ul>

	子ども達も参加しやすい環境を作る。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

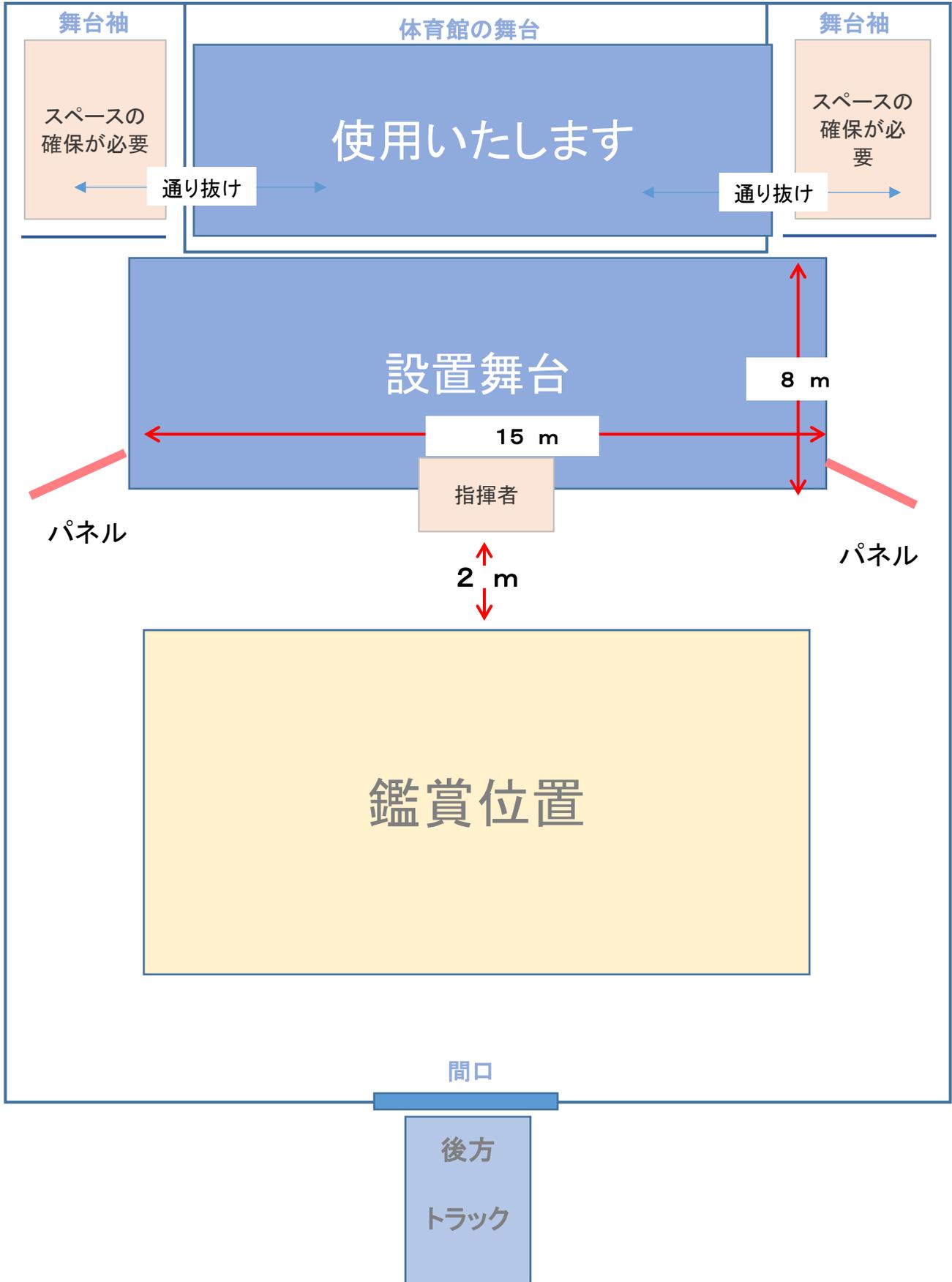
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	207	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	日本センチュリー交響楽団				制作団体名	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、コンサートマスター1室、男性、女性、着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			8tトラック	1台	大型バス	2台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			大型トラック(8t)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り階段等のない経路が望ましい。</li> <li>・屋根のある経路が望ましい。</li> </ul>					
		理由			ひな壇等舞台大道具や楽器の搬入をするため					
	—	設置階の制限 *			問わない					
不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m				
WSについて	可	参加可能人数			10～700名(体育館のサイズによる)					
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			10～700名(体育館のサイズによる)					
	不可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	不可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *	不要					
	不可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
—										
—										
—										

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# 令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業— 日本センチュリー交響楽団の 見て、聴いて、一緒に！オーケストラ♪

## 小学校プログラム

- 【オープニング】 ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲
- 【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】 各楽器の説明と演奏
- 【オーケストラが奏でるみんなの校歌】 各校校歌
- 【オーケストラとの共演①】 三村総撤編：手拍子協奏曲「Clip Beat Clap ! 2」
- 休憩—
- 【サプライズファンファーレ】(体育館後方より、金管・打楽器による演奏)  
すぎやまこういち：ドラゴンクエスト序曲
- 【指揮を体験してみよう】(各校代表者2名程度)  
オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲(抜粋)
- 【オーケストラで感じる大阪の色】 徳山 美奈子：大阪素描 より 祭
- 【オーケストラとの共演②】 (以下より1曲を選択)  
杉本竜一：ビリーブ、村井邦彦：翼をください、平吉毅州：気球に乗ってどこまでも  
菅野よう子：花は咲く、米津玄師：パプリカ、F.W.メラー：ゆかいに歩けば
- 【大迫力のオーケストラ】 チャイコフスキー：バレエ組曲『くるみ割り人形』より花のワルツ
- 【アンコール】 久石譲：「となりのトトロ」～さんぽ

## 中学校プログラム

- 【オープニング】 ビゼー：歌劇「カルメン」より第1幕への前奏曲
- 【オーケストラの仲間たち～楽器紹介～】  
各楽器の説明と演奏  
アンダーソン：プリנק・プレック・プランク  
アルフォード：ボギー大佐
- 【オーケストラの響きの発展】  
ヘンデル：水上の音楽よりアラ・ホーンパイプ  
オッフェンバック：歌劇『天国と地獄』より序曲
- 休憩—
- 【オーケストラとの共演】(以下より1曲を選択)  
ホルスト：吹奏楽のための第一組曲より行進曲 (吹奏楽部)  
村井邦彦：翼をください (全校合唱)、八木澤教司：あすという日が (全校合唱)
- 【指揮を体験してみよう】 (各校代表者2名程度)  
ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 (抜粋)
- 【オーケストラで感じる大阪の色】 徳山 美奈子：大阪素描 より 祭
- 【大迫力のオーケストラ】 スメタナ：連作交響詩『我が祖国』よりモルダウ(ブルタヴァ)
- 【アンコール】 各校校歌



# 本公演、ワークショップの様子



## 本公演の様子①

いつもの体育館を、コンサートホールに変えて  
オーケストラの魅力をたっぷりお楽しみいただけます。



## 本公演の様子②

小学校プログラム、Clip Beat Clap! は  
日本センチュリー交響楽団オリジナルの“手拍子協奏曲”  
コンサートを会場全体で作ります。



## 本公演の様子③

中学校プログラムでは、日本センチュリー交響楽団と  
吹奏楽部との共演も選択可能です。  
プロのオーケストラと一緒に演奏する  
特別な時間となることでしょう。



## ワークショップの様子①

コンサートのマナーや楽器やオーケストラの説明、  
アンサンブルの体験等、  
様々な趣向を凝らして本公演への期待を高めます。



## ワークショップの様子②

吹奏楽部との共演を選択された学校には、  
日本センチュリー交響楽団のメンバーが  
事前指導へ伺います。

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input checked="" type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしやだんほうじんじゃばんしんふおにつくういんず		
制作団体名	一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ		
代表者職・氏名	代表理事 大津立史		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7 ルネ御苑プラザ 420(東京メトロ丸ノ内線・新宿御苑前駅徒歩5分)		
電話番号	03-3357-4870	FAX番号	03-3357-4880
ふりがな	しえなういんどおーけすとら		
公演団体名	シエナ・ウインド・オーケストラ		
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-24-7 ルネ御苑プラザ 420(東京メトロ丸ノ内線・新宿御苑前駅徒歩5分)		
制作団体 設立年月	平成16年11月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:大津立史 理事:林育弘、東佳樹 監事:熊代祐子	代表理事1名、理事2名、楽団員30名、事務局員4名 楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は 規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	笠井加代子
制作団体沿革	平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人格を一般社団法人に変更。平成22年には文京区と事業提携を結び、文京シビックホールを拠点に地域と密着した活動を展開している。		

学校等における 公演実績	平成 29 年度 松本市立中学校 21 校、富士市立中学校 16 校など計 51 校にて実施 平成 30 年度 足利市立中学校 10 校、足利市立高等学校 8 校など計 59 校にて実施 令和元年度 北区立小学校 3 校、富士市立中学校 16 校など 20 校にて実施		
特別支援学校に おける公演実績	平成 19 年度 北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施 平成 26 年度 大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施 平成 29 年度 山梨県立ふじざくら支援学校にて実施 令和元年度 都立羽村特別支援学校、都立南花畑特別支援学校にて実施		
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	④ ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ ④
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	④ ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	<a href="https://ux.nu/ZcXqC">https://ux.nu/ZcXqC</a>
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	みんなのハートは何拍子?～吹奏楽の楽器と拍子が学べるコンサート～		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【オープニング】 リード:「吹奏楽のための第一組曲」より“ギャロップ”</p> <p>【2拍子】 アンダーソン:クラリネット・ポルカ(クラリネット) ビゼー:歌劇「カルメン」より“ハバネラ”(サクソフォーン) ウィルソン:76本のトロンボーン(トロンボーン)</p> <p>【3拍子】 サン・サーンス:「動物の謝肉祭」より“ぞう”(ユーフォニアム・チューバ・コントラバス) ビゼー:歌劇「アルルの女」より“メヌエット”(フルート) リード:エル・カミーノ・リアル(ホルン)</p> <p>【4拍子】 モンテルデ:マカレナの乙女(トランペット) チャイコフスキー:「白鳥の湖」より“四羽の白鳥の踊り”(オーボエ・ファゴット) ハチャトリアン:組曲「ガイーン」より“剣の舞”(打楽器) (共演コーナー)※どちらかお選びいただけます。 シンスタイン:ロック・トラップもしくはアンダーソン:サンドペーパーバレエ</p> <p>【5拍子】 シフリン:ミッション・インポッシブル</p> <p>【6拍子～変拍子】 ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」より“私のお気に入り”</p> <p>【アンコール】 スーザ:星条旗よ永遠なれ or 和泉宏隆:宝島</p>		
			公演時間(80～90分)
著作権	制作団体が 所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事 項が含まれる
		<input type="radio"/>	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	本プログラムの構成は吹奏楽で使われる各楽器にスポットを当てながら「拍子」をフィーチャーした構成になっています。2拍子、3拍子、4拍子、5拍子、6拍子の楽曲を取り上げ、各楽器の特性をわかりやすく織り交ぜながら、拍子が変わることにより曲想や音楽の持つ特質などを学んでいくことを主眼としています。各楽器の音色がどのように拍子に関わり、それぞれの曲の表現に影響を与えているかなど、低学年には直感的に、高学年から中学生にはより興味がわく内容に仕上げ、幅広い学年で楽しみながら学べるようにしました。		

<p>演目選択理由</p>	<p>オープニングは吹奏楽団ならではの選曲、リード作曲の「ギャロップ」で華々しく幕を開けます。</p> <p>2拍子で取り上げるのは「ポルカ」、「ハバネラ」、「マーチ」とどれもテンポの違いはあれど2拍子ならではの明快な曲を選びました。L.アンダーソンの「クラリネット・ポルカ」で陽気なポルカを楽しみます。対照的な2拍子としてビゼー作曲の歌劇「カルメン」から“ハバネラ”の妖艶なメロディをアルトサックスが奏でます。2拍子の代名詞ともいえるマーチは勇壮なトロンボーンに乗せウィルソン作曲「76本のトロンボーン」です。</p> <p>舞踊曲が多い3拍子においてもキャラクターの違う3曲を選曲しました。低音楽器をフィーチャーしたアレンジによりサン・サーンス「動物の謝肉祭」より“ぞう”、歌劇「アルルの女」より“メヌエット”を流麗なフルートの音色に乗せお届けします。そして激しい3拍子はリード作曲の吹奏楽での定番曲「エル・カミーノ・レアル」で勇ましいホルンの咆哮を楽しみます。</p> <p>4拍子は共演コーナー含め4曲をピックアップしています。颯爽としたトランペットが印象的な「マカレナの乙女」に続き、コミカルな曲調のチャイコフスキーが作曲したバレエ音楽から「四羽の白鳥の踊り」をオーボエとファゴットをフィーチャーしたアレンジで。そして打楽器は剣を持って戦いの踊りを表現したバレエ音楽「剣の舞」で迫力ある打楽器の魅力を存分に味わいます。共演コーナーでは「ロック・トラップ」か「サンドペーパーバレエ」でボディパーカッションを体験します。</p> <p>そして5拍子と6拍子は吹奏楽アレンジをフルに生かした迫力ある2曲を選びました。緊迫感せまる5拍子は大ヒット映画音楽「ミッション・インポッシブル」、6拍子～変拍子の絶妙なアレンジによる「私のお気に入り」がトリを務めます。</p> <p>アンコールには金管バンドや吹奏楽部との共演も可能な2曲、「星条旗よ永遠なれ」と「宝島」を用意しました。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>共演コーナーではボディパーカッションによる打楽器アンサンブル「ロック・トラップ」を取り上げます。楽器を使わなくとも身体のいろいろな部分を使い音楽が表現できることを学びます。また、曲中ではコールアンドレスポンスを取り入れ、リズムを即興的に創作したり模倣したりすることにより、手軽に音楽が楽しめることを学びます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮：福本信太郎 司会：山下まみ、もしくは戸塚理絵  吹奏楽：シエナ・ウインド・オーケストラ(以下メンバー表)  Picc: 西田紀子、Fl: 窪田恵美、重見佳奈 Ob: 金子佳代、宮川真人 EbCl: 木内倫子  BbCl: 中村めぐみ、近藤薫、飯島泉、山手寿子、佐々木理恵、黒岩真美、佐藤拓馬 AltCl: 原山佐保子  BassCl: 京谷麻里子 Fg: 鹿野智子、高林美樹 Sax: 栄村正吾、江川良子、貝沼拓実、大津立史  Hr: 林育宏、山下裕也、佐久間優、和久田侑希  Tp: 砂川隆丈、久良木文、熊代祐子、佐藤友紀、上田仁  Tb: 郡恭一郎、長谷川貴大、山口隼士 Eup: 庄司恵子、齋藤充 Tuba: 山岸明彦、望月寛隆  Per: 荻原松美、村居勲、東佳樹、服部恵、新田初美 Cb: 齋藤ちひろ</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 45名  スタッフ: 10名  合計: 55名</p>	<p>機材等  運搬方法</p>	<p>積載量 4tおよび2t  車長 8.75m(4t)、6.19m(2t)  台数 2台</p>

## 【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ <u>基本的には無</u> ) 会場設営の所要時間( 2時間程度 )					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時～14時半	10分	14時半～16時	16時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	制限なし(会場収容人数まで)				
	本公演	制限なし(会場収容人数まで)				
ワークショップ 実施形態 及び内容	木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアノ奏者1名、スタッフ2名にて行います。 木管楽器と金管楽器の音の出る仕組みを解説し、ピアノ伴奏によるソロ曲の実演で楽器の音色を実際に体感します。その後は打楽器奏者により、様々な種類の打楽器や奏法などをレクチャーしていきます。休憩をはさみ、本公演の楽しみ方のレクチャーや体験コーナーで取り上げる「ボディパーカッション」についてのレクチャー、共演する「ロック・トラップ」もしくは「サンドペーパーバレエ」の指導を行います。					
ワークショップ 実施形態の意図	吹奏楽は管楽器と打楽器により構成されていることをふまえ、管楽器の音の出る仕組みをいろいろな例を交え説明していきます。また、ボディパーカッションではオーケストラとの共演指導を通じ、本公演への期待感を高め、音楽や楽器をより身近に感じられるように指導していきたいと思えます。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	特別支援学校でも工夫次第で、ほぼかわりなく実施できる内容になっています。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

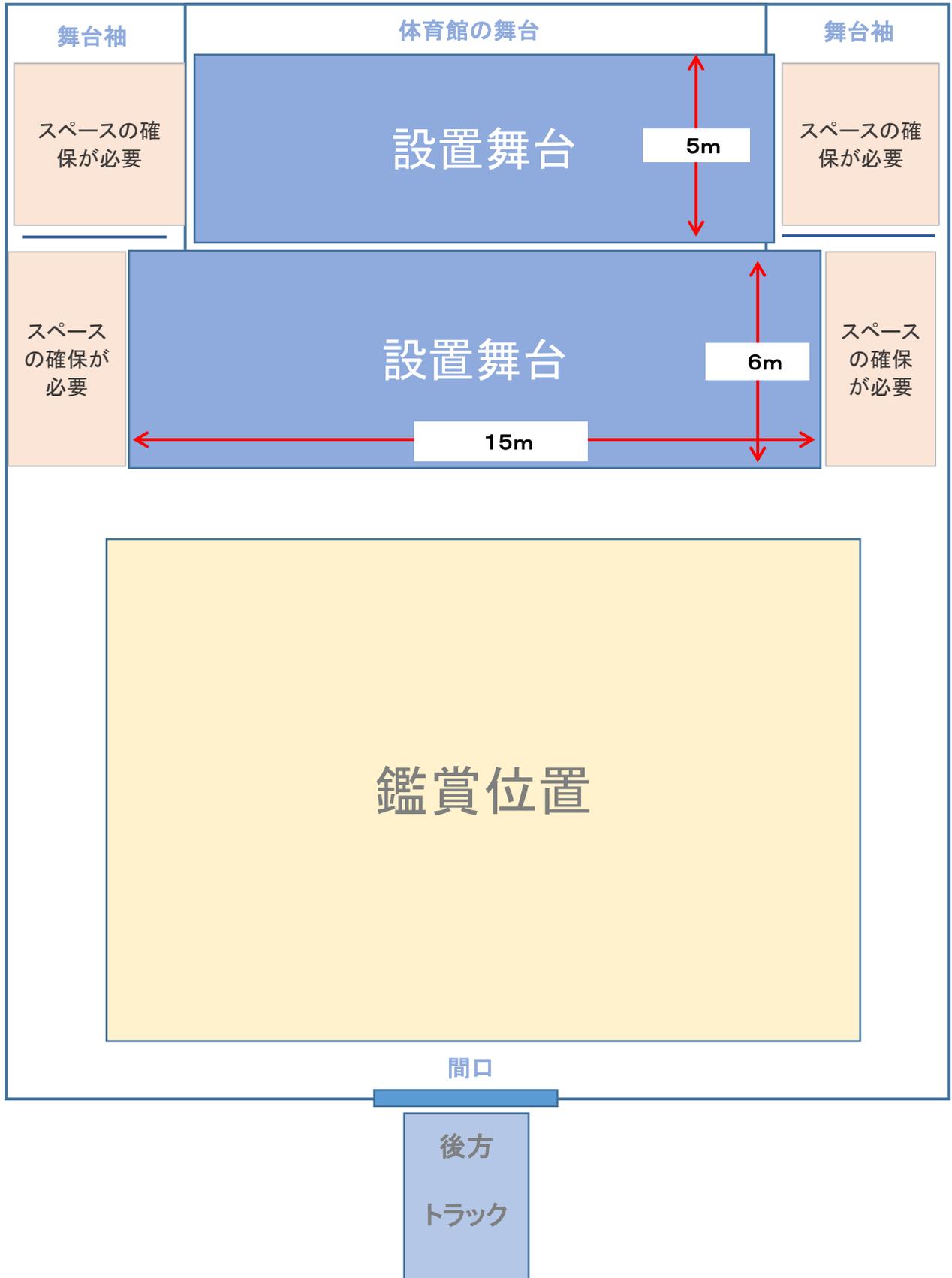
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	235	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	シエナ・ウインド・オーケストラ				制作団体名	一般社団法人 ジャパン・シンフォニック・ウインズ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者、司会者、男性、女性 各1室					
搬入について	可	来校する車両の大きさ*と台数*			4tトラック&2tトラック	各1台	大型バス 2台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック、2tトラック 1台					
	可	搬入車両の横づけの要否*			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			5m以内					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り階段のない経路が望ましい。</li> <li>・屋根のある経路が望ましい。</li> </ul>					
		理由			大型楽器や平台の搬入があるため					
	可	設置階の制限*			1階の設置が望ましい					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2.2m				
WSについて	可	参加可能人数			制限なし(会場収容人数まで)					
	可	学年の指定の有無*			なし	指定学年*	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			80分~90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			制限なし(会場収容人数まで)					
	可	舞台設置場所*			ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	11m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保*			要		
	可				舞台袖スペースの条件*			特になし		
	—	遮光(暗幕等)の要否*			緞帳*	不要		パトン*	不要	
	—				指定位置へのピアノの移動*			不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。	
	—	ピアノの調律・移動の要否			ピアノの事前調律*			不要		
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			20A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要(相談可)		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内(相談可)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# みんなのハートは何拍子？

～吹奏楽の楽器と拍子が学べるコンサート～

今回シエナが皆さんにお届けするコンサートは「楽器」と「拍子」をピックアップしたとても楽しい内容になっています。吹奏楽で活躍する数々の楽器に光を当てながら、拍子の不思議をひも解いていきます。

ボディ・パーカッションによる共演コーナーもあり、時間がたつのを忘れてしまいます。この機会にぜひシエナのコンサートをみなさんの学校にお招きください!!

## 【オープニング】

リード：「吹奏楽のための第一組曲」より “ギャロップ”

## 【2拍子】

アンダーソン：クラリネット・ポルカ（クラリネット）

ビゼー：歌劇「カルメン」より “ハバネラ”（サクソフォーン）

ウィルソン：76本のトロンボーン（トロンボーン）

## 【3拍子】

サン・サーンス：「動物の謝肉祭」より “そう”（ユーフォニアム・チューバ・コントラバス）

ビゼー：歌劇「アルルの女」より “メヌエット”（フルート）

リード：エル・カミーノ・リアル（ホルン）

## 【4拍子】

モンテルデ：マカレナの乙女（トランペット）

チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より “四羽の白鳥の踊り”（オーボエ・ファゴット）

ハチャトリアン：組曲「ガイーヌ」より “剣の舞”（打楽器）

（共演コーナー）※どちらかお選びいただけます

シンスタイン：ロック・トラップ もしくは アンダーソン：サンドペーパーバレエ

## 【5拍子】

シフリン：ミッション・インポッシブル

## 【6拍子～変拍子】

ロジャース：「サウンド・オブ・ミュージック」より “私のお気に入り”

## 【アンコール】

スーザ：星条旗よ永遠なれ or 和泉宏隆：宝島

## 【指揮】 福本信太郎（ふくもとしんたろう）



1994年昭和音楽大学音楽学部サクソフォーン専攻卒業。同専攻科に進み、学長賞を得て修了。1990年第7回日本管打楽器コンクールに最年少参加で入選。96年、99年同コンクールでは第2位に連続入賞。サクソフォーン奏者として、シエナ・ウインド・オーケストラ、東京佼成ウインド・オーケストラ、NHK交響楽団をはじめとする多くの在京オーケストラの公演及び録音に参加。指揮者としては、昭和音楽大学准教授として同大学吹奏楽団を指揮、指導する傍ら、多くのアマチュア吹奏楽団を全日本吹奏楽コンクール全国大会へと導いている。



シエナ・ウインド・オーケストラ

Hikaru. ☆

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動を展開し高い人気を誇っている。2010年文京区と事業提携を結び、地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。 <http://sienawind.com/>

## 【司会】 山下まみ（やましたまみ）



声優。北海道出身。  
TV/映画の代表作  
・NTV「every」リポーター  
・NHK「NEWS WEB」（つぶやきリーダー）  
・Tokyo7th Sisters（九条ウメ）  
・けものフレンズ（マーゲイ）  
・BanG Dream！（山吹千紘）

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

B区分(令和2年度採択 延長)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん かながわふいるはもにーかんげんがくだん		
制作団体名	公益財団法人 神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地		
代表者職・氏名	理事長 上野 孝		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地 みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩4分		
電話番号	045-226-5045	FAX番号	045-663-9338
ふりがな	かながわふいるはもにーかんげんがくだん		
公演団体名	神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地		
代表者職・氏名	理事長 上野 孝		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地 みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩4分		
制作団体 設立年月	1970年 3月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	[理事長] 上野孝 [副理事長] 上野健彦 [専務理事] 櫻井龍一、他11名、 [評議員]13名、[幹事]2名 [名誉顧問] 平野裕、 [顧問] 黒岩祐治ほか4名	[常任指揮者] 川瀬賢太郎 [特別客演指揮者] 小泉和裕 [役員]35名、[楽団員]78名、[事務局員]24名 構成員合計 139名 ■加入条件等:規約に定める	
事務体制の担当	専任・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	澤木泰成、林大介、 梅咲安紗子

経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無		経理責任者名	金井義則
制作団体沿革	<p>1970年(S.45年)3月 自主運営団体「ロリエ管弦楽団」として発足。</p> <p>78年(53年)7月 財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団に組織改編</p> <p>87年(62年)2月～ 地方交響楽連盟(現日本オーケストラ連盟)に加盟 歴代音楽監督・指揮者に、山田一雄、團伊玖磨、外山雄三、黒岩英臣、手塚幸紀、佐藤功太郎、ハンス＝マルティン・シュナイト、金聖響が就任</p> <p>2000年(H.12年)9月 常任指揮者に現田茂夫が就任(2009年3月まで、同4月より名誉指揮者)</p> <p>2013年(25年)4月 首席客演指揮者にサッシャ・ゲッツェルが就任</p> <p>2014年(26年)4月 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団へ移行 常任指揮者に川瀬賢太郎、特別客演指揮者に小泉和裕が就任</p>			
学校等における 公演実績	<p>2017年度 文化庁巡回公演事業において、16公演を実施 神奈川県内・東京都・近隣県にて 45公演を実施</p> <p>2018年度 文化庁巡回公演事業において、17公演を実施 神奈川県内・東京都・近隣県にて 45公演を実施</p> <p>2019年度 文化庁巡回公演事業において、9公演を実施予定 神奈川県内・東京都・近隣県にて 42公演を実施予定</p>			
特別支援学校に おける公演実績	<p>2017年度 特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施 神奈川県内の特別支援学校を訪問 16公演を実施(小編成)</p> <p>2018年度 特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施 神奈川県内の特別支援学校を訪問 16公演を実施(小編成)</p> <p>2019年度 特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施 神奈川県内の特別支援学校を訪問 20公演を実施予定(小編成)</p>			
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=0ncJqSUnpUE">https://www.youtube.com/watch?v=0ncJqSUnpUE</a> <a href="https://www.youtube.com/watch?v=7Bx7jCCj41U">https://www.youtube.com/watch?v=7Bx7jCCj41U</a>	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: 必要なし PW: 必要なし	
	Aの 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無	
		※公開資料有の場合 URL		
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:		

## 公演・ワークショップの内容

## 【 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	神奈川フィル「ゆめコンサート」 オークストラと共演！		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	1. ビゼー作曲:歌劇「カルメン」より前奏曲 < 3 > 2. ビゼー作曲:歌劇「カルメン」より“ジプシーの踊り” < 3 > 3. オークストラの楽器の紹介(1種類ごと) < 20 > 4. <u>一緒に演奏しよう！(共演)</u> ①L.モーツァルト作曲:おもちゃの交響曲から第2楽章 [小学校低学年] < 2 > ② A)エルガー作曲:行進曲“威風堂々”第一番 [小学校高学年] < 7 > B)杉本竜一作曲:ピリープ [小学校高学年] < 5 > ※ A)またはB)のどちらかを選択 ③ロジャース作曲:サウンド・オブ・ミュージック [中学校吹奏楽] < 10 > 5. 児童生徒作詞作曲:私たちがだけの合唱曲 [全学校共通] < 5 > 6. A)ヴェルディ作曲:オペラ「アイダ」より“凱旋行進曲” < 7 > B)チャイコフスキー作曲:バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 < 8 > ※ A)またはB)のどちらかを選択 7. (アンコール)校歌(オーケストラによる特別編曲の演奏と斉唱) < 3 > 公演時間 < 70 分 >		
著作権	制作団体が 所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する 事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>1. <b>歌劇「カルメン」より前奏曲</b> ビゼーが作曲したオペラを代表する前奏曲の1つです。誰もが耳にした事のある名曲をオープニングに演奏し、子ども達の興味をステージへ引きつけます。</p> <p>2. <b>歌劇「カルメン」より“ジプシーの踊り”</b> 1曲目と同じオペラの劇中で、フルートとハーブの伴奏で始まる異国情緒豊かな踊りの音楽です。曲の最後ではテンポがだんだんと速くなり、迫力満点のクライマックスを迎えます。</p> <p>3. <b>「楽器の紹介」</b> オークストラで使用される全ての楽器を個別に、実演しながら紹介します。2020年度よりハーブを加えます。</p> <p>4. <b>「一緒に演奏しよう」</b> 児童生徒との共演を目的とした、楽器を使用した合同演奏です。  ①小学校低学年向け <b>「おもちゃの交響曲」</b>(学校で普段使用している楽器、カスタネット、ピアノ、その他楽器になり得るものは全て可能)で共演いたします。  ②小学校高学年向け <b>A) 行進曲「威風堂々」第一番</b> と <b>B) 「ピリープ」</b>を用意(リューター、ピアノ等のメロディ楽器)で共演。A)またはB)のどちらかを選択して頂きます。  ③中学校向け 中学校の吹奏楽部とオーケストラの合同演奏です。ミュージカルの代表作(神奈川フィル・オリジナル編曲)「<b>サウンド・オブ・ミュージック</b>」を用意しました。</p> <p>5. <b>「私たちがだけの合唱曲」</b> 本公演の一番のクライマックスとなるこの曲は、児童生徒が主役です。子どもたちが作詞・作曲した作品をプロの作曲家がオーケストラ伴奏つきの合唱曲に編曲します。世界に一つしかない自分たちだけのオリジナル作品をオーケストラと共演いたします。</p> <p>6. <b>A) 「オペラ」 アイダより“凱旋行進曲”</b> イタリアの作曲家／ヴェルディが書き残した、歌劇「アイダ」の劇中で演奏される人気の高い作品の一つです。  <b>B) バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」</b> チャイコフスキーの三大バレエの一つから、クラシック音楽の中で最もポピュラーな曲です。冒頭では美しいハーブの音色も楽しむことができます。A)またはB)のどちらかを選択していただけます。</p> <p>7. (アンコール) <b>校歌</b>(特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱)</p>		

## 演目選択理由

演目の選択意図は、

1. 「心を掴む」、2. 「ワクワクさせる」、3. 「楽器の種類」、4. 「参加し易さ」「協調性」、5. 「創作の喜び」、6. 「身近に感じる」、7. 「故郷」、をテーマに様々な手法を織り交ぜ企画し選曲しております。

1. 「歌劇『カルメン』より前奏曲」誰もが知っているクラシックの名曲作品を最初取り上げることで、子どもたちに**興味**を持たせます。
2. 「ジプシーの踊り」軽快なリズムの曲を取り上げることで、子供たちの音楽への**期待感**を高めます。
3. 「楽器のお話」オーケストラで使われる楽器を**一種類**ずつ紹介させていただきます。  
現場の先生方の希望として多い個別の楽器紹介を取り入れております。  
子ども達を飽きさせない工夫を、たくさん盛り込んでおります。
4. ①「おもちゃの交響曲」小学校低学年の子どもたちが**気軽に参加(共演)**できるように選曲いたしました。交互に演奏しながら一つの楽曲を演奏しますので、相手を大切にすることを養います。  
②A) イギリス市民に愛され世界中でも親しまれる「**威風堂々**」(リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器で共演)を題材にオーケストラと一緒に演奏することで、相手を大切にすることを、協調性を養います。  
B) 学校の教科書でも紹介される「**ビリーブ**」(リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器)で共演(一緒に行動)することで、相手に寄り添う心や、協調性を養います。  
③「サウンド・オブ・ミュージック」 同上の理由です。
5. 「**私たちだけの合唱曲**」児童・生徒が自分たちで作詞作曲をして合唱曲を作り上げる事で、創造する楽しさや、直観力、コミュニケーション能力、感受性を養います。この企画の一番の見せ場です。
6. A) 「**アイーダ**」より「**凱進行進曲**」  
B) 「**くるみ割り人形**」より「**花のワルツ**」  
サッカーの応援歌やクラシックの名曲として誰もが聞いたことがあるこの作品を取り上げることで、クラシックをより身近な文化と感じて頂くために取り上げました。
7. 「**校歌**」(特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱)  
子ども達全員が知っている校歌を取り上げることで、児童生徒、先生方、保護者等、世代を超えて地元を大切に(仲間)意識を強く抱いていただきたい。  
※これから子どもたちに待ち受ける人生の様々な試練は、今回の様々な経験が必ず心の支えとなり、乗り越えられると信じています。  
(プログラムには掲載しません)

スマートフォンで読み込むことでコンサートの様子を見ることができます。



<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>参加形態は、大きく分けて器楽・合唱の2つの方法でオーケストラと共演します。</p> <p><b>器楽</b> (4曲目)</p> <p>①「L.モーツァルト作曲 おもちゃの交響曲から第2楽章」(小学校低学年)  打楽器と音程の有る楽器を中心にオーケストラの演奏に加わる形態(器楽)  ・打楽器は、普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。  (和太鼓、小太鼓、カスタネット、タンブリン、空き缶等でも可能)  ・音程の有る楽器は、普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。(リコーダー、ピアノカ、和楽器等でも可能)</p> <p>②A)「エルガー作曲 行進曲“威風堂々”第一番」(小学校高学年)  B)「杉本竜一作曲 ビリーブ」(小学校高学年)</p> <p>・メロディラインを演奏可能な楽器で、オーケストラと合同演奏(普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使用)</p> <p>③「ロジャース作曲 サウンド・オブ・ミュージック」(中学校のみ)</p> <p>・吹奏楽の生徒との合同演奏。オーケストラと合同演奏できる譜面を用意しましたので、事前にパート譜を送付しますので練習して頂き、本番時に共演します。</p> <p><b>合唱</b> (5曲目、7曲目)</p> <p>5.「私たちだけの合唱曲」(全学校共通)  事前に児童・生徒からオリジナルの歌詞・簡易なメロディを募集し、それを管弦楽伴奏の合唱曲に編曲し歌います。本番は、全校合唱とオーケストラと共演します。</p> <p>7曲目:「校歌」(アンコール)  各学校の校歌もオーケストラ版に編曲し、アンコールとして参加者全員で斉唱 いたします。(プログラムには掲載しません)</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮・進行:堀俊輔、和田一樹、宮松重紀(候補者)  管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 58名  スタッフ: 5名  合計: 63名</p>	<p>機材等  運搬方法</p>	<p>積載量 4t車 or 2t車を2台  車長 4t車 約9m  2t車 約5m  台数 1台 or 2台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 1.5~2 時間程度 ) <table border="1" data-bbox="402 743 1449 862"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 時</td> <td>9 時~11 時/ 11 時半~12 時半</td> <td>14 時~15 時 15 分</td> <td>0 分</td> <td>15 時半~ 16 時半</td> <td>16 時半</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	9 時	9 時~11 時/ 11 時半~12 時半	14 時~15 時 15 分	0 分	15 時半~ 16 時半	16 時半
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
9 時	9 時~11 時/ 11 時半~12 時半	14 時~15 時 15 分	0 分	15 時半~ 16 時半	16 時半													
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	1名から 500 名程度																
	本公演	10 名から 500 名程度(要相談可)																
ワークショッ プ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p data-bbox="402 1115 561 1149">&lt;実施内容&gt;</p> <p data-bbox="402 1155 1264 1189">①レオポルド・モーツァルト/おもちゃの交響曲から第2楽章(小学校低学年)</p> <p data-bbox="402 1196 1024 1263">「打楽器パート」と「かっこうパート」に分かれて演奏する。</p> <ul data-bbox="402 1270 1024 1420" style="list-style-type: none"> <li>・打楽器パートは曲に合わせてリズムを叩いたり、指揮者のテンポに合わせて演奏する練習をする。講師からは楽器の扱い方、より良い音の出し方、リズムに言葉を当てはめて練習するなどの指導を受ける。</li> <li>・かっこうパートは鍵盤ハーモニカやリコーダーなどを使って、かっこうの鳴き声を表す演奏をする。演奏箇所は少ないので指揮者の合図を見る練習をする。(テンポを速めたり、遅くしたり指揮者に合わせるゲームをする)。講師からはかっこうの鳴き声に近づけるための演奏方法(音は短めになど)の指導を受ける。</li> </ul> <p data-bbox="402 1653 1078 1686">②A)エルガー/行進曲“威風堂々”第一番(小学校高学年)</p> <p data-bbox="427 1693 874 1727">B)杉本竜一/ビリーブ(小学校高学年)</p> <p data-bbox="402 1733 1024 1839">4~6 年全員がリコーダーで演奏する。音楽が表わす情景のイメージを皆で共有しながら、全員が1つになれるように練習する。</p> <p data-bbox="402 1845 1015 1912">高音域の演奏方法の指導を受ける(ウラ技の指使い、息の使い方など)</p> <p data-bbox="402 1919 1015 1986">楽器の扱い方(演奏しないときは構えない、くわえない、雑に扱わないなど)の指導を受ける。</p> <div data-bbox="1043 1196 1436 1487" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1043 1733 1436 2024" data-label="Image"> </div>																	

	<p>③ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック・メドレー(中学校吹奏楽部)  中学校の吹奏楽部と共演する。  木管、金管、打楽器の 3 パートに分かれて講師の指導で分奏し、その後指揮者の指導で合奏する。各分奏では奏法のほか合奏する時の注意点、オーケストラと共演する時の注意点を指導する。  *吹奏楽部のない中学校はA)「行進曲“威風堂々”第一番」またはB)杉本竜一／ビリーブ をアルトリコーダーで演奏する。</p> <p>5. 私たちだけの合唱曲(全学校共通)  ワークショップ前に開催校によって作詞作曲されたオリジナル合唱曲の指導を受ける。  歌い方(歌詞をはっきり歌う、声の出し方など)、オーケストラと共演する時の注意点なども指導を受ける。</p>  
<p>ワークショップ実施形態の意図</p>	<p>子ども達が集中力を維持でき、かつ興味を持って参加して頂けるように、小学校の低学年向けには簡単なメロディ楽器とリズム楽器で参加して頂きます。高学年では学校で習っているリコーダー等を使用することで取り組み易くします。</p> <p>中学校では吹奏楽部とオーケストラとコラボレーションできる場面を設定しました。合唱曲では、誰もが持っている声という楽器を使用します。世界に一つしかない自分達で作詞・作曲した曲を、クラス学年に関係なく全員で作り上げる喜びを感じて頂きます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>事前に学校を訪問し、ご担当者と打ち合わせをさせて頂きます。企画を進めさせて頂く上での留意事項や心配事を直接伺うことで、不安内容を減らし、また各学校側の事情に沿わせて頂くことで、突発的な事案も柔軟に対応させて頂きます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

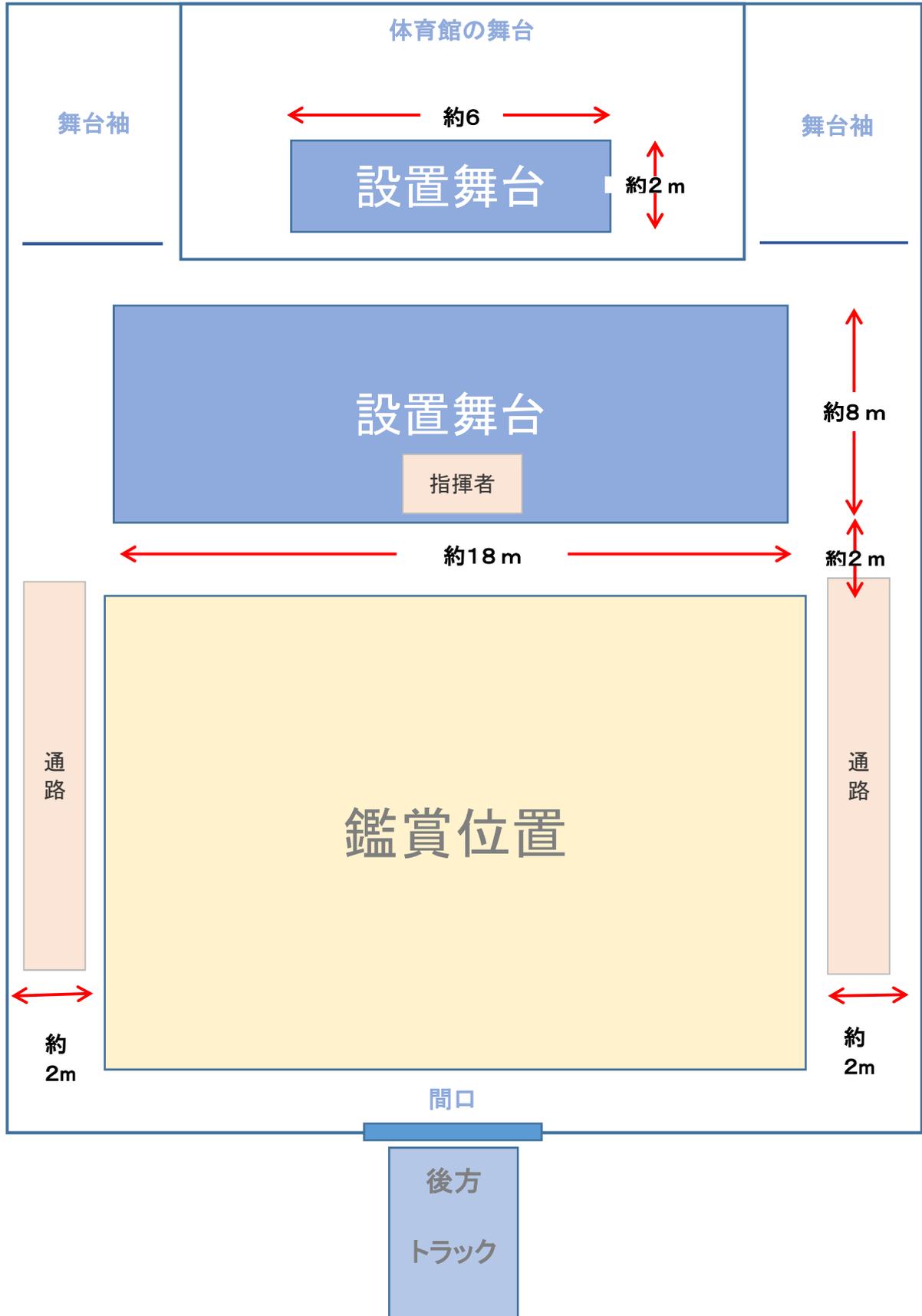
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1602	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	H	区分	B区分
公演団体名	神奈川フィルハーモニー管弦楽団			制作団体名	公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	3室	条件				着替えをしますので、カーテンや目隠しをお願いします。部屋数はご相談		
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台 or		2tトラック 2台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック1台または2tトラック2台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要（可能な範囲で近い場所での作業を希望）					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	可	搬入経路の最低条件			できるだけ舞台に近い場所からの搬入を希望					
	—	理由			重量のある楽器を手作業で搬出入するため					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	約2m		高さ	約2m		
WSについて	可	参加可能人数			1～500名程度(基本全員)					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		低学年、高学年、全員と分けて行います。		
	可	所要時間の目安 単位:分			トイレ休憩を含む90分程度					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			ステージとフロアを使用します。両サイドが通路として通ることができれば、制限はありません。(要相談可)					
	可	舞台設置場所 *			体育館の舞台およびフロアの一部を利用					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	8m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			特になし		
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由		ある方が見やすいです		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※WS時のみ使用、既存場所でOK		
	可			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていた方が見やすいです				
	—	公演に必要な電源容量			不要		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
可	開催校の場所により、大型バス2台で伺う可能性があります。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	約2m	高さ	約2m
搬入車両の横づけの可否		要 (可能な範囲で近い場所での作業を希望)		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# 神奈川フィル「ゆめコンサート」オーケストラと共演

小学生から中学生までの児童・生徒に、本物の音楽芸術を身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う事を目的とした「文化芸術による子供の育成事業」各開催校では、楽団員による楽器・合唱のワークショップと、オーケストラによるコンサートを2日間にわたって開催いたします。

## 出演

指揮 / 堀 俊輔、和田一樹(予定)

演奏 / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

## プログラム

1. オープニング / ビゼー作曲: 歌劇「カルメン」前奏曲
2. 華麗なオーケストラ / ビゼー作曲: 歌劇「カルメン」より「ジプシーの踊り」
3. オーケストラの楽器たち / 楽器の紹介(各奏者によるデモンストレーション)
4. 一緒に演奏しよう / 小学校[低学年] ①L.モーツァルト作曲: おもちゃの交響曲から第2楽章  
小学校[高学年] ②エルガー作曲: 行進曲「威風堂々」 または  
②杉本竜一作曲: ビリーフ を選択  
中学校 ③「サウンド・オブ・ミュージック」を題材に吹奏楽(生徒)と共演
5. 私たちだけの合唱曲 / (世界に一つだけのオリジナルソングを自分たちで作詞・作曲をしよう!)
6. 大迫力のオーケストラ / ヴェルティ作曲: オペラ「アイダ」より「凱進行進曲」 または  
チャイコフスキー作曲: バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 を選択

## ～ ワークショップ ～



事前に行いますワークショップでは、神奈川フィルの団員にから分かりやすい指導を受けます。

## ～ オーケストラ・コンサート ～



初めてオーケストラを体験する子ども達のために、楽器紹介では各楽器を1本ずつ紹介いたします。中央のQRコードから本公演の様子をご覧ください。子どもたちの純粋な眼差しに、演奏者も子どもたちに喜んでもらえるように毎回面白楽しく演奏します。

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・  なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ にんぎょうげきだんむすびざ 株式会社 人形劇団むすび座		
代表者職・氏名	代表取締役 大野正雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町字川添 86 (JR 東海道本線 大高駅、名鉄 名和駅)		
電話番号	052-623-2374	052-623-2374	052-623-2374
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんむすびざ 人形劇団むすび座		
代表者職・氏名	代表 大野正雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒459-8001 愛知県名古屋市緑区大高町字川添 86 (JR 東海道本線 大高駅、名鉄 名和駅)		
制作団体 設立年月	1967年	1月	
制作団体 組織	役員 代表取締役 大野正雄 取締役 永草友子 取締役 長田明子 監査役 田中寛次	団体構成員及び加入条件等 団体構成員(劇団員) 36名 制作部 8名 総務部 2名 スタッフ部 2名 演技部 24名 加入の条件 劇団の実施する入団審査に合格すること	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	伊藤博美
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	今井裕子

<p>制作団体沿革</p>	<p><b>昭和42年</b>人形劇団むすび座創立。 以来東海地方を中心に主に幼児～小学生向けの公演活動を行う</p> <p><b>49年</b>株式会社人形劇団むすび座として法人設立</p> <p><b>63年</b>名古屋市芸術奨励賞受賞。同年名古屋で開催された「世界人形劇フェスティバル'88」(国内外より、延べ 95,000 名が参加)の事務局として中心的な役割を果たす</p> <p><b>平成16・18・21・22・24・25・26・27・29・30・令和元年・2年度</b> 文化庁「文化芸術による子供育成総合(本物の～)事業」採択</p> <p><b>20年度</b>愛知県芸術文化選奨文化賞受賞</p> <p><b>25年度</b>「ピノキオ」が「厚生労働省社会保障審議会特別推薦作児童福祉文化財」に選定</p> <p><b>26年度</b>「ピノキオ」が児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞」受賞 「父と暮せば」が「厚生労働省社会保障審議会特別推薦作作品」に選定</p> <p><b>28年度</b>「こぎつねコンとこだぬきポン／他一本」が「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」に選定 「ピノキオ」が韓国ソウル他等4ヶ所11公演実施(「文化庁国際芸術交流支援事業」に採択)</p> <p><b>29年度</b>第33回芸術創造賞受賞(名古屋市文化振興事業団) 劇団創立50周年記念作品「チト～みどりのゆびをもつ少年～」が「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択</p> <p><b>30年度</b>「アラビアンナイト～魔法のランプと明日のヒカリ～」が児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」に選定 「オーケストラの生演奏で贈る-音楽人形劇-ピノキオ」が「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択 「ピノキオ」で韓国芸術の殿堂(ソウル)での11日間14ステージのロングラン公演を含め、3ヶ所19公演実施(「文化庁国際芸術交流支援事業」に採択) 「だってだってのおばあさん／他一本」が「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」に選定</p> <p><b>令和元年度</b>「オズのまほうつかい」が「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」に採択 「オズのまほうつかい」と「かくれ山の大冒険」が「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」に選定</p> <p><b>令和2年度</b>「オズのまほうつかい」と「かくれ山の大冒険」が児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」に選定</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p><b>&lt;平成29年度&gt; 1,147公演</b> ・小学校公演：116公演 ・おやこ劇場・公文協・自主公演等：290公演 ・幼稚園・保育園等公演：計741公演</p> <p><b>&lt;平成30年度&gt; 1,256公演</b> ・小学校公演：103公演 ・おやこ劇場・公文協・自主公演等：299公演 ・幼稚園・保育園等公演：854公演</p> <p><b>&lt;令和元年度&gt; 1,057公演</b> ・小学校公演：計115公演 「オズのまほうつかい」23公演 「アラビアンナイト～魔法のランプと明日のヒカリ～」43公演 「かくれ山の大冒険」49公演 ・おやこ劇場・公文協・自主公演等：156公演 「どんどこもんちゃん／カミナリカレー」9公演 「アラビアンナイト～魔法のランプと明日のヒカリ～」14公演 その他13演目 133公演 ・幼稚園・保育園等公演：計786公演 「ともだちや」他8演目736公演 乳児向け公演 50公演</p>

<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平成13～16年度 愛知県立港養護学校  平成16～27年度 三重県立養護学校北勢きらら学園  平成16年度 愛知県立三好養護・安城養護・豊田市立豊田養護学校  岐阜県立中濃特別支援・飛騨特別支援学校  平成22年度子どものための… 三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校  平成24年度次代を担う…… 京都府立八幡支援学校  平成26年度文化芸術による… 宮崎県立みやざき中央支援学校  平成28年度 名古屋市立南養護学校  平成29年度文化芸術による…三重県立くわな特別支援校  大阪府立西淀川支援学校  令和元年度文化芸術による…千葉県立銚子特別支援学校  山梨県立あけぼの支援学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>
		<p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>
		<p>※公開資料有の場合 URL</p>	<p><b>DVD を提出します</b></p>
		<p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>
	<p>A の提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p>	<p>有 ・ 無</p>
		<p>※公開資料有の場合 URL</p>	
		<p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名

人形劇団むすび座】

対象	小学生( <input type="checkbox"/> 低学年 <input type="checkbox"/> 中学年 <input type="checkbox"/> 高学年 ) ・ 中学生			
企画名	自己肯定感を育む人形劇「オズのまほうつかい」 ～自分を好きになる冒険の旅～			
本公演演目	<p>「オズのまほうつかい」</p> <p>原作:ライマン・ボーム 脚色/篠原久美子(劇団劇作家) 演出/関根信一(劇団フライングステージ) 美術/宮武史郎・小辻賢典 音楽・音響/ノヤママナコ(マナコ・プロジェクト) 振付・振付指導/LONTO(ラストラーダカンパニー)・服部哲郎(afterimage) 衣装デザイン/長谷川真代 照明/若狭慶大(藤井照明) 合唱指導/板倉恵三子・板倉歌奈子 制作/吉田明子・伊藤博美</p> <p style="text-align: right;">公演時間( 90分)</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>&lt;あらすじ&gt;</p> <p>ドロシーは、家ごと竜巻に巻き上げられ、オズの国にやってきます。そこでドロシーは、カカシ・ブリキ・ライオンと出会い、どんな願いもかなえてくれる「偉大なオズの魔法使い」に会うために旅に出ます。カカシは脳みそ！ブリキは心！ライオンは勇気！をもらうため。ドロシーは、我が家に帰るために…。</p> <p>&lt;みどころ&gt;</p> <p>原作も良く知られ、映画やミュージカルなど数多く舞台化されている作品ですが、私たちはこの物語を、ドロシーだけでなくカカシもライオンもブリキも、みんな子どもとして描きました。偶然出会った、孤独で喪失感を抱え、自分に自信がなく自分はダメだと思っている子ども達。彼らは旅をする中で時にはけんかをし、時には補い合いながら、かけがえのない友達になっていきます。登場人物を子どもに設定したことで、古典文学である「オズの魔法使い」の世界はより観客の子どもたちへと近づき、親近感を持って物語を楽しむことができます。観客と一緒に進んでいくドロシーたちの冒険の旅は、子どもたちに仲間の大切さを伝え、子どもたちが自分自身を好きになるきっかけとなることでしょう。</p> <p>また、存在の多様性を視覚的に表現するため、ワラの詰まった麻袋、無機質なブリキなど、登場人物それぞれの違いを強く意識し、素材感を前面に出した人形デザインにしました。ドロシーたちが自分とはまったく違う存在と出会った時、お互いを否定し排除するのではなく、協力し合って困難を乗り越えていく姿を子どもたちに観てもらい、自分ならどうするだろうと考えてもらいたいと思っています。</p> <p>さらに、明るく軽快な曲と共にお話が次々と展開していくテンポの良さ、疾走感もみどころのひとつです。</p> <p><b>*文化庁「文化庁舞台芸術創造活動活性化事業」採択</b>  <b>*「厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財」選定</b>  <b>*児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」選定</b></p>			
演目選択理由	<p>本作品の特徴である文楽の様式を取り入れた三人遣いは、一体の人形を三人で扱います。この三人遣いは、相手の気持ちを想像し、息を合わせ、力を合わせることにより、初めて成立します。舞台上の俳優達が協力し合って人形に命を吹き込んでいる姿を観ることにより、子どもたちはコミュニケーションの大切さ、力を合わせることの大切さに気づきます。</p> <p>また、子どもたちは、人形と俳優自身のパフォーマンスが融合されたダイナミックで軽やかな舞台に釘付となり、心を奪われます。</p> <p>この作品のテーマは『自分を好きになる冒険の旅』。「みんなと少し違うからこそ気づくことが</p>			

	<p>ある。少し違っても自分に自信を持ってほしい」。そんなメッセージも込められています。</p> <p>世の中には様々な個性や価値観が存在することを伝え、一方で自信を失い気持ちが沈んでいる子どもたちには背中をそっと押し「あなたはあなたのままで良いんだよ」と伝え、すべての子どもたちの成長・発達や健全な人格形成に寄与したいと考えています。</p> <p>良質な舞台芸術に触れた感動は、子どもたちの感受性と情操を育み、それは豊かな発想力やコミュニケーション能力の育成につながります。そしてその強烈な感動体験は子どもたちの心に宿り、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながります。</p> <p>文化庁舞台芸術創造活動活性化事業にも採択され、厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財・児童健全育成推進財団「児童福祉文化賞推薦作品」にも選定された本作品は、優れた芸術性と高い教育的効果を併せ持ち、本事業の事業効果を向上させるのに最適であると考え、この演目を選択しました。</p>														
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>～共演形態について～</p> <p>①事前のワークショップでは、子どもたち一人一人が自由な発想でオズの国・マンチキンの住人「マンチキン」の人形を作り、共演する「ドロシーを歓迎するシーン」の練習をします。</p> <p>②本番当日、竜巻に巻き上げられたドロシーがオズの国・マンチキンに着陸し、「マンチキン」たちに歓迎されるシーンで、子どもたちが自分の作ったマンチキンの人形を手に登場し、俳優たちと共にドロシーを歓迎し共演します。</p> <p>～公演終了後～</p> <p>①子どもたちから感想を聞く  ②俳優たちが人形の動かし方や人形・舞台セットの構造等を説明する  ③子どもたちの質問に答える  など、全児童との交流の時間もちます。</p> <p>子どもたちが退場する際には、俳優たちがそれぞれ人形を持ち、子どもたち一人一人と人形で握手を交わし会話をしながら、子どもたち全員を見送ります。</p> <p>また、舞台裏や人形を間近に見ながら俳優たちと交流する手段として  ①舞台の裏側を見学し俳優たちから説明を聞く「バックステージツアー」を行う  ②バラシ(片付け作業)を手伝ってもらう  などの実施も可能です。</p>														
<p>出演者</p>	<p>塩沢くみ、宮武史郎、太田博己、和田真琴人、  小林嵩幸、高光浩一、渡辺智美、野瀬葵</p>														
<p>公演出演予定者数  (1公演あたり)</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>出演者:</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ:</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>合計:</td> <td>10名</td> </tr> </table>	出演者:	8名	スタッフ:	2名	合計:	10名	<p>機材等  運搬方法</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>積載量</td> <td>2t</td> </tr> <tr> <td>車長</td> <td>7m</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>1台</td> </tr> </table>	積載量	2t	車長	7m	台数	1台
出演者:	8名														
スタッフ:	2名														
合計:	10名														
積載量	2t														
車長	7m														
台数	1台														

## 【公演団体名

人形劇団むすび座】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ <input checked="" type="checkbox"/> ) 会場設営の所要時間( 2時間半程度 )					
	到着	仕込み/共演リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時半 11:30～12:15	13時～15時	10分	15時～ 16時半	16時半
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	100名(1学年程度)				
	本公演	500名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>①公演で共演する児童一人一人に、自由な発想で自分だけの「マンチキン」人形を作ってください(材料はすべて用意します)。そして完成した人形を動かし、表現する方法をレクチャーします。その後、共演シーンである「ドロシーを歓迎するシーン」の人形の表現方法と空間での動きを練習します。</p> <p>②この「オズのまほうつかい」では、文楽の様に一体の人形を三人で遣う「三人遣い」の様式を取り入れています。その「三人遣い」の操作方法や人形の材質・構造についての説明を行い、実際に「三人遣い」を体験していただきます。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>①個々の感性で自由に人形を製作することにより、発想力・想像力・創造力を刺激します。また、完成した人形を自分が動かすことで、「もの言わぬモノ」に命が宿り、表情が見えてくることを発見・体験し、人形で表現する楽しさ、面白さを実感します。そして、集団で演技することにより、バランス感覚や自発性・協調性・コミュニケーション等を学び、達成感、充実感を得ます。</p> <p>②舞台ではまるで生きているかのように動く人形ですが、その人形を実際に自分が持ち、動かすことにより、人形の重さや動かす難しさを身をもって体験します。そして、「三人遣い」を体験することで、三人が息を合わせて協力し合うことの大事さ、チームワークやコミュニケーションがいかに大切な事であるかを実感します。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	特に変更なく実施できますが、先生方との事前打ち合わせをより綿密に行います。その事により子どもたち一人一人の状況や発達段階を把握し、人形作りや公演への参加の仕方等を配慮し、無理なく楽しく参加していただけるようにします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

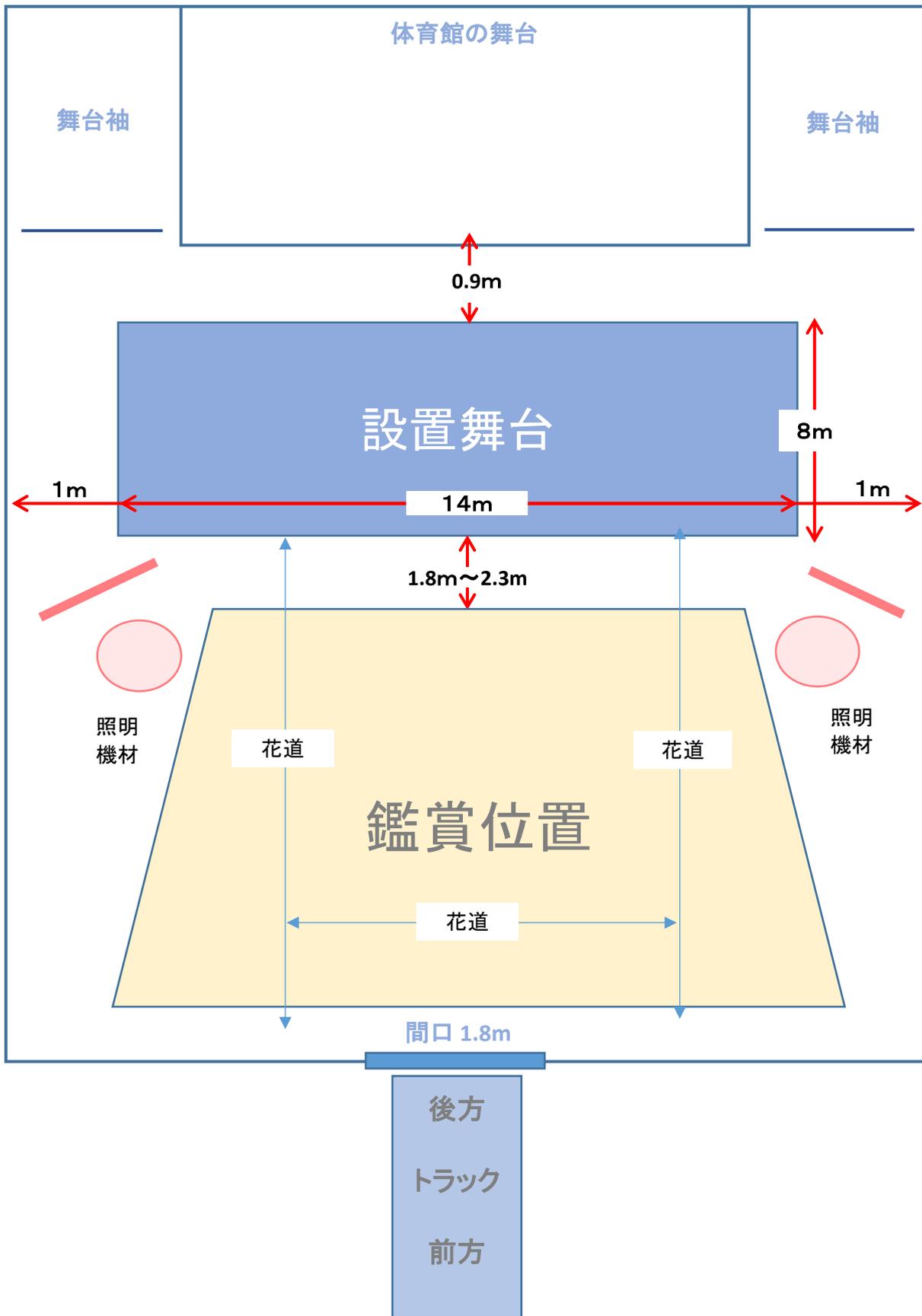
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	407	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	人形劇団むすび座			制作団体名	株式会社 人形劇団むすび座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件	体育館からあまり遠くない場所が希望です。ない場合は舞台袖や器具庫などもかまいません。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	乗用車	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ647cm 幅219cm 高さ316cm				
	可	搬入車両の横づけの可否 *			必ずしも必要ではありません				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	—	搬入経路の最低条件							
	—	理由							
	—	設置階の制限 *			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m				
WSについて	可	参加可能人数			100名まで				
可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学校3年生～			
可	所要時間の目安 単位:分			90分(2時限)程度					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			1～500名程度				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	14m	奥行	8m	高さ	6m	
	—	舞台袖スペースの確保 *							
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件 *				
	—	緞帳 *			バトン *				
	可	遮光(暗幕等)の可否 *			要	理由	照明効果のため。真っ暗にならなくても可		
	—	ピアノの調律・移動の可否			指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—	ピアノの事前調律 *			不要				
	可	フロアを使用する場合の条件			バスケットゴールの設置状況 *		ステージ前方にある場合は摺納されていれば可		
	可	公演に必要な電源容量			50A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
—	年間100校前後の小学校で公演している実績があるため、ほとんどの学校での上演に対応できます。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否	必ずしも必要ではありません			
横づけができない場合の搬入可能距離	問いません			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# おぼろの まぼろしがハ

自分を好きになる  
冒険の旅



ものがたり

ドロシーはある日、家ごと竜巻に巻き上げられて  
飼犬のトトと一緒にオズの国にやってきます  
そこで出会った3にんの友だち

**カカシ、ブリキ、ライオン**

4にんとトトは、どんな願いもかなえてくれる

「偉大なオズの魔法使い」に会うために旅に出ます

**カカシは脳みそ! ブリキは心! ライオンは勇気!**をもらうため

**ドロシーは、我が家に帰る**ために…

# オズのまほうつかい

原作 /  
Lyman Frank Baum

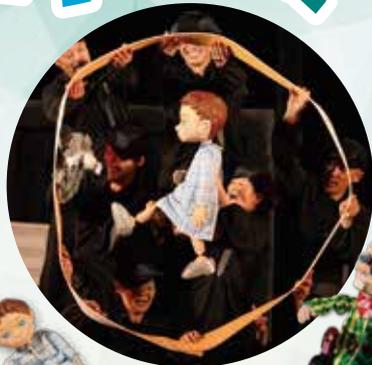
スタッフ  
脚色 / 篠原久美子 (劇団劇作家)

むすび座創立50周年記念作品「チト みどりのゆびをもつ少年」脚色。  
等身大の子ども像の描写と社会に対する深い洞察力を持つ。

演出 / 関根信一 (劇団フライングステージ)

カミングアウトしているゲイの劇団「劇団フライングステージ」の代表。細やかで鋭く深い人間観察と、様々なマイノリティを包み込み、一人一人の個性に寄り添った温かな作品創りに定評がある。東海地方では劇団うりんこ「わたしとわたし、ぼくとぼく」も作・演出。

美術 / 宮武史郎 小辻賢典  
音楽 / ノノヤママナコ (マナコ・プロジェクト)  
振付 / LONTO (ラストラダカンパニー)  
服部哲郎 (afterimage)  
衣装 / 長谷川真代  
照明 / 若狭慶大 (藤井照明)  
宣伝美術 / 杉江智子 (デザインキッズ)  
写真 / 服部義安  
制作 / 吉田明子 伊藤博美



むすび座の〈オズのまほうつかい〉は  
ドロシーだけではなく、カカシもブリキもライオンも子どもです。  
3にんは自分に自信がなく自分を好きになれません。  
そしてエメラルドの都に行けばオズの魔法で悩みが解決して  
自分を好きになることができると信じています。  
…でもそれは本当に魔法で叶えられるのでしょうか?

人形劇団むすび座は、1967年に名古屋で生まれ、「子どもと子どもをむすびます。おとなとおとなをむすびます」との思いを持ち、数々の人形劇を創ってきました。劇団員は38名。活動は東海地方を中心に全国に渡り、海外公演も行っています。人形達が繰り広げるお話の世界を楽しみながら、子どももおとなも元気になれる、そんなお芝居をたくさん創って皆さんにお届けします。

## 演出 ● 関根信一

今回の篠原久美子さんによる脚色では、ドロシーだけでなく、かかし、ブリキ、ライオンも「子ども」という設定です。子どもたちが力を合わせて旅をすることで、より冒険のわくわく感が増しました。

また、かかし、ブリキ、ライオンは、自分に自信が持てない子どもですが、彼らは冒険を通じて、自信を取り戻していきます。三人がそれぞれほしかった知恵と勇気と心は、すでに自分の中にあっただのかもしれませんが、冒険と仲間との交流のなかで育まれたのかもしれませんが、いずれにしろ、子どもにとって、三人のキャラクターが身近にかんじられるものになっているのが、この脚色のすてきなところだと思います。

人形を製作していく過程でお願いをしたのは、多様性ということです。ドロシーは、人間とは違う存在の、かかし、ブリキ、ライオンと出会っても、そのことにおどろかず、ひるまず、当たり前のこととして、友だちになっていきます。あまりに当たり前前に描かれているので、気がつきにくいのですが、「オズのまほうつかい」の一番の魅力はここにあるのではないかと僕は感じています。子どもたちが、自分と違う存在の友だちと出会って、力を合わせて困難を乗り越えていく。そのような、子どもたちに見てもらい、自分ならどうするだろうと考えてもらえたらいいなと思っています。

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, <input checked="" type="checkbox"/> 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんドラ		
制作団体名	有限会社 劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役 佐藤文雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4 (最寄り駅:東武東上線板橋駅)		
電話番号	03-3937-1101	FAX番号	03-3937-1103
ふりがな	ゆうげんがいしゃ げきだんドラ		
公演団体名	有限会社 劇団銅鑼		
代表者職・氏名	代表取締役 佐藤文雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4 (最寄り駅:東武東上線板橋駅)		
制作団体 設立年月	1972年 8月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 佐藤文雄 取締役 鈴木瑞徳 運営委員 小関直人 説田太郎 館野元彦 平野真弓 馬淵真希 田辺素子 佐久博美 福江夏希 監査 福田悦雄		(1) 団体構成員 団員 60名 構成員補 2名 団友 3名 (2) 主な構成員 山田昭一(演出家・俳優) 菊地佐玖子(俳優) 小関直人(脚本家) (3) 加入条件 構成員として一定の期間を終了したもの
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	田辺素子

経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	佐久博美
制作団体沿革	<p>1972年 劇団民藝出身者を中心に演劇集団として活動を開始。</p> <p>1990年 本拠地を板橋区に移す。</p> <p>1994年 初の海外公演実施（リトアニア）、以来国際交流事業を一つの柱にする。</p> <p>1995年 板橋区文化振興財団（現・（公財）板橋区文化・国際交流財団）との年一回以上の共催事業を開始。</p> <p>2005年 若者自立塾などにおける演劇によるワークショップ事業開始。</p> <p>2012年 稽古場を建設。劇場認定を受ける。</p>		
学校等における 公演実績	<p>1978年より青少年公演開始。主な作品「センポ・スギハアラ」「明日へ出発」など多数。年間 50～100 回学校で上演を続けている。提出作品「いのちの花」は 2019 年より小学校・中学校合同公演や高等学校公演、全国おやこ劇場子ども劇場例会として上演。</p> <p>また令和元年度・2年度には文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—として選定されている。</p> <p>主な学校公演作品 『明日へ出発』『センポ・スギハアラ』『Big brother』『エイジアン・パラダイス』『らぶそんぐ』『チャージ』『ハンナのかばん』『いのちの花』 ほか</p>		
特別支援学校に おける公演実績	<p>多数作品で、特別支援学校で上演。事前に資料・台本などの配布で対応。盲学校に対してはイヤホンガイド付公演、聾学校では学校と共同で字幕作成を実施。</p>		
参考資料の 有無		申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
	A	申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVD は郵送します。 <a href="http://www.gekidandora.com/titles/inochinohana/">http://www.gekidandora.com/titles/inochinohana/</a>
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
	A の 提出が 困難な 場合	※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社劇団銅鑼】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	劇団銅鑼公演『いのちの花』		
本公演演目	「いのちの花」		
原作/作曲	原作:向井愛実著「いのちの花」(株式会社WAVE出版刊)		
脚本	瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがペット		
演出/振付	殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ギャンビット刊)		
	脚本:畑澤聖悟 演出:齊藤理恵子		
	公演時間(100分)		
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>青森県立三本木農業高校。その敷地面積は、東京ドーム11個分！</p> <p>その広い広い大地と青空の下、希望に胸を膨らませて動物科学科に入学したマナミたち。糞の匂いにやられながらも家畜たちの世話に励む日々。そして飼育しているニワトリを実習で解体し調理して自分達で食べる。「いただきます」という言葉の意味を<b>考える</b>。そして、東日本大震災—</p> <p>ある日、見学に訪れた動物愛護センターで、殺処分された動物たちの骨が「ゴミ」として捨てられていることを知る——</p> <p><b>自分たちにできることはないだろうか？</b></p> <p>声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」。</p> <p>彼女たちは、動物たちの骨を使って花を咲かせ、蘇らせることを思いつく。名付けて“いのちの花プロジェクト”。</p> <p>彼女らが咲かせた花を受け取ってくれる人はいるのだろうか？</p> <p><b>感動の実話の舞台化。</b></p> <p>舞台上に、実際には動物は登場しません。イメージできるように、映像を舞台装置に投影します。</p> <p><b>脚本は、高校演劇の第一人者であり、数多くの劇団に話題作を提供し続ける現役高校教師・畑澤聖悟。演出には劇団青年座の新進気鋭の演出家・齊藤理恵子</b>を迎え、疾走する5人の女子高校生の物語をお届けします。</p>		
演目選択理由	<p>ペットの命・家畜の命・人間の命・・・いのちってなんだろう？</p> <p>一人一人の命・一つ一つの命はとても尊くて重い。</p> <p>それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずです。</p> <p>でも、本当にそれはあたりまえのこととなっているのでしょうか。</p> <p><b>いのちってなんだろう？</b></p> <p>この難しいテーマを高校生たちが考え続け起こした行動は、多くの人に波紋を投げかけました。この舞台を通して、動物殺処分や動物のいのちだけではなく、自分のいのち、人のいのち、生きとし生けるものの“いのち”のことを考えてもらえるきっかけになればと思います。</p>		

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>公演ラストシーン近く、高校生たちが客席に向けて、“いのちの花”を受け取ってくれる人を探します。そのとき客席から<b>事前ワークショップを経て</b>、舞台上に上がって花を受け取ってもらい、客席に戻って頂きます。よって、出演シーン以外は、客席から観劇していただけます。</p> <p>また、公演当日のリハーサルの中で、バックステージツアーも行います。</p> <p>他に、搬入搬出のお手伝いなどを通じて、俳優・スタッフたちとの交流も出来ます。終演後に出演者1～2名と座談会も可能。</p>		
<p>出演者</p>	<p>杉浦一輝・久保田勝彦・野内貴之・亀岡幸大・佐藤響子・高原瑞季・北畠愛美 中島沙結耶・青木七海・佐藤凜 ※上記俳優は予定です。</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 10名 スタッフ： 11名 合計： 21名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 車長 8.8 m 台数 1台</p>

## 【公演団体名 有限会社劇団銅鑼】

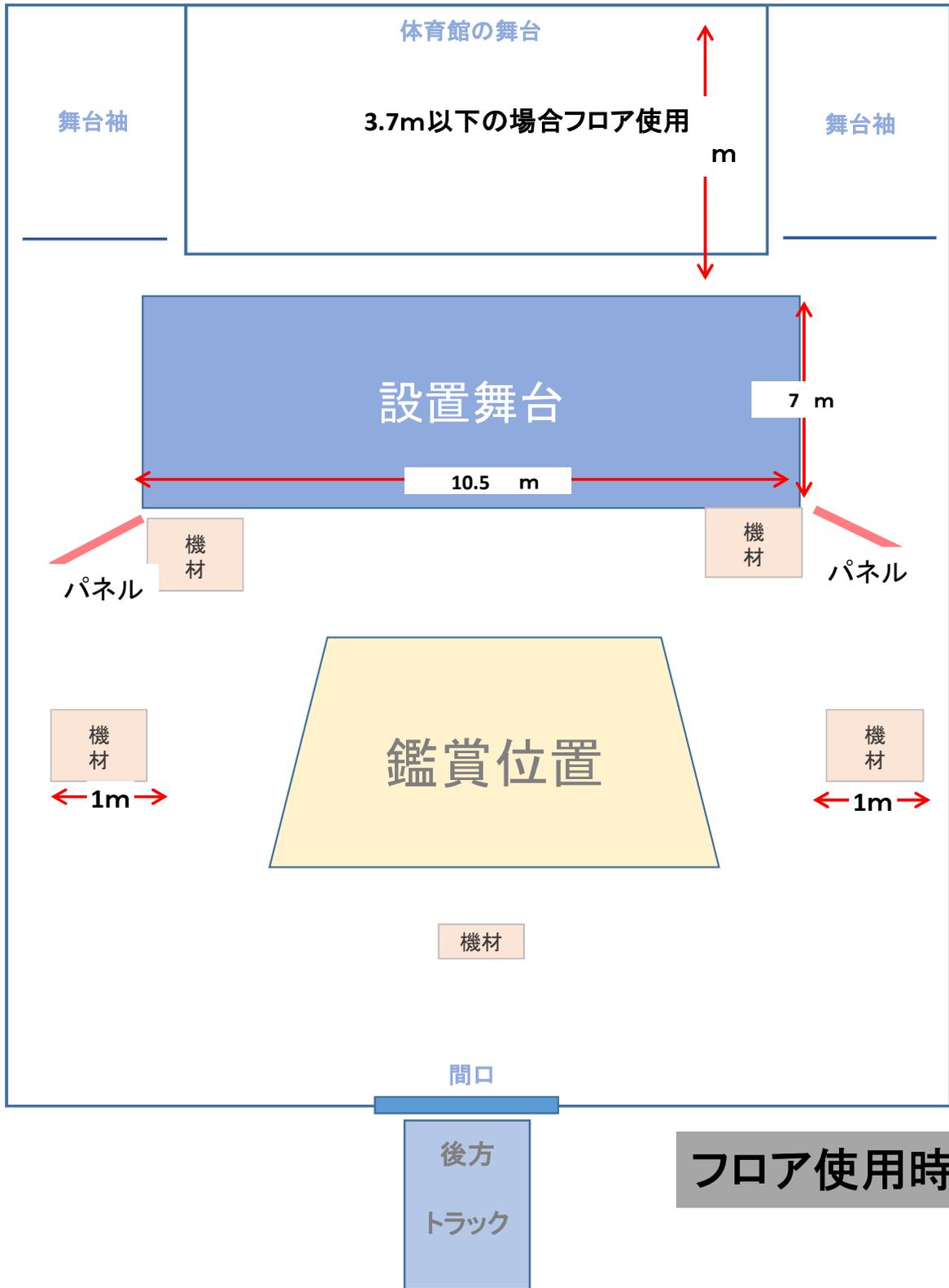
公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み( <input checked="" type="checkbox"/> の場合あり・無 ) 会場設営の所要時間( 5時間程度 )					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	8時～13時 ※11時過ぎ出演児童リハーサル(授業1コマ分)	13時30分～15時10分	0分	15時30分～16時45分	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	30人				
	本公演	共演可能人数30人・鑑賞可能人数は、ステージ上と張り出し舞台設置ができれば、500名程度まで。平土間の場合は200名まで。				
ワークショップ実施形態及び内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 簡単なシアターゲームでウォーミングアップ。</li> <li>● 高校生たちが体験した、動物達との触れ合いや、“動物の骨を砕く“という事がどんなことなのか、どんな気持ちになるのかを出演俳優たちと一緒に体験します。</li> <li>● 公演ラスト近くで、高校生役の俳優から花の鉢(造花)を受け取っていただくシーンに出演してもらいます。</li> <li>● 公演当日のリハーサルの際、出演者とバックステージツアーを行います。</li> </ul>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>ペットを飼う事、ペットと人間の関係について考える機会を作ります。そこから発展して、ペットだけでなく、自分たちが食べている動物や、植物や人間も含めたたくさんの命について考える機会を作ります。</p> <p>公演時には<b>演技ではなくて、自然な気持ちで『いのちの花』を受けとれるようになります。</b></p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>事前に台本をお渡しします。</p> <p>一人一人の状況を把握し、児童にとって一番良い方法と環境で参加できるように先生と綿密に打合せを致します。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	514	分野	演劇	種目	演劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団銅鑼			制作団体名	有限会社 劇団銅鑼				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性・女性の着替え用。なければ1室でも可。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台	中型バス 1台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック 1台	長さ8.8m 幅2.5m 高さ3.5m				
	可	搬入車両の横づけの可否 *			出来ない場合は、搬入時間が長かかります。					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			敷地内に搬入車両が入れば可ですが、搬入時間は長かかります					
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段がない経路が望ましい。屋根のある経路が望ましい。					
		理由								
	可	設置階の制限 *			大きな舞台装置の搬入ができれば可能。					
WSIについて	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m(搬入扉を全開にして内のりの対角線が2.5m以上必要。)	高さ	2m(搬入扉を全開にして内のりの対角線が2.5m以上必要。)				
	可	参加可能人数		30人						
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	-				
本公演について	可	所要時間の目安 単位:分		90分以上						
		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。						
	可	鑑賞可能人数		共演可能人数30人・鑑賞可能人数は、ステージ上と張り出し舞台設置ができれば、500名程度まで。 平土間の場合は200名まで。						
	可	舞台設置場所 *		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能						
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	最低10.5m	奥行	最低3.7m	高さ	最低4m		
	可			舞台袖スペースの確保 *		要				
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの条件 *		間口が12m以上あればなくても可				
	-			緞帳 *	不要		バトン *	不要		
	不可	遮光(暗幕等)の可否 *		要	理由	映像を使用しているのと照明効果を高めるため				
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	舞台袖などになければ可				
	-			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項									
	不可	体育館が2階以上の場合、一番大きな大道具のサイズが縦3.35m 横2.4m。これが階段などで曲がりきれず搬入できなければ不可。								
不可	フロアのシート敷き、椅子並べは学校にお願いします。									



大きな大道具が高さ3.35m、幅2.4mのものがありますので、対角線の長さが2.5m以上必要。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	できない場合は、搬入時間が長くなります。			
横づけができない場合の搬入可能距離	4トントラックが学校敷地内に入れば可能			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



むかいまなみちよ  
向井愛実著「いのちの花」(株式会社 WAVE 出版刊)

たき はるみちよ せかい  
瀧 晴巳著「世界でいちばんかなしい花 それは青森の女子高生たちがペット殺処分ゼロを目指して咲かせた花」(ガンビット刊)

れいわ ふんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
令和2年度文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —



のうぎょうこうこう にゆうがく  
農業高校に入学したマナミたちは、見学で訪れた動物愛護センターで、  
さつしよぶん どうぶつ ほね  
殺処分された動物たちの骨が、「ゴミ」として捨てられていることを知る —  
こえ あ  
声を上げることもできずに死んでいった動物たちの「いのち」を再生させようと立ち上がった、  
にん じよしこうこうせい しんじつ ものがたり  
5人の女子高校生の真実の物語。

ひとびと えんげき と こ  
人々の暮らしに演劇が溶け込み、  
こころゆた じんせい かて わたし ねが  
心豊かな人生の糧となること —それが私たちの願いです。

すずきみずほ はやかわしやうじ げきだんみんげいしゆつしんしや ちゆうしん ねんほつそく げきだんいん めい  
鈴木瑞穂・早川昭二など劇団民藝出身者を中心に1972年発足。劇団員50名。

へいわ じんげんあい もと ほんとう じんげん い なに  
「平和」と「人間愛」を求め、「本当に人間らしく生きることとは何か」

かつどう  
をテーマに活動。

ねんしよえん  
1992年初演の『センポ・スギハアラ』で初の海外公演を実施、

いこうこくさいこうりゆうかつどう つづ  
以降国際交流活動を続けている。

ねんらい  
1978年以来、「青少年に豊かな文化を」との願いから、

あした しゆつぱつ おれ こうしえん びつぐ びら ぎー ほか  
『明日へ出発』『俺たちの甲子園』『Big brother』『ハンナのかばん』他で

ぜんこく ちゆうがく こうこう げきじやうなど こうえん ぶたいこうえんいがい  
全国の中学・高校・おやこ劇場等で公演。舞台公演以外にも、

えんげき とお しゃかいこうけんかつどう さまざま ばしよ かつどう おこな  
「演劇を通じた社会貢献活動」として様々な場所でワークショップ活動も行っている。

えいが てれび しーえむ しゆつえんしやたすう  
映画・TV・CMなど、出演者多数。

### 劇団銅鑼

〒174-0064 東京都板橋区中台1-1-4  
tel: 03-3937-1101 fax: 03-3937-1103

e-mail: info@gekidandora.com

URL: http://www.gکیدandora.com

Twitter @gekidandora

Facebook @theatercompanydora

### ふんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」

わ くに いちりゆう ふんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゆうがっこうなど こうえん こども  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供た  
ちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコ  
ミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の  
向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどうまた かんしやうしどう おこな  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。  
また実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ペットの命・家畜の命・人間の命・・・いのちってなんだろう？  
 ひとりひとりの命・一つ一つの命はとても尊くて重い。  
 それは誰もが、あたりまえのことと思っているはずですが。  
 でも、本当にそれはあたりまえのこととなっているのでしょうか。



# いのちってなんだろう？

この難しいテーマを高校生たちが考え続け起こした行動は、多くの人に波紋を投げかけました。  
 この舞台を通して、動物のいのちだけではなく、自分のいのち、人のいのち、  
 生きとし生けるもののいのちのことを  
 少しだけ真面目に考えてもらえたらと思います。

## \* スタッフ

脚本 / 畑澤聖悟 演出 / 齊藤理恵子  
 美術 / 阿部一郎 照明 / 鷺崎淳一郎 音楽 / 寺田鉄生  
 音響 / 坂口野花 衣裳 / 山田靖子 映像 / 八木克人 舞台監督 / 中村卓  
 切り絵 / まちこ 宣伝美術 / 早田二郎 制作 / 田辺素子  
 協力 / 青森県立三本木農業高等学校  
 青森県動物愛護センター



撮影 / 宮川舞子

## キャスト紹介

①出身地 ②高校の時の部活 ③高校の時にはまったもの

アカサカ先生役	愛護センターの職員 / 生徒役	オオタ先生 / マナミのおじいちゃん	生徒役	生徒役	ハルノ役	マナミ役	チバちゃん役	リン役	ジュリナ役
									
すぎうらかずき 杉浦一輝	さとうきょうこ 佐藤響子	くぼたかつひこ 久保田勝彦	のうちたかゆき 野内貴之	かめおかゆきひろ 亀岡幸大	たかはらみずき 高原瑞季	きたばたけめぐみ 北畠愛美	なかしまさゆか 中島沙結耶	あおきななみ 青木七海	さとうりん 佐藤凜
①千葉県 山奥 ②野球部 ③放課後はスケボーで遊んで、その後レイトショー目当てで映画館に行くのがお決まりでした。	①熊本県 ②演劇部 ③友人から借りた「ぼのぼの」	①東京都 ②なし ③バイク	①埼玉県 ②バドミントン ③古本屋で漫画、ゲーム、CD探し	①群馬県 ②硬式テニス部 ③パソコンの組み立て	①神奈川県 ②ダンス部 ③洋服・メイク用品	①兵庫県 ②演劇部 ③アニメ・コスプレ・プリクラ	①熊本県 ②演劇部、化学部、ボランティア同好会 ③ボーカロイド、YouTube	①愛知県 ②男子バレーボール部マネージャー、帰宅部 ③水溜りボンドさん (Youtuber)、映画鑑賞	①岩手県 ②演劇部 ③歌手さん



## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	<input checked="" type="checkbox"/> バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

 (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんしゃだんほうじん さだまつ はまだ ばれえだん		
制作団体名	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 貞松 融		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒657-0822 神戸市灘区畑原通 3-6-6 阪急王子公園駅徒歩 10 分 / 神戸市営バス五毛天神下車徒歩 5 分		
電話番号	078-861-2609	F A X 番号	078-801-0308
ふりがな	いっばんしゃだんほうじん さだまつ はまだ ばれえだん		
公演団体名	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団		
代表者職・氏名	理事長 貞松 融		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒657-0822 神戸市灘区畑原通 3-6-6 阪急王子公園駅徒歩 10 分 / 神戸市営バス五毛天神下車徒歩 5 分		
制作団体 設立年月	1965年 3月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	<b>別紙①参照</b>	別紙の通り、加入条件は役員の認証による	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	貞松 正一郎
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	堤 悠輔

制作団体沿革	<p>1965年、貞松融を団長、浜田蓉子を副団長に神戸市で結成。  クラシック・バレエを基本にクラシック作品と創作作品を活動の両輪に公演を続けている。  北京・上海公演、東京公演を含む公演総回数は1000回を超える。  一方、創作作品は31回を数える《創作リサイタル》公演で上演を続け、団員や国内外の客演振付家による創作作品は180を超える。団員は欧米各地また中国等で研修を重ね、海外の諸先達に師事するとともに、舞踊を通じて諸外国の人々との交流を深めてきている。  主な受賞として、ローザンヌ賞、文化庁芸術祭大賞(2回)、文化庁芸術祭優秀賞(3回)、文化庁長官表彰、橘秋子賞:功労賞など</p>		
学校等における公演実績	<p>1945年に始まった学校公演は今までに700回以上を超える。  関西一円を中心に小・中・高の学校生の為の視聴覚教育の一環としての公演活動を精力的に続けている。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>2014年6月 都立八王子東特別支援学校  2015年6月 徳島県立徳島聴覚支援学校  2017年6月 長崎県立川棚特別支援学校  2021年1月 広島県立尾道特別支援学校(予定)</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	① ・ 無
申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		① ・ 無	
※公開資料有の場合 URL			
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	
Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無	
	※公開資料有の場合 URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団】

対 象	小学生( 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ) ・ 中 学 生			
企画名	貞松・浜田バレエ団 『子供のためのバレエ鑑賞会』			
本公演演目	<p>*小学校用 《プログラム》 [1] エグゼルス(バレエ教室) <span style="float:right">ヘンデル曲</span> [2] バレエのできるまで(時計の踊り) <span style="float:right">ルロイ・アンダーソン曲</span> [3] バレエ小品集(仲良し、イワン兄弟、スパニッシュ等) <span style="float:right">チャイコフスキー曲他</span> [4] 動物のカーニバル <span style="float:right">サン・サーンス曲</span> [5] 白鳥の湖ハイライト(2幕・4幕の湖の場より) <span style="float:right">チャイコフスキー曲</span> [6] 日本のバレエ『祭』 <span style="float:right">中村茂隆選曲</span></p> <p style="text-align:right">公演時間( 100 分) 途中休憩含む</p>			
原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>*中学校用 《プログラム》 [1] エグゼルス(バレエ教室) <span style="float:right">ヘンデル曲</span> [2] バレエのできるまで(時計の踊り) <span style="float:right">ルロイ・アンダーソン曲</span> [3] バレエ小品集(イワン兄弟、スパニッシュ等) <span style="float:right">チャイコフスキー曲他</span> [4] セイラーズ・セイリング <span style="float:right">ジェイムズ・バーンズ他</span> [5] 白鳥の湖ハイライト(2幕・4幕の湖の場より) <span style="float:right">チャイコフスキー曲</span> [6] 日本のバレエ『祭』 <span style="float:right">中村茂隆選曲</span></p> <p style="text-align:right">公演時間( 100 分) 途中休憩含む</p>			
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有  (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無

<p>演 目 概 要</p>	<p><b>*小学校用</b></p> <p>[1] 日常バレエダンサーは毎日どんなレッスンをしているか、解説を交えて紹介。 生徒参加。</p> <p>[2] 総合芸術であるバレエがどのようにしてでき上がるのかを紹介、生徒参加。</p> <p>[3] 小品を通してバレエの楽しさや多様性を紹介。</p> <p>[4] ライオンを中心に次々と繰り広げられる動物たちの踊りに、大歓声と大拍手。</p> <p>[5] バレエの代表作チャイコフスキーの名曲と共にバレエブラン(白い舞台)の醍醐味をお届けします。</p> <p>[6] バレエ団で創作した『祭』を披露します。創作バレエの素晴らしさや楽しさを披露し八木節で完結します。日本のバレエとも呼んでいます。</p> <p><b>*中学校用</b></p> <p>[1] 日常バレエダンサーは毎日どんなレッスンをしているか、解説を交えて紹介。 生徒参加。</p> <p>[2] 総合芸術であるバレエがどのようにしてでき上がるのかを紹介、生徒参加。</p> <p>[3] 小品を通してバレエの楽しさや多様性を紹介。</p> <p>[4] 震災後の復興を願い港を舞台に作られた水兵たちの明るく楽しい作品です。</p> <p>[5] バレエの代表作チャイコフスキーの名曲と共にバレエブラン(白い舞台)の醍醐味をお届けします。</p> <p>[6] バレエ団で創作した『祭』を披露します。創作バレエの素晴らしさや楽しさを披露し八木節で完結します。日本のバレエとも呼んでいます。</p>		
<p>演 目 選 択 理 由</p>	<p>優秀な芸術家のスタッフと毎日のレッスンを大切にするプロのダンサーとの協力で、バレエ芸術ができていることを肌で知ってもらい、また、バレエ芸術を通して子供たちに素晴らしい感性を育てほしいという視点から演目選択しました。</p> <p>やさしさや、暖かさや、美しさや、力強さを通して大きな感動をお送りしたいと願っての公演です。また創造する豊かさと喜びを実際に見ていただき理解してもらいます。</p>		
<p>児 童 ・ 生 徒 の 共 演 ， 参 加 又 は 体 験 の 形 態</p>	<p>クラシックバレエには、多くの基本があり、正しい立ち方や日常のストレッチ、様々なポディション等を学び・体験してもらいます。</p> <p>また、バレエ団員と踊りに参加するときもあります。</p> <p>そしてバレエ公演では必ず出てくるマイムを学ぶマイム教室もあります。</p> <p>さらに手の表現、足の表現などが発展し感情表現へと進みます。</p>		
<p>出 演 者</p>	<p>団員より出演予定</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出 演 者: 21 名  <u>ス タ ッ フ: 15 名</u>            合 計: 36 名</p>	<p>機 材 等 運搬方法</p>	<p>積載量 4 t            車 長 5~6 m            台 数 1 台</p>

## 【公演団体名 一般社団法人 貞松・浜田バレエ団】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有)・無) 会場設営の所要時間( 5 時間程度 )					
	<午前公演>					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:30~10:30	10:30~12:20	10分	12:15~13:30	13:30
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	約100名まで				
	本公演	~700名程度まで				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【一時限目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団長の解説のもと、バレエ団員数名が前に立ち、40~80名の生徒と数名の先生がバレエの歴史、踊りの基礎などを学んでいきます。</li> <li>・身体の基本的な動き、リズム体操(リミック)、ストレッチなどを体育館で、実際に身体の可能性について体験します。</li> <li>・普段見られないバレエの稽古風景、マイム教室、小品集を鑑賞します。</li> </ul> <p>【二時限目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3グループぐらいの小グループに分かれて、バレエの小品の振付を覚えて、実際に発表し見せ合います。</li> <li>・また、本公演に出演する10数名の生徒を選んで、踊りを覚えてもらい、本公演当日、バレエ団と共演します。</li> </ul>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>初めてバレエを観て頂く上で、客席から本番の舞台(お化粧をして綺麗な衣裳を着て踊る姿)を鑑賞して頂くだけではなく、ダンサーの日常の見えない部分を大切に、実はこの踊りの前にこんな練習をして、レッスン、リハーサルを重ねて踊っているのだという所を解りやすく紹介するワークショップです。</p> <p>実際に体を動かすことによって、先生も生徒も一緒になって、踊りの持っている楽しさを体験して頂き、人間本来の身体の素晴らしさを学びます。</p>					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>実際に身体を動かすことが困難ではあるが、手、足など身体を使った体操を全員で可能な限り動きます。</p> <p>バレエの基礎、歴史などを説明し、音楽をかけて団員が踊ることを見て頂くことにより身体の動くことの可能性を感じて頂きます。</p> <p>そして数名の生徒、先生にはバレエの基礎を舞台に上がり体験して頂きます。</p> <p>最後に普段見ることのできないマイム教室、レッスン風景、いくつかの小品を鑑賞します。身体、視、聴、覚をそれぞれ使って体験できるように工夫しております。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

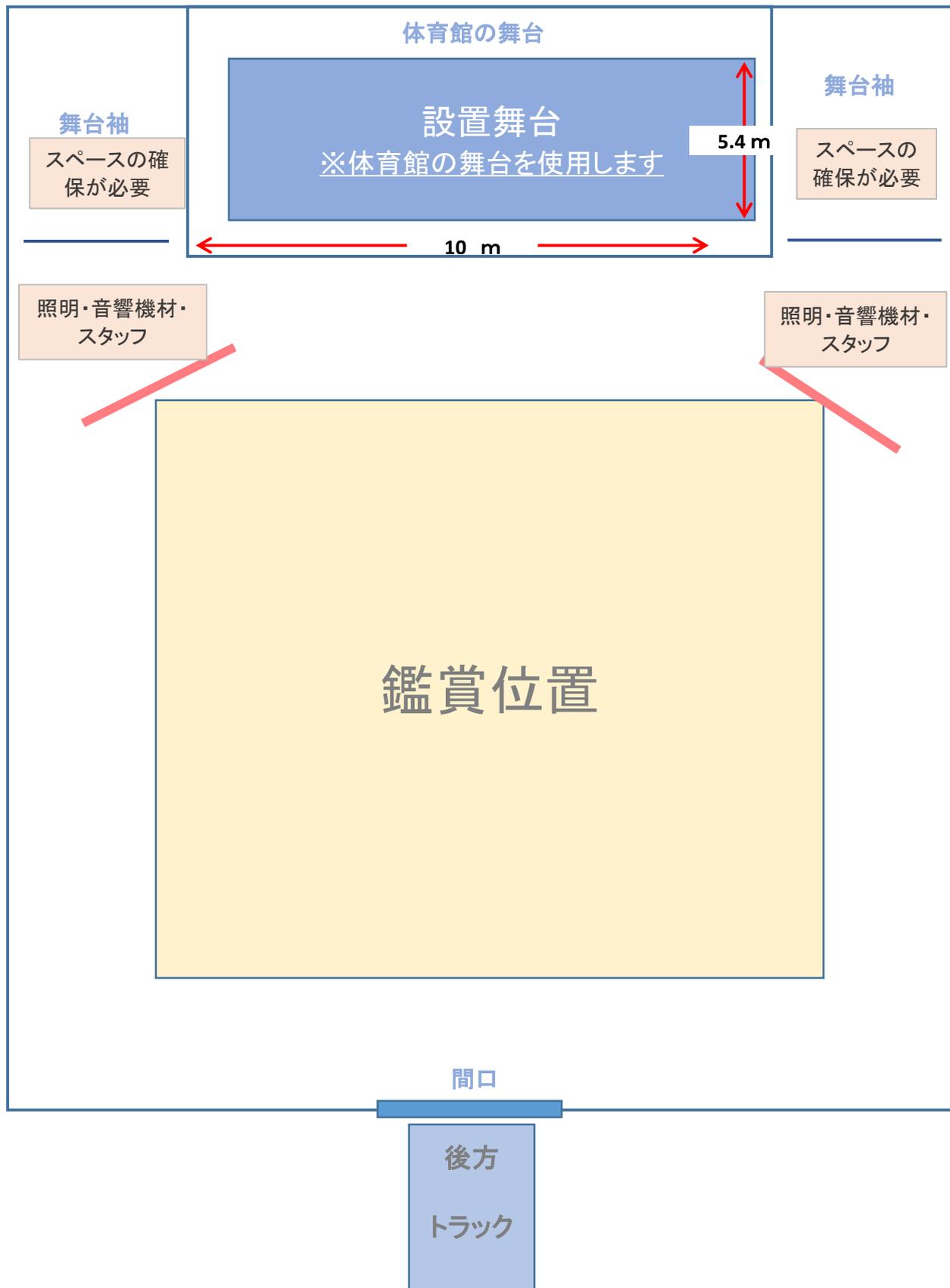
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	708	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック		区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団			制作団体名	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件						
搬入について	可	来校する車両の大きさ*と台数*			4tトラック	1台	中型バス	2台		
					乗用車	1台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック 1台					
	可	搬入車両の横づけの要否*			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根のある経路が望ましい</li> <li>・できる限り会談のない経路が望ましい</li> </ul>					
		理由			衣装・大道具・照明機材等を搬入するため					
	可	設置階の制限*			問わない					
不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m		高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			100名程度					
	可	学年の指定の有無*		あり	指定学年*		5・6年生が望ましい (生徒数が少ない場合、全校 生参加も可能・要相談)			
	可	所要時間の目安 単位:分		約90分(2時限分)						
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。						
	可	鑑賞可能人数			700名程度(フロアでの鑑賞時)					
	可	舞台設置場所*			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	5.4m	高さ	不問	
	可				舞台袖スペースの確保*			要		
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの条件*			袖に何も荷物が置かれていない状態		
	可			緞帳*	要		バトン*	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否*			要	理由	照明効果を高めるため			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律*		不要				
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		公演には影響ありません				
	可	公演に必要な電源容量			100A		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内(要相談)			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごうしぎょう  
**文化芸術による子供育成総合事業**  
 じゆんかい こうえん しぎょう  
**巡回公演事業**

さだまつ はまだ だん  
**貞松・浜田バレエ団**  
 こうえん  
**バレエ公演**

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごうしぎょう  
**文化芸術による子供育成総合事業**  
 じゆんかい こうえん しぎょう  
**<巡回公演事業>**

しょうがっこう ちゅうがっこう において一流の  
 文化芸術団体による巡回公演を行い、  
 優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供  
 することにより、子供たちの発想力や  
 コミュニケーション能力の育成を図り、  
 将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞  
 能力の向上につなげることを目的と  
 した事業です。

公演の実施に当たっては、事前に  
 公演に関するワークショップを行い、  
 児童・生徒を実演に参加させるととも  
 に、実演指導又は鑑賞指導を行います。



◆公演スケジュール

開催月日	開催校	地元主催者

貞松・浜田バレエ団 プロフィール

昭和40年（1965年）3月に結成され、今年で53周年を迎えました。結成以来クラシックバレエの基礎の上になつて、「クラシックバレエ」作品はもちろんのこと、日本人でなければできない素材を追求した「創作バレエ」「日本バレエ」の創造を目的に数多くの作品を発表し公演活動を行っています。

現在までの公演回数は1000回を超え、昭和62年（1987年）には兵庫県の文化に尽くした団体として「兵庫県文化賞」を受賞し、昭和55年（1980年）「兵教組文化賞」、平成3年（1991年）「神戸市文化賞」ほか多数受賞。平成17年度（2005年）「文化庁芸術祭大賞」、平成20年（2008年）5月「橘秋子賞功労賞」、平成21年度（2009年）・平成29年度（2017年）・平成30年度（2018年）「文化庁芸術祭優秀賞」を受賞しました。特に兵庫県内を「県民芸術劇場」一般公演と学校公演として、全域で公演活動を行ってその回数は700回を超えています。

また、遠くモスクワ・アテネ・ローマ・フィレンツェ・ニューヨーク・ロサンゼルス・ロンドン・北京・上海・無錫等へおもむき基礎学習を積んでおり、海外公演においても広く諸外国と交流を深め、代表の貞松正一郎はスイスの「ローザンヌ国際コンクール」における、最高の「ローザンヌ賞」を受賞。平成9年（1997年）には、「大阪舞台芸術奨励賞」も受賞するなど、国内外問わず、その活動は認められています。本日の公演にも、団員で全国コンクール上位受賞者が多数出演しています。現在、地域に根ざした世界に通用するバレエ団をめざして活動を展開しています。



★知っていますか？ <10月1日は「国際音楽の日」です>

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。





# 楽しいバレエ劇場のご案内



みなさまにお会いできて、とても嬉しく思っています。バレエを観て、バレエの美しさ、楽しさ、力強さ、面白さを感じて、好きになって頂こうと思ひ、バレエ団員はみんな張り切っています。

バレエは踊りの劇です。色々な役でお話しています。言葉は話しません、その動き・音楽がその役割をしてくれます。みなさんもやってみてくださいね！そして人間の身体の素晴らしさと表現の豊かさを学んでください。いいなと思った時はいつでも拍手してください。「ブラボー」と言ってくださいってもいいんですよ！



## ◆スタッフ

台本・構成：貞松融 浜田蓉子

演出・振付：貞松正一郎

バレエマスター：貞松正一郎

バレエミストレス：長尾良子

衣装デザイン：堀部富子

照明デザイン：柳原常夫 加藤美奈子

(ライティングセブン)

舞台道具：湊謙一(日本ステージ)

音響：津田和志(神戸国際ステージ)

舞台監督：坪崎和司(ステージバンド)

## ◆キャスト (出演者)

竹中優花 / 佐々木優希 / 廣岡奈美 / 角洋子

上山榛名 / 松尾珠里 / 尾崎理沙 / 宮本萌

名村空 / 富上ころ / 山野井萌 / 井上ひなた /

小林奈央 / 渡辺菜月 / シャンティ紀奈

武藤天華 / 大門智 / 水城卓哉 / 幸村恢麟 /

切通理夢

(日によって変更がございますので、ご了承下さいませ)



## ■ 予定プログラム ■

出演：貞松・浜田バレエ団  
解説：貞松融

### 第1部 バレエ教室と小品集

- (1) バレエを踊るダンサーのお姉さんやお兄さんたちは、毎日どんなおけいこをしているのか、チョットのぞいてみることにしましょうね「ここは稽古場です」
- (2) 小品『仲よし』  
人形振りといってお人形さんが踊っているように振付けられています。
- (3) 小品『時計』 <ルロイ・アンダーソン作曲>  
バレエは総合芸術と言って、色々な専門の芸術家のみなさんが力を寄せ合っていてくださるんですよ！
- (4) 小品『イワン兄弟の踊り』 <チャイコフスキー作曲>  
ロシアの民族舞踊の踊りです。
- (5) 小品『スペインの踊り』 <チャイコフスキー作曲>  
スペインの民族舞踊の踊りです。

### 第2部 『動物のカーニバル』 <サン・サーンス作曲>

百獣の王ライオンを先頭に動物たちのにぎやかな行進です。つづいてニワトリ、ロバ、ウサギ、カメ、火の鳥、魚と次々に登場します。楽しい動物さんたちの踊りを観てくださいね！



### 第3部 『白鳥の湖』よりハイライト <チャイコフスキー作曲>

有名なチャイコフスキーの音楽と共にクラシックバレエ(古典バレエ)の代表作で、全四幕約2時間のうち、オデット姫とジークフリート王子のパ・ド・ドゥ(二人の踊り)、四羽の白鳥の踊りから、悪魔ロットバルトのたたかきまで、<白鳥の湖>の物語をまとめてみました。



### 第4部 日本バレエ『祭』 <音楽 中村茂隆 選曲>

さあ、おまつりです。バレエは外国で生まれましたが、これは日本で生まれたバレエです。農民たちが収穫を終えて、いよいよ喜びのおまつりです。人々は踊り、獅子は舞い、太鼓がなりひびき、八木節の音楽でまつりの幕をとじます。



# たの げきじょう あんない 楽しいバレエ劇場のご案内



みなさまにお会いできて、とても嬉しく思っています。バレエをみて、バレエの美しさ、楽しさ、力強さ、面白さを感じて、好きになって頂こうと思ひ、バレエ団員はみんな張り切っています。

バレエは踊りの劇です。色々な役でお話しています。言葉は話しません、その動き・音楽がその役割をしてくれます。みなさんもやってみてくださいね！そして人間の身体の素晴らしさと表現の豊かさを学んでくださいね。いいなと思った時はいつでも拍手してください。「ブラボー」と言ってくださってもいいんですよ！



## ◆スタッフ

台本・構成：貞松融 浜田蓉子

演出・振付：貞松正一郎

バレエマスター：貞松正一郎

バレエミストレス：長尾良子

衣裳デザイン：堀部富子

照明デザイン：柳原常夫 加藤美奈子

(ライティングセブン)

舞台道具：湊謙一(日本ステージ)

音響：津田和志(神戸国際ステージ)

舞台監督：坪崎和司(ステージバンド)

## ◆キャスト (出演者)

竹中優花 / 佐々木優希 / 廣岡奈美 / 角洋子

上山榛名 / 松尾珠里 / 尾崎理沙 / 宮本萌

名村空 / 富上こころ / 山野井萌 / 井上ひなた /

小林奈央 / 渡辺菜月 / シャンティ紀奈

武藤天華 / 大門智 / 水城卓哉 / 幸村恢麟 /

切通理夢

(日によって変更がございますので、ご了承下さいませ)



## ■プログラム■

出演：貞松・浜田バレエ団  
解説：貞松 融

### 第1部

- (1) エクゼルシース (練習風景)
- (2) 『時計』の踊り < ルロイ・アンダーソン >
- (3) 小品集
  - ① ヴァリアシオン (クラシックの踊り)
  - ② イワン兄弟の踊り (ロシアの踊り) < チャイコフスキー >
  - ③ スペインの踊り < チャイコフスキー >

### 第2部

『セイラズ・セイリング』 < ジェイムズ・バーンス / ルロイ・アンダーソン >

阪神・淡路大震災のあと貞松正一郎が『がんばろう 神戸』との思いを込めて手旗信号を取り入れて創作しました。



### 第3部

『白鳥の湖』よりハイライト < チャイコフスキー作曲 >

有名なチャイコフスキーの音楽と共にクラシックバレエ(古典バレエ)の代表作で、全四幕約二時間のうち、オデット姫とジークフリート王子のパ・ド・ドゥ(二人の踊り)、四羽の白鳥の踊りから、悪魔ロットバルトのたたかきまで、< 白鳥の湖 > の物語をまとめてみました。



### 第4部

日本のバレエ『祭』 < 音楽 中村茂隆選曲 >

さあ、おまつりです。バレエは外国で生まれましたが、これは日本で生まれたバレエです。農民たちが収穫を終えて、いよいよ喜びのおまつりです。人々は踊り、獅子は舞い、太鼓がなりひびき、八木節の音楽でまつりの幕をとじます。

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ ようごうしゃ 株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役 小池 岳士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10分)		
電話番号	046-297-0255	FAX番号	046-297-0256
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじん ほうしょうかい 公益社団法人 宝生会		
代表者職・氏名	会長 錦織 淳		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒113-0033 東京都文京区本郷 1-5-9 (JR水道橋駅東口より 徒歩 3分 / 地下鉄都営三田線水道橋駅A1出口より 徒歩 1分)		
制作団体 設立年月	○影向舎・昭和60年設立 ●宝生会・明治45年設立		
制作団体 組織	役員		団体構成員及び加入条件等
	(株)影向舎 小池岳士・小池将直 他		制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	中村真理子
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	小池弘美

## 制作団体沿革

○株式会社 影向舎 《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》

学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを34年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。

創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。特に能楽公演においては、通常の学校公演に加え、過去には東京都主催「こども能チャレンジ」の制作業務の実績・経験を基に、趣向をこらした青少年向け能楽公演を実施。

どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。

現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。

### ●宝生会

能シテ方五流儀の中で、宗家を頂点として一流儀一家という結束力を誇る。現在の宗家は二十世・宝生和英(ほうしょう かずふさ)。34歳の若さを武器に進取的な取り組みで、これからの能の可能性を常に追求している。「体感する能」と称した、切り絵アーティストや映像クリエイターとのコラボ演出・公演は特筆に値し、今の人達に生きた能楽の魅力を発信し続けている。会を構成する能楽師は重鎮から若手まで層が厚く、宝生会がひとつとなって、その伝統と革新力で、精力的に能楽堂公演や子供向け企画などを行っている。

以下は主な宝生会と宝生能楽堂の歴史。

- 明治18年 松本金太郎が神田猿樂町に能舞台を建設
- 明治26年 舞台改装を機に宝生会定期能を開催
- 明治45年 社団法人組織となる(関東大震災にて焼失)
- 昭和3年 現在の文京区本郷(旧松平邸)に豪華な能楽堂を建設(昭和20年戦火にて焼失)
- 昭和25年 同場所に水道橋能楽堂として再建
- 昭和54年 現在の宝生能楽堂が建設され、現在に至る

### 文化芸術による子供育成総合事業に向けて

能楽は世代間ギャップが無く、祖父母から孫まで一緒に楽しめる魅力を秘めています。能楽を学ぶ事は、順序立てた自身の主張能力を培い、人・社会とのコミュニケーション能力を高めます。

学びの体験は全員参加で無ければ意味がありません。楽しみながら能面・能装束を身に付けてください。そしてその経験を、友達や家族の人と共有してください。

私も、皆さんにより近く同じ目線で設営された能舞台で舞うことによって、学ぶ・観るの二大要素を網羅したこの事業の素晴らしさを伝えたいと、強く願っています。

#### 宝生流第二十代宗家 宝生和英



	<p><b>宝生会と影向舎</b>  本申請は、能楽界のトップランナーである宝生会と、学校公演の業界を長年牽引してきた影向舎が、その若さならではの新しい感覚と、長年に亘る公演実績を融合し企画した内容です。平成30年度の「文化芸術による子供の育成事業」ではEブロックにおいて22校、令和元年度の「文化芸術による子供育成総合事業」ではBブロックにおいて19校という、多くの公演実績を残してまいりました。また本年度はFブロックにおいて13公演を予定しております。双方の総合力や演出力などの利点を十二分に発揮して、各地各校の児童・生徒の皆さんの若い心に、能楽の素晴らしさをお届けします。</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>○(株)影向舎 古典芸能分野では全国一の実績を誇る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都主催による「こども能チャレンジ」の事務局を担当。</li> <li>・平成20年度・21年度「本物の舞台芸術体験事業」平成22年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成23年度・平成24年度・平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」に参加。平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」。令和元年度文化芸術による子供育成総合事業 Bブロックで19公演展開中。</li> <li>・平成21年度～令和2年度「北海道巡回小劇場」に12年度連続で参加。</li> </ul> <p>●(公社)宝生会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝生会主催による「夏休み親子教室(旧称:夏休みこども仕舞教室)」を平成18年より毎年開催(文化庁「伝統文化親子教室」事業として参加)。今年で13年目を迎える。</li> <li>・山形県酒田市「庄内能楽館親子仕舞教室」を実施(平成28年～)</li> <li>・公益社団法人能楽協会主催「キッズ伝統芸能体験」事業に参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>…講師(能楽師)派遣および稽古場、発表会(宝生能楽堂)の提供</li> </ul> </li> <li>・「韓国青年訪日研修団」能楽体験教室、「東京国際フランス学園」能楽教室を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>…型の体験、装束付け実演など</li> </ul> </li> <li>・各校修学旅行プログラム「能楽体験ワークショップ」を開催  過去実績:岐阜県可児市立広陵中学校、愛知県大府市立大府中学校、岐阜県垂井町立北中学校、岐阜県垂井町立不破中学校  「桐生市能楽教室」(桐生市内の小中学校合同にて) <ul style="list-style-type: none"> <li>…能楽囃子楽器の体験、舞と謡の体験、装束付けの実演など</li> </ul> </li> <li>・学生鑑賞会  過去実績:三田国際学園(旧:戸板学園)中学校、東京農大第一高校 <ul style="list-style-type: none"> <li>…能、狂言の公演</li> </ul> </li> </ul> <p><u>平成26年・27年</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港区キスポーツ財団主催「赤坂能ワークショップ」事業受託</li> <li>・港区立台場保育園、港区立麻布保育園、年長児に「猩々」謡の稽古、発表会への出演</li> <li>・公益財団法人日韓交流基金より対日理解促進交流プログラム(JENESYS2.0)事業を受託</li> </ul> <p><u>平成28年</u></p> <p>【JENESYS2015】韓国青年訪問団(高校生)第1・2・3団  【JENESYS2016】韓国教員訪日団 第1・2団実施</p> <p>10月4日 開成高校能楽鑑賞会  11月18日 静岡県袋井小学校鑑賞会  12月19日 多摩高校能楽鑑賞会</p>

	<p><u>平成 29 年</u>  2月15日 韓国青年訪日団第10団 能楽ワークショップ  2月27日 慶応義塾横浜初等部 能楽鑑賞会  8月20日 文京区「みんなで楽しむ 能・プロジェクト」</p> <p><u>平成 30 年</u>  2月24日 慶応義塾横浜初等部 能楽鑑賞会  8月12日 文京区「みんなで楽しむ 能・プロジェクト」</p> <p><u>平成 31 年・令和1年</u>  2月14日 学習院中等科能楽鑑賞会  3月17日 墨田区能楽鑑賞ワークショップ  8月1日 ウィズダムアカデミー運営の学童保育の育成時間で能楽体験  (幼稚園児から小学生児童約100名)</p> <p>令和3年秋 文京区主催の区内中学校(10校)の合同能楽鑑賞会【会場:宝生能楽堂】を実施予定</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平成22年12月2日(木) 埼玉県立本庄特別支援学校にて公演  平成23年11月30日(水) 京都市立鳴滝総合支援学校にて公演  平成30年10月5日(金) 愛知県立岡崎盲学校にて公演</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等  申請する演目の DVD または WEB 公開資料  ※公開資料有の場合 URL  ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ <u>無</u>  <u>有</u> ・ 無  ID:  PW:</p>
	<p>A の提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料  ※公開資料有の場合 URL  ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無  ID:  PW:</p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 宝生会】

対 象	小学生( <u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u> ) ・ <u>中学生</u>
企画名	はじめまして 能`楽`
	<div data-bbox="427 571 1385 907" style="border: 1px solid black; background-color: #d4edda; padding: 10px;"><p><b>能の型の表記について</b></p><p>当調書中では、平易性を優先して</p><p>「シヲリ」は「シオリ」</p><p>「カマヘ」は「カマエ」</p><p>に統一表記致します。</p></div>

# はじめまして 能楽

難しいと思われがち

## 能楽を楽しんでもらう為の工夫

### 工夫ポイント①

### 能楽とは？ 能と狂言・二人の兄弟が一つになって能楽です

能楽の楽しさは、能と狂言の、異なる性格と役割を知るところから始まります。

### ワークショップ

ワークショップでは、能役者と狂言役者それぞれが、演出の違いを分かり易く実演・解説します。



### 本公演

本公演では、大変ポピュラーな、狂言「柿山伏」・能「黒塚」を上演します。狂言のセリフ古典劇、能の優美な歌舞劇の両面から、能楽の魅力にアプローチします。

本公演演目

原作／作曲  
脚 本  
演出／振付



## 工夫ポイント②

# 体育館に異空間が出現！こだわりの能楽堂

### 能楽を観るなら雰囲気も大切



初めて能楽を鑑賞する児童・生徒さんに、能楽の良い印象を残すには、能舞台は必須です。各校の体育館の形状に合わせて、本格的な舞台を特設します。

### 能楽堂では味わえない臨場感



役者の息遣いや、足音まで聞こえるギリギリの場所まで、座っていただけます。

### 理解を深める字幕や映像の投影



黒塚」の現代語字幕や、役割の紹介など、鑑賞する際に理解を深めるツールとして設置します。スクリーンは大型100インチ・後方からの投影型タイプにより、客席スペースに一切の制限を設けません。

### 工夫ポイント③

## 能楽師と一緒に考えてみよう！アフタートーク

本来の能楽公演ではみられないアフタートークをご用意しました。  
鑑賞を終えた子ども達の率直な疑問・質問を、出演者が2段階に分けてお答えします。

### ～演能の前に問題提起！～

「お婆さんは、何故鬼女になってしまったのか？」について  
注目しながら観てみてくださいね



### ① ～鬼が登場！～直接聞いてみよう～

まず、間近で観た能「黒塚」のそれぞれの役を能楽師と一緒に振り返りながら、  
登場人物の心に思いをめぐらせてます。

お婆さん、どうして  
鬼女になってしまったんですか？



それはね…

### ② 疑問・質問コーナー

#### 過去の感想や質問例

- どうして着物が鬼の時には、変わっていたのですか？
- 面をつけている人は特別視力がいいのですか？
- 能楽師の方はどれくらい一人前になったとされるのですか？
- 鬼女の役なので女の人だと思っていたら、男の人でした。女性の能楽師はいるんですか？
- あの棒はなぜ鬼の時しか持たないんですか？
- 能力（狂言方）は何で途中からしか出てこなかったのですか？
- 一言一言声が大きくて喉は痛くないんですか？
- 低い声はどうやって出しているんですか？
- 囃子方が叩くときに何で「オー」っていうのか疑問に思いました。
- どうしてムチが光っていたのですか？ふつうのムチなら光らないはずなのに、どうしてですか？
- 黒塚のお話しのお婆さんと鬼の時の役者さんは、同じ人なのかどうか気になります。



#### 工夫ポイント④

## なぜ、能「黒塚」なのか

### 老婆はなぜ鬼女になったのか…？

#### …善悪の概念とは？

我々が心に抱く“喜怒哀楽”、それによっては善人が悪人になって罪を犯したり、とてつもない恨みの感情を抱いてしまうことがあります。普段の日常生活で善と悪を白黒つけることはよくありますが、能で演じられる喜怒哀楽に善悪をあてはめることは簡単ではありません。

何百曲とある能の演目から「黒塚」を選択した理由は、「黒塚」とまた前段となる「黒塚伝説」には、能を通した人間の業の奥深さが秘められているからです。

老婆を鬼女にしてしまうほどの感情とその壮絶な背景。それを知った鑑賞者は「鬼＝悪者」、ひいてはすべてが表向きの善悪だけで説明できるという固定観念を覆されることでしょう。

### 過去公演校からいただいた感想

- くろづかさん、ありがとう。(小学1年生)
- 鬼が来て怖かった。(小学1年生)
- 能の黒塚は、ちょっと難しかったです。家に帰って黒塚伝説を調べてみました。でもどうして鬼女になったかわかりませんでした。(小学2年生)
- なんで鬼女は隠しているところがあるのに、うちに入れたの？(小学2年生)
- 鬼は怖かったけど、最初のおばあさんの時は、優しくでした。(小学2年生)
- 開けちゃいけないドアを開けて自分が、逃げちゃうのは、役だけちょっとひどいと思いました。(小学3年生)
- 山伏・祐慶が必死に呪文を唱えていて、ちょっと応援したくなりました。(小学3年生)
- みんな、おばあさんは最初は優しいと言っていましたけど、私は最初も怖いと思いました。(小学3年生)
- 今度は黒塚に行ってみたいです。(小学3年生)
- 見てはいけないと言われても、何が入っているのかを見たいのは分かるけど、見ちゃいけないから見なかった方がいいなと思った。(小学4年生)
- 黒塚の話は全体的に少し悲しい話でした。疑問に思ったことは、どうして寝室に人の死体をおいたのかです。(小学4年生)
- おにばばが負けた時、ちょっとほっとしました。(小学4年生)
- 鬼女が見るなと言った部屋を見られて、可哀そうだと思いました。(小学4年生)
- 鬼女がとっても怒っているときに、ママの顔を思い出して、今あらためると、ママには、いつも怒られるから、いつもがんばらなくちゃと思いました。(小学5年生)
- 能力が寝室を見なければ、こんな話にならないと思いました。(小学5年生)
- 老婆が鬼女になったのは、寝室を見られたからか、泊めて帰る前になろうとしていたのか、どちらなのか気になります。(小学5年生)
- 優しくしたおばあさんが、鬼女になったとき、開けなかつたらどうなっていたのか、気になりました。(小学5年生)
- 鬼女はどこに消えたのか、気になります。(小学6年生)
- それにしてもなぜ老婆は、鬼女になってしまったのだらうと思いました。(小学6年生)
- おばあさんが鬼女になったのは、昔に何かあって、鬼女と呼ばれるようになったのだと思います。でも祐慶達を家に泊めたのは、心のどこかに優しさがあったからなのではないかと思います。(小学6年生)



能を鑑賞した子ども達の純粋な解釈と反応には、  
私たち大人が気付かされるのが沢山あります。



著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
-----	---	---------	--------------------	------------------------------

# 本公演プログラム

出演 シテ方宝生流 他

時間 1時間40分

- 1、**狂言『柿山伏』**
  - 2、囃子方の実演と解説
  - 3、能の役割の紹介
- ～休憩～
- 4、ワークショップで覚えた、シオリと附祝言「千秋楽」のおさらい
  - 5、**能『黒塚』**
  - 6、アフタートーク

## 本公演のポイント

### 1 代表的かつ分かり易い演目

狂言は、笑いがあふれ国語教材にも引用される『柿山伏』。能は、前半の主役は老女・後半は鬼女に変わる展開の面白さと、秘められた心情の深さが秀逸の『黒塚』をお楽しみいただけます。

### 2 ワークショップで体験した謡を、演能の締め括りで全員参加

『黒塚』の終わりに、すでに児童・生徒さんがワークショップで体験している附祝言『千秋楽』を構成します。演能最後の見せ場で、プロの能楽師と一緒に謡い、フィナーレを飾ります。

### 3 本格的な能舞台・大型スクリーン

能楽鑑賞には必須条件である能舞台を本格的なスケールで設営します。また舞台上手には、大型スクリーンを設置し、『黒塚』の現代語字幕の投影や、能の役割の説明・囃子方解説の補助映像を映します。



体育館への入場時に、ワークショップで上映した動画“バーチャル能楽堂体験”をスクリーンに投影します。ワークショップに参加できなかった児童・生徒さんや、ご来場の保護者の方にも宝生能楽堂の雰囲気をお楽しみいただけます。また体育館に設営された能舞台を比較しながら、その構造と意味をご理解いただけます。



# 1 かきやまぶし 狂言『柿山伏』

明快なストーリー、動物の鳴きまね等、大変分かり易い人気曲目。

近年では小学校の国語教材として採用されている最も認知度の高い狂言です。  
まずは笑いたっぷりの狂言を観て、能楽の楽しさに触れていただきます。

## 柿山伏のあらすじ

修行を終えた山伏が、帰り道にのどが渇いたので、畑に入り、勝手に柿を食べ始めます。夢中になって食べているところに畑主が現れます。盗み食いを見つけた畑主が怒鳴りつけると、山伏は気づかれまいと木に隠れます。畑主は少し山伏をからかってやろうと、「あれは犬だ、猿だ」と言って鳴き真似をさせます。さらに愉快になった畑主は「鳶だ」と言って、山伏を高い梢から飛ばせます。勇気を出して飛び降りた山伏は・・・



## 2 囃子方の実演と解説

まずは迫力のある4つの楽器（能では“お道具”と称されます）の演奏を聴いてもらいます。



あれ？  
どこかで見たような？

お雛様かな？

本当だ！お雛様！

↓ **そうです！**



雛人形でお馴染み  
**五人囃子**のモデルです



どのようなきっかけで演奏されているのか？  
能楽堂では行わない実験演奏をご披露します。



**囃子方にとって「ハア～ヨー」という“掛け声”が大変重要です。**

掛け声がかきかけて、演奏の強弱や調子を変え、またシテ方などの演技の合図ともなります。それを分かり易くご覧いただくために、囃子方4名が、それぞれが見えないよう四方を向いて座り、掛け声のみを合図に演奏をします。

1

囃子方の四人が、他の人が見えないように四方を向いて座る。

2

演奏が始まる。

3

正座をしていたシテ方が、立ち上がり舞台の中央で足拍子を踏む。

4

突然、太鼓の音が早く大きくなる。

5

笛、小鼓、大鼓の演奏も早く激しくなる。

6

「ヤー」という太鼓方の長く大きな掛け声。

7

ピタッと演奏が止まる。



## 各楽器（道具）の説明



### 笛



笛は、唱歌<sup>※</sup>が記された教本で旋律を覚えます。まず笛で演奏し、それを笛方が声で表現します。

### 小鼓・大鼓



小鼓と大鼓は、非常に湿度や温度に敏感な楽器です。小鼓は湿気が必要とするのに対し、大鼓は皮をカラカラに乾燥させて独特な高音を奏でます。大鼓は必ず公演前に皮を焙じます<sup>※</sup>。

スクリーンに能楽堂の焙じ室を映し、実際に焙じている様子をご覧いただけます。また両方の楽器の音色の違いを実演し、その特異性をご説明します。

### 太鼓



太鼓は、真ん中の小さな桴<sup>※</sup>をねらって打ち、激しい音を出します。その構造をご説明しながら、叩くリズムを、児童・生徒さんも一緒に練習してもらいます。

#### 唱歌《しょうが》

楽器の擬声音。高音の旋律は「オヒャーラー」など、カタカナで表記されている



#### 焙じる《ほうじる》

大鼓の両側の皮を、胴から分解し、炭で約2時間炙って乾燥させること



その後、唱歌をスクリーンに映し、児童・生徒さんがゲーム感覚で

ヒウラウラウラウラ♪

と唄い、それに笛方が演奏を加えます。

#### 桴革《ばちかわ》

太鼓の表革の中心に貼られた直径約4cmの鹿革

スクリーンに拡大



各楽器の外観や構造を、まんべんなくご覧いただくため、スタッフがライブカメラを用いて、その場で映し、スクリーンに投影します。



### 3 能の役割の紹介

能は、シテ方と三役と呼ばれるワキ方・狂言方・囃子方の4つの役割が一体となって演じられる芸能です。口頭だけでなく、それぞれの役割や装束の違いをスクリーンに投影して、立体的にご紹介します。

		役割	能「黒塚」の場合
シテ方	シテ	主役	老婆／鬼女
	地謡	コーラス隊・心情や情景を謡う	
	後見	舞台進行係	
ワキ方	ワキ	脇役 シテの相手役	山伏祐慶
	ワキツレ		同行の山伏
狂言方	アイ	前後半の間をつなぐ役割	能力
囃子方		合奏隊(笛・小鼓・大鼓・太鼓)	



「黒塚」の登場人物です。



シテ方  
老婆(前シテ) 鬼女(後シテ)



ワキ方  
山伏祐慶



狂言方  
能力

休憩10分

# 体験・展示コーナー

## 宝生能楽堂の写真展示

客席からの視線・舞台からの視線、さらには楽屋の様子など、普段は見る事ができない能楽堂の様子を多角度からご覧いただけます。

能面は下に傾けると悲しげ、上に傾けると明るい表情に変わります。チョットした角度で変化する能面の不思議を知ることができる特殊面掛けをご用意。



## 能と狂言の足袋を展示



能楽師と狂言師は、舞台上で使う足袋が異なります。特に狂言足袋は色の秘密が隠されています。その由来のご説明文と、実際の足袋を展示します。

## 実際に体験することができる能面



能楽師がご指導をしながら、気軽に顔に掛けてもらえる体験です。ワークショップで体験できなかった児童・生徒さんや近隣の方など、開演前、休憩中、終演後にお越しください。その視界の狭さと装着感を体験してください。

## 能の装束、狂言の装束を展示

能楽師の主役が着用する華やかな唐織※や、狂言装束の代表格である絵柄がユニークな肩衣※など、能装束と狂言装束の模様・素材の違いを、間近でご覧いただけます。



### 唐織《からおり》

能装束の中で最も豪華絢爛な衣装。主に女性役の上着として使われる

### 肩衣《かたぎぬ》

肩の部分が張った袖なしの上着。たんぼぼやパンダなど背に描かれた図柄が斬新

## ワークショップにはなかった頭(カシラ)と扇を体験

黒塚の鬼女が被る頭。鬼の恐ろしさを演出します。何の毛で出来ているのかわかりますか？なんとヤクの毛！

扇はただ開くだけでなく、能楽の開き方があります。能楽師が指導をしますので、自分も能楽師として体験してください。



## 4 ワークショップで覚えた あらすじ・シオリ・附祝言『千秋楽』のおさらい

休憩後の『黒塚』を鑑賞する前に、もう一度ワークショップで習ったことの内、4つのおさらいをします。

### 附祝言《つけしゅうげん》

一日の能の最後に地謡方が謡う、めでたい一節

### シオリ

能楽の泣く型

- 1 『黒塚』の最後に能楽師と一緒に謡う附祝言『千秋楽』
- 2 代表の先生による舞台上での杵杵輪を回す所作実演
- 3 前半の老女が悲しさのあまり泣く時の所作“シオリ”
- 4 『黒塚』のあらすじと、みどころ



舞台に出てくる作り物は、黒塚の演出において重要な役割をする大道具です。それは野原の一軒家、老婆の家の中、そして老婆の寝室へと変幻します。実際にあらすじ説明の時に、舞台上に出して、より黒塚への興味を引き立てます。



なぜ、おばあさんが鬼になってしまったのか？  
考えながら舞台を見てみましょう

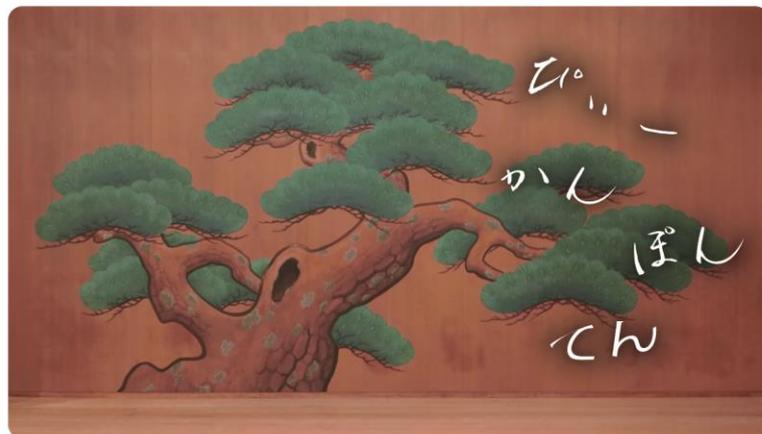


能舞台裏から、囃子方が奏でるお調べが聞こえてきたら、いよいよ能が始まります。

これからご鑑賞いただく『黒塚』には、ワークショップでの体験や、本公演前半の実演・解説のエッセンスが全て集約されています。気持ちをゆったりとさせ、体育館で繰り広げられる能楽の世界をたっぷりとご堪能ください。

### お調べ《おしらべ》

開演直前に囃子方が、それぞれの楽器の調子を確認する短い楽曲



5

## 能『黒塚』

【字幕(現代語訳)付き】



## 黒塚のあらすじ

諸国を行脚する山伏一行、奥州安達原にさしかかった時、日が暮れてしまいます。野に灯る明かり。それを頼りに、一軒のあばら家にたどり着き、一夜の宿を請います。そこに住む老婆、やむなく山伏たちを家に招き入れます。老婆は山伏たちをもてなそうと、身の上を話したり、「糸尽くし」の歌を歌ったりしてみせます。夜はだんだんと更け寒さが増していきます。老婆は「寝屋だけは絶対に見ないように」と言い残し、暖をとる薪を集めに山に出かけて行きます。しかし、お供の能力が好奇心からこっそりと寝屋をのぞいてしまいます。するとそこには、なんと山のように積まれた人の死骸。山伏たちは、ここは鬼の棲み家で、あの老婆は鬼女だと知り、急いで家を逃げ出します。山から戻った老婆、裏切られたことを知り、怒りで本性を現し鬼女となり山伏たちを追います。【ここでシテは老婆(前シテ)から、鬼女(後シテ)となり、装束・能面を変えて登場します】そして鬼女は追いつき、山伏一行に襲い掛かりますが、最後に鬼女は、山伏の懸命な祈りによって倒され、自分の姿に恥じ入りながら悲しく消え去ります。

## スクリーン投影

シーン説明

それまで野原だった風景が  
一瞬にして、おばあさんの  
家の中に変わります。



セリフがないシーンも情景がわかる説明を投影

台詞

ひとり、声をあげて  
泣き明かすのです。



台詞

そうそう…。私が戻るまで  
絶対にこの寝室をのぞい  
ては、いけませんよ。



台詞

心も乱れ、恐ろしい。  
心も乱れ、恐ろしい。  
どにかく逃げて、逃げて、  
速くへ離れよう。



台詞

待て、山伏たち！  
あれほど、隠していた寝室  
を見られてしまった。



台詞

天と地に居場所もなく、身を  
ちぢめ、目もくらみ  
足もとは、ヨロヨロとさまよう。



# 黒塚





ワークショップと本公演の集大成

附祝言「千秋楽」を一緒に謡う



地謡と一緒に能を完成させよう！

地謡方《じうたいかた》

シテ（主人公）の心情を謡うコーラス隊の様な役割を担う。シテ方（能の役割の一つ）が担当する

## 6 アフタートーク

『黒塚』についての出演者からの問いかけと、皆さんからの質問

解説役の能楽師と、さらに主役の老女と鬼女を演じた“おシテ”（主役）が役を終えて、人間にもどって再度舞台上に登場します。



『黒塚』にはその前段になる「黒塚伝説」があります。その伝説をイラストなどを、交えてご紹介します。鑑賞を終えた高揚感に包まれている時に、さらに能の奥深さを、体に吸収します。



?

どうして優しくったお婆さんは、  
鬼になってしまったのかな？

?

能力が勝手に  
部屋を見たから。

裏切られて  
悔しかったから。

山伏達がお婆さんに内緒で、  
帰ったから。

それでは実際に、鬼に聞いてみましょう！



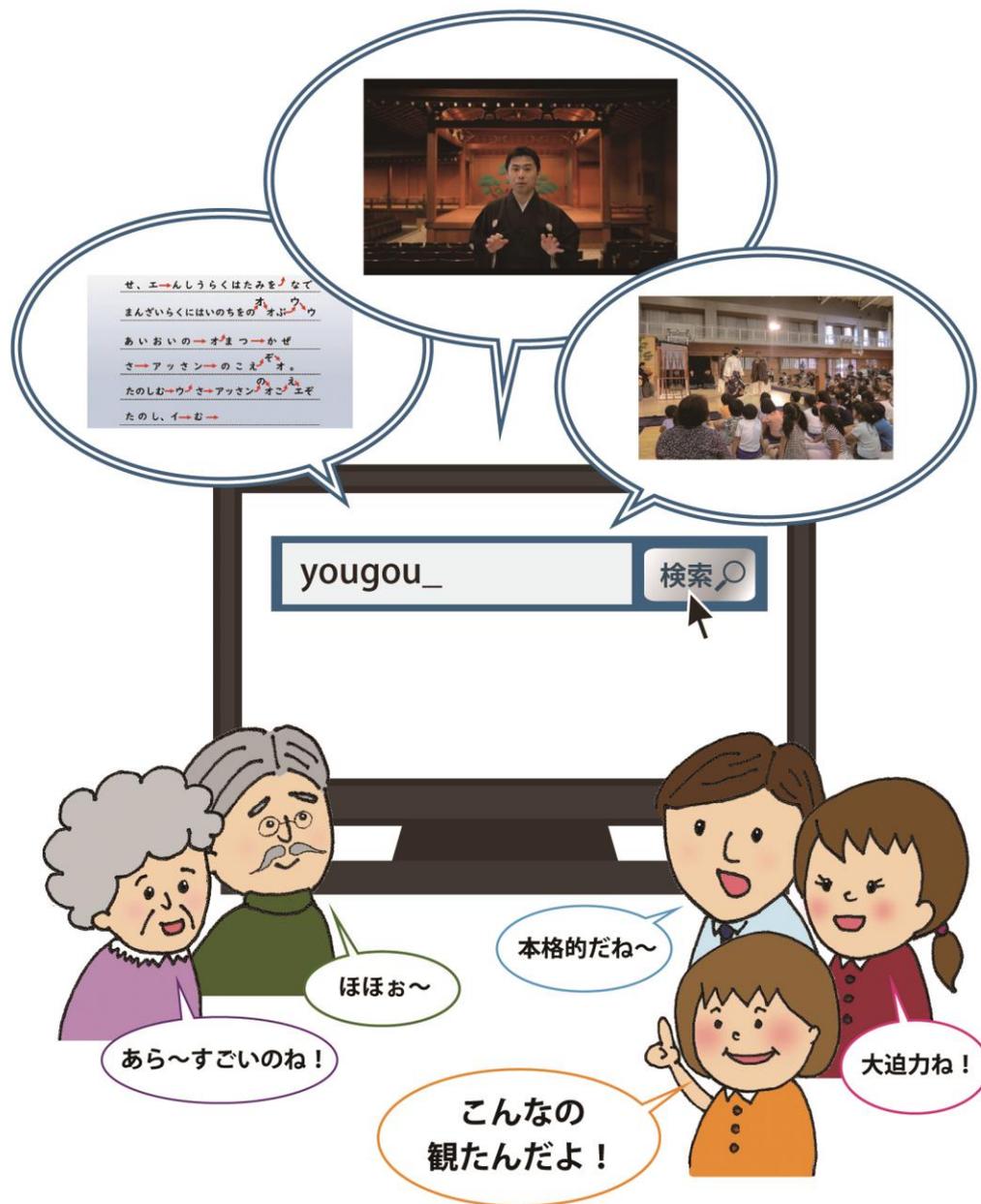
まずは出演者から質問を投げかけます。それに自由に答えてください。  
次に観たままの児童・生徒さんの率直な質問をお受けします。



## 7 公演後 動画を配信 (本事業での内容を集約)

本公演終了で、この事業は終わりません。  
本当の価値は児童・生徒さんが、その体験や鑑賞を友達と、また家族の皆さんと共有してもらうことです。

「能面を顔に当てると見づらいよ」「大きい声で千秋楽を謡ったよ」「迫力があつたよ」という感想をご自宅でも話してもらう事は、もちろんですが、さらに家族みんなで様子を映像で観ることが出来れば、より臨場感を持って子供たちの豊かな発想や感激を知ることができます。



能楽を通して家族の新しいコミュニケーションに役立ててください。



<p>演目選択理由</p>	<p><b>狂言「柿山伏」</b></p> <p>①動物の鳴きまねなどがあり、子どもにも分かりやすいため、上演希望が多い人気曲目。また近年では小学校6年生「国語」の教科書に伝統文化ジャンルの教材として採用されており、教育現場でもなじみがあります。</p> <p>②あえて山伏物の「柿山伏」を公演の最初に上演することにより、能「黒塚」の山伏との対比から、能と狂言の違いを、観て聴いて理解ができます。</p> <p>③狂言の大きな特徴である「名乗り」「道行き」「擬音の発声」が、全て網羅された入門編に最適の演目です。</p> <p>④笑が多い狂言を番組の最初に構成することにより、能楽鑑賞は難しいという先入観を払拭します。</p> <p><b>能「黒塚」</b></p> <p>①“多角的なものの方”を芸術鑑賞で養うために、我々の日常生活の善悪基準とは異なる視点で描かれた演目を採用しました。</p> <p>②学校公演(子供・青少年向け)の能楽公演でよく上演される演目です。</p> <p>③昔話風の展開で、教訓的要素がある物語です。</p> <p>④鬼女と山伏の争いの場面は大変迫力があり、児童・生徒さんの興味を引きます。またその場面でのお囃子は、三鬼女と呼ばれる「道成寺」「葵上」、そして「黒塚」のみでみられる迫力のある特殊なリズムで、より場面を盛り上げます。</p> <p>⑤「黒塚」の鬼は、他の鬼女物にはない、老婆から人食い鬼になってしまった人間の悲哀が込められています。また用いられる大道具(作り物)・小道具(杵杵輪など)も能独特の演出が施されています。</p> <p>⑥コミカルで楽しい役回りとなっている能力(狂言方)が、こっそり寝屋を覗こうとするシーンは、演能の中で笑える部分となっており、見所の一つです。また、本事業公演では通常の演能より派手な演出となっております。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p><b>○ご挨拶</b></p> <p>礼儀を重んじる伝統芸能。全員で正座をしてご挨拶をすることにより、演者と客席に一体感が生まれます。正座をする機会が少ない昨今において、伝統芸能を通して日本人の礼儀の清々しさを感じてもらいます。</p> <p><b>○能の体験</b></p> <p>能の姿勢と運歩を、能楽師と一緒にいきます。簡単そうに見えて意外に難しい能楽の基本中の基本を学びます。また能の泣く所作“シオリ”を稽古し、能『黒塚』で観る主役の悲しい心情を、感じ取ります。</p> <p><b>○狂言の体験</b></p> <p>狂言の特徴はセリフ喜劇です。「このあたりの者でござる」といったセリフ発声や、狂言の“大笑い”をして、狂言の魅力を感じます。</p> <p><b>○能・狂言クイズ</b></p> <p>能楽は、極限まで無駄を省いた芸能です。少ない小道具と所作またセリフで、様々な仕草を表現します。それらを能、狂言それぞれで演じ、何をしているところかクイズを出します。想像力を高める自由回答形式です。クイズで興味を持ってもらいつつ、能楽特有の演出を学ぶコーナーです。</p>

	<p><b>○動画バーチャル能楽堂</b></p> <p>宝生能楽堂を独自撮影・編集した動画を上映します。一般では絶対に見ることができない舞台から見た客席の映像や、出演者が準備をする楽屋風景も収めています。体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気をお楽しみいただきます。由緒ある能楽堂を有する宝生会と、影響舎の企画力が創り出した演出です。</p> <p><b>○能面・装束体験:本物の能面・装束を身に着ける</b></p> <p>普段、プロの能楽師が使用している能面と装束をご用意します。能面は顔に掛けると、その視界の狭さに驚き、装束は重厚感と絢爛豪華な美しさに感激します。実際に児童・生徒さんが自身の体に掛け、羽織ることにより、楽しみながら能楽師の演技の奥深さを垣間見ることが出来ます。</p> <p>※<u>宗家の強い意向、出演者また制作団体の総意により、全員参加を原則としています。</u>また本公演でも能面体験の特設コーナーを設けますので、保護者の方々、近隣の皆様もご参加いただけます。</p> <p><b>○能『黒塚』の最後に附祝言「千秋楽」を全員で語る</b></p> <p>児童・生徒参加が難しい演能ですが、能楽堂でも演じられる一日の公演を平和な気持ちで終える附祝言を、巡回事業の特別プログラムとして構成しました。ワークショップ後には、各校用 CD と児童・生徒さん全員分の教材をお渡しします。</p> <p>ワークショップで、能楽師が普通に行う稽古を体験。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>学内では CD 音源で友達と共有、自宅では動画サイトで家族と共有して学ぶ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>本公演の演能前で最終のおさらい。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>児童・生徒さん全員と、出演者で本公演のフィナーレを飾ります。</p>		
出 演 者	<p>シテ方=[宝生会] 10名(シテ1名・地謡6名・後見2名・働き1名)</p> <p>ワキ方=[未定] 2名(ワキ・ワキツレ)</p> <p>狂言方=[未定] 3名(シテ・アド・アイ)</p> <p>囃子方=[未定] 4名(笛・小鼓・大鼓・太鼓)</p> <p>* 詳細は別紙メンバー表をご参照ください。</p> <p>* 三役(ワキ方・狂言方・囃子方)のメンバーは、宝生会のスケジュール優先で調整するため、週別で変更の可能性有り。</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者: 19名</p> <p>ス タ ッ フ: 7名</p> <p style="text-align: center;">合計: 26名</p> <p>※体育館の構造(2階など)により、上記スタッフが1名増員の可能性が有ります。</p>	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 2t 車 長 6.3m 台 数 1台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	<p>前日仕込み(有・<input type="checkbox"/>無) 会場設営の所要時間(3時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="416 611 1433 768"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 611 544 689">到着</th> <th data-bbox="544 611 794 689">仕込み</th> <th data-bbox="794 611 999 689">本公演</th> <th data-bbox="999 611 1110 689">内休憩</th> <th data-bbox="1110 611 1305 689">撤去</th> <th data-bbox="1305 611 1433 689">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 689 544 768">8時30分頃</td> <td data-bbox="544 689 794 768">9時00分～12時00分</td> <td data-bbox="794 689 999 768">13時30分～15時10分</td> <td data-bbox="999 689 1110 768">10分</td> <td data-bbox="1110 689 1305 768">15時20分～16時50分</td> <td data-bbox="1305 689 1433 768">17時00分頃</td> </tr> </tbody> </table> <p>・本公演開始時間は、早める(13時00分など)ことが可能です。</p> <p>・午前公演をご希望の際は、前日仕込みが必要になります。</p> <p>・体育館フロアの階数や形状により、到着・仕込み時間の繰り上げ、また退出時間の繰り下げが発生する可能性があります。</p> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>						到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時30分頃	9時00分～12時00分	13時30分～15時10分	10分	15時20分～16時50分	17時00分頃
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出													
8時30分頃	9時00分～12時00分	13時30分～15時10分	10分	15時20分～16時50分	17時00分頃													
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	<p>700名まで</p> <p>○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。</p> <p>◎能楽の所作の体験がありますので、客席は椅子を使用しません。</p>																
	本公演	<p>700名まで</p> <p>○体育館の大きさによって、人数増が可能になる可能性がありますので、ご相談ください。</p> <p>◎250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観やすいように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子の使用をお願いします。</p>																

# ワークショッププログラム

～能って?狂言って?～

講師:シテ方(3人)、狂言方(1人)

時間:1時間30分

1. はじめまして能“楽”
2. 【実演】～能って?狂言って?～
3. 【体験】～能楽師になってみよう～
4. 【体験】～能楽しくさクイズ!～
5. 能楽の成り立ち  プロジェクター
6. バーチャル能楽堂体験  オリジナル動画
7. 【体験】能楽体験ひろば
8. 【稽古】能「黒塚」と謡～本公演にむけて～

狂言

両者がお互いの違いを  
実演することで  
目で見えて触れて、違いを実感!

能

## ワークショップのポイント

### とにかく分かりやすく・楽しいプログラム構成

能楽という芸能の魅力を、身近なものとして記憶に残してもらえるよう体験・映像を効果的に構成。

### オリジナル動画で能楽を体感

一般的な紹介映像にはない、オリジナル作成のバーチャル能楽堂体験など、体育館にいながらにして、能楽堂の雰囲気を楽しめる動画を上映。

### 全員で体験

装束を羽織る、能面を掛ける、狂言の大きな笑いを響かせる・・・身に付け、発信して能楽を体感。

# 1 はじめまして能“楽” 知る

## 仕舞《しまい》

面を掛けず、紋付袴のまま舞う能の一部

舞台上手側から能の役者がすうーっと入ってきて美しく舞い謡いはじめた。



## 名乗り《なのり》

登場人物が自身を紹介するセリフ

「げにさまぎまの舞姫の

声も澄むなり任言の 松影も映るなる

青海波とはこれやらん」



能の役者たちは静かに舞台袖へと消えていった…

すると今度は、舞台下手側から狂言の役者が入ってきて大きな声で名乗りはじめた。

「東京に住まい致す狂言方の者でござる。

今日は〇〇へ参ろうと存ずる。まず、そろりそろりと参ろう。

いや、なにかと言ううちに、はや〇〇じゃ」

一体これから、何が始まるんだろう…？

## 道行き《みちゆき》

目的地までの道中を表す動きで、心情や状況の独白をしながら進む型



みなさん、こんにちは！！

びっくりしましたか？



最初に扇を持って厳かに舞を披露したのは“能”、

大きな声で名乗りをしていたのは“狂言”です。

このワークショップは、能楽を構成する二本柱の能・狂言を比較しながら楽しんで頂ける構成となっています。

皆さんにとって初めての体験となる“能楽”という未知の世界へこれからご案内します。

## 2 能って？狂言って？

みる

能楽を構成する能と狂言。両者は長い歴史のなかで、表裏一体となって世界に誇る芸能へと成長しました。喜怒哀楽の表現方法など、その特徴には共通点があり、また似て非なる要素もあり、それが能楽の魅力のひとつです。その違いを分かり易く解説実演します。

### 能



#### ユウケン

歓喜や興奮などの感情を表す型

広げた扇を胸の前で上下させて、歓喜や楽しさを表現する。能の世界では、この表現を“ユウケン”といいます。

### 狂言



大きな声と全身を使って「ハーッハーッハッ」と豪快に表現する。

### 喜び

#### シオリ

能楽の泣く型



手を目にあてるようにして、涙を抑える。これを“シオリ”といいます。

### 悲しみ



所作は能と同じ。それに「エッヘッ、エーン、エーン」と大声で泣く。

#### 能楽コラム

能の“シオリ”で手を目にあてる所作は、本来は着物の袂で涙を拭う様子表現しています。能では着物の袂を実際に持つのではなく、袂がある“前提”で所作をすることで、そぎ落とされた表現となっています。



「地団駄をふむ」という言葉は知っているかな？その動作ととても似ているね。トン、トン、トントン！というリズムに乗っています。

### 怒り



足で地面を強く叩き踏むのは能と同じです。また「腹立ちや、腹立ちや」などのセリフをとまいません。

### 3

## 能楽師になってみよう

体験

お稽古の前にきちんご挨拶



「よろしくお願ひいたします」

能楽には立ち方、歩き方に決まりがあります。それをしっかりと守ることによって、能舞台での美しさが創られます。見ていると簡単そうな基本的な所作カマエとハコビを実際に児童・生徒さんがやってみると窮屈で難しいことを実感できます。

### 一、能楽の基本所作

#### カマエ

背筋を伸ばして、少し腰を落とす！

#### ハコビ

足を地面にすりながら前に進む…

#### カマエ

能楽を演じる基本姿勢



…姿勢を保つのが難しいね！

#### ハコビ

振り足で前に進む能楽の基本運歩



ちょっと能楽師に近づけたかな？

#### シオリ

能楽の泣く型



#### 能

シオリ（泣く）

### 二、しぐさ

#### 狂言

笑う



### 4

## 能楽しぐさクイズ！～何をしている？～

Q：下の二人は、それぞれ何をしているのかな？

#### 能



A：.弓をひいている

#### 狂言



A：.ノコギリをひいている



能・狂言ともに、「ないものがある」と見立てて演じる「想像の舞台芸術」なんだね

## 5 能楽の成り立ち

学ぶ

IIII プロジェクター投影

能・狂言は長い日本の歴史に生まれ、先人達が工夫と努力を重ねて成立した芸能で、今現在でも成長を続けています。そのような能楽の変遷を、平安時代から現代まで、時代をイメージするスライドを上映し、また馴染み深い戦国武将と能楽の深い関りなどをご説明しながら、楽しくご理解いただきます。



私たちが能をよく観ていました！



(奈良時代～) 平安時代

中国から伝わった芸をもとにした  
“猿楽” という名で当時は親しまれていました



室町時代

能楽において重要な人物世阿弥によって、  
現代にも伝わる能楽の礎が築かれました



そして現代へ…

その後、明治・大正・昭和という、  
能楽界だけでなく、日本にとっても激動の  
時代を経て、能楽専門の劇場“能楽堂”が  
造られるまでになりました。

能楽絵巻

江戸時代

この頃になると“式楽”と呼ばれ、将軍などに保護  
されたため、それまでのように庶民は能を観れなくな  
ってしまいました



# 6

## バーチャル能楽堂体験

体験



オリジナル動画

宝生会が所有する宝生能楽堂にて、プロの映像制作会社が撮影・編集した迫力ある動画を上映します。客席から舞台を見た様子から始まり、一般の方が絶対に入ることができない能舞台上からの客席を見た目線、さらには特別な許可を得て、本舞台が上演されているシーンを楽屋、舞台方向から収めています。立体的に能楽堂を体験していただけます。

### お客さんの目線

松の絵が描いてあるけど、何か意味があるのかな？



のうぶたい  
能舞台

制作：(株)影向舎 協力：宝生会 制作：パワーハウス

#### 正面・脇正面・中正面

能楽堂の見所（観客席）位置の名称

#### 鏡板《かがみいた》

本舞台（約5m半四方・正方形の上演場所）の背景の板

#### 横掛かり《はしがかり》

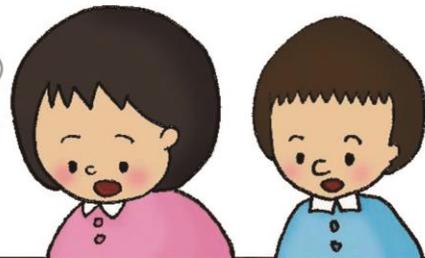
下手（客席から見て左側）から、本舞台まで長く伸びる廊下形状の場所



室内なのに、屋根がついてる！不思議！客席の向きも、なんだか変わってるよ！

裏側はこんな風になっているんだね。鏡の前の人は何をやっているのかな？

なんだか緊張しちゃうね…！



#### 鏡の間《かがみのま》

下手奥で出演者が出番を待機する場所。自分から、別の存在へと変身するための神聖な場所とされる



### 役者の目線



# 7 能楽体験ひろば

体験

装束と能面は、能の必須アイテムです。実際にシテ方宝生流能楽師が使用する装束・能面を、児童・生徒さんに身に付けてもらい、プロと同じ感覚を体験していただきます。

START!

装束

## 装束コーナー

実際に能の装束を着てみよう。その重さや動きにくさが実感できます。昔の人もこんな服装をしていたのかな？



小道具

## 展示コーナー

色とどいのオリジナル

能「黒塚」で実際に使われる小道具をご紹介します！そこにはどのような意味が隠されているのかな？

私はどんな気持ちで、わくかせわを回していたでしょう？  
主人公になった気分回してみてね。



わくかせわ（杵杵輪）  
…いわゆる「糸車」で、本公演で観る能「黒塚」のお婆さんはこれを使って糸をつむぐことを生業としています。

面

## 面コーナー

能には不可欠な面（おもて）。面をかけると、視野が極端に狭くなります。

能楽師はこの面をつけながら、セリフも話しているなんてすごいですね！

面を持つときは、横についている紐で持ってね



GOAL!

能楽師気分は味わえたかな？

## 8 能「黒塚」と謡～本公演にむけて～

本公演で鑑賞する能『黒塚』のあらすじと見どころを、簡単にご紹介します。

むかしむかしの、少し悲しいお話です…



旅の山伏・祐慶一行は、陸奥の安達原までやってきました。あたりが暗くなってきたので、ぼつんと建つあばら家を見つけ、そこに住むお婆さんに一晩泊めてくれるよう頼みます。

しかし、お婆さんは何故かなかなか家に入れてくれません。祐慶達に懇願され、どうにか泊めてくれることになりました。お婆さんは彼らを招き入れ、自分の身の上話をはじめます…。



### 注 目

主役のお婆さんは、前半・後半で恰好やキャラクターが変化します。どのように変化するか、また何故変化するのが注目ポイント！

### 能楽 Quiz

Q. 能「黒塚」に出てくる下の写真の小道具には、それぞれ重要な意味が隠されています。それぞれどのような使い方をされるでしょう？  
また、写真に写っている人は一人のお婆あさんを表していますが…顔が違いますね！  
どうしてでしょう？



A. その答えは…

ぜひ本公演で！

当日、本物のお婆さんに会えるのを楽しみにしてください！



本公演でもやるよ！ 本公演では、この小道具に関するちょっとしたゲームをしながら楽しく能「黒塚」を鑑賞します。覚えていてね！

## 稽古

# ～能の謡をやってみよう！～



ここまでで、能楽の世界が少し分かったかな？

最後に、能楽の欠かせない要素「謡（うたい、いわゆるコーラスのこと）」を、普段能楽師の人がお稽古しているのと同じように皆でやってみましょう。

## 謡と附祝言

能楽の世界では、その日の演能をめでたく舞い納めるために、最後の演目が祝言性の低いものだった場合、最後に附祝言を謡ってその日の演能をまとめることがあります。

本公演で観る能「黒塚」のお婆さんは、実は人々を喰らう鬼女であることが分かり、その壮絶な背景と共に鬼女となったお婆さんを、山伏祐慶達は祈り伏せて鎮めます。その幕切れは観る者に様々な感情を呼び起こすことでしょう。

そのため、本プログラムの公演でも、少しでも能「黒塚」のお婆さんの気持ちに、また能楽の奥深い世界を体感していただくために、本公演のフィナーレを出演者と児童・生徒さん全員の謡で飾ります。

### 附祝言《つけしゅうげん》

一日の能の最後に地謡方が謡う、めでたい一節

### 地謡方《じうたいかた》

シテ（主人公）の心情を謡うコーラス隊の様な役割を担う。シテ方（能の役割の一つ）を担当する

能楽師のお稽古の様子



千秋楽は民を撫で  
萬歳楽には命を延ぶ  
相生の松風  
颯々の声ぞ楽しむ  
颯々の声ぞ楽しむ  
颯々の声ぞ楽しむ

せ、エーんしうらくはたみをなで  
まんざいらくにはいのちをのぶ  
あいおいのオまつかぜ  
さアッセンのこえオ。  
たのしむウきアッセンオこエぞ  
たのし、イむ

体育館がお稽古場に！



千秋楽は民を撫で。万歳楽には命を延ぶ。

相生の松風。颯々の声ぞ楽しむ。颯々の声ぞ楽しむ。

～能『高砂』の終曲部分より～



本公演でもやるよ！  
覚えていてね！

ワークショップ終了後に、謡を収録した CD を  
お渡しします。

### ●プラスの記憶を残す

ワークショップでは、能はしっかりと鑑賞するもの！ではなくて、体験や目の前の実演を通して“思ったよりも楽しいな”という印象を持ってもらう宣伝効果が重要です。それにより児童・生徒さん達が、本公演に対して“早く観たいな”という期待に、必ずつながります。

### ●体験と同じく体感

能の基本姿勢や狂言の発声の体験だけでなく、能装束を羽織ってそのズシッとした重量と厚みを感じ、能面を掛けて、極端に見えづらくなる視界を感じてもらいます。“能楽師の人達は、こんな重い衣装と見づらい能面を付けて演技をするんだ”とか“昔の貴族はこんな豪華な衣装を好んで着ていたんだ”とか、自由な感想が生まれます。

### ●能楽は伝統芸能。だけど今に生きている

能楽は、日本の長い歴史の中で上流階級・武士・庶民など様々な人間が、日々繰り広げた喜怒哀楽を結晶にした壮大な舞台劇です。それは決して博物館のショーケースに展示されるものでなく、今でも各地で上演され、新しい感動を創り続けています。とかく難しいと敬遠されがちな伝統芸能ですが、観る切り口を変えることによって、楽しみ方が大きく変わります。ワークショップでは、体験・動画・体感を効果的に配して、能楽の魅力への大きな一歩を、踏み出すきっかけをご提供します。

### ●ワークショップから本公演に向けて

ワークショップはワークショップのみで終了ではありません。後日の本公演をより楽しく鑑賞するための重要な入口であり、キッカケづくりです。ワークショップで体験したこと、観たことを繋げるべく、本公演までの日数を効果的に復習できる要素を企画しました。

#### 本公演の演能「黒塚」で使用される小道具をクイズで紹介

「黒塚」では、重要な演出効果として下記の小道具が使用されます。ワークショップ時に実物を展示して、演能ではどのように使われるかをクイズとして投げかけ（能楽師が実際に小道具を使った所作を実演）、本公演への期待を高めます。

①負柴【おいしば】 後場（演能の後半）、主役の鬼女が登場時に背負っている。老婆は山伏達に裏切られて鬼と化しているが、山伏たちに寒い思いをさせまいと、柴を集めてきたんだらうか……。

②打杖【うちづえ】 後場のクライマックス。山伏と鬼女の対決シーン。鬼女が手にして山伏に打ち掛かる。

負柴



打杖



## 「黒塚」を楽しむために鍵となる小道具『杵杵輪』を、皆で回す。

「黒塚」の前場(前半)では、お婆さんが『杵杵輪』という糸車を巻きながら、哀しげに謡います。この杵杵輪は、能の現行約200曲において「黒塚」だけでしか使われない小道具です。お婆さんの心情を想像しながら、全員で杵杵輪を回して、本公演演能への理解を深めます。

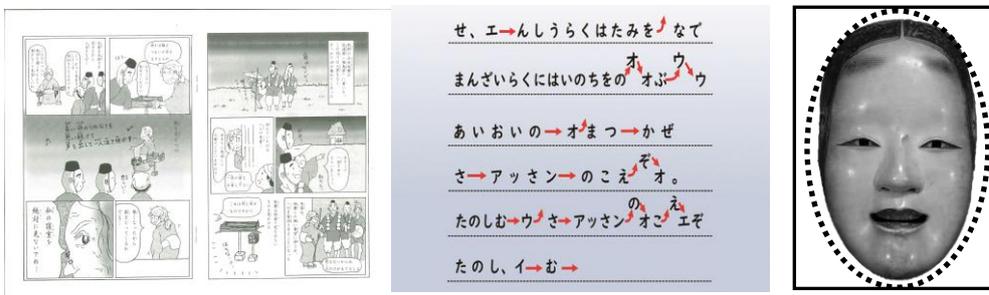


影向舎オリジナル作成の「杵杵輪」です。色とりどりで興味を引きます。左利き用もご用意します。

## ワークショップ終了後に、児童・生徒さん全員分の教材をお渡しします。

### 掲載内容と目的

- ①「黒塚」のあらすじを漫画化。本公演実施までに日数が空いても、分かり易く演能「黒塚」をおさらいできます。
- ②謡「千秋楽」の節付ひらがな詞章と能楽師の音声を動画サイトにアップします。そのQRコードやURLなどを掲載。児童・生徒さんが学校で謡った千秋楽を、自宅でおさらいもでき、また家族で話題にもなります。
- ③付録的に能面ページを掲載。切り取り線に合わせてハサミを入れると、紙製の能面が完成します。それを顔に当てると、ワークショップで体験した能面の視野の狭さを、再度体験できます。また学校でのワークショップで完結せず、その体験や興奮を家族で共有をして、能楽の楽しさを広げてもらいます。



せ、エ→んしうらくはたみを<sup>う</sup>なて  
まんざいらくにはいのちをの<sup>お</sup>ぶ<sup>う</sup>う  
あいおいの→<sup>お</sup>まつ→<sup>か</sup>ぜ  
さ→アッ<sup>そ</sup>ッ<sup>そ</sup>のこえ<sup>お</sup>。  
たのしむ→<sup>う</sup>さ→アッ<sup>の</sup>ッ<sup>お</sup>ッ<sup>え</sup>のこ<sup>え</sup>エぞ  
たのし、イ→む→

ワークショップ終了後に、謡「千秋楽」の音声を収録した CD をお渡しします。

ワークショップでのお稽古だけでは、謡の節を習得するのは困難です。実際に能楽師が謡った音源を収録した CD を各校にお渡ししますので、給食中、昼休みなどのなるべく多くの機会に校内放送で流してください。若い人は、文字で覚えるよりも、耳で聴き口に出すのが大人より長けています。是非皆さんで本公演「黒塚」のクライマックスを飾りましょう。



特別支援学校での実施における工夫点

**平成30年度文化芸術による子供の育成事業 愛知県立岡崎盲学校さんにて**

ワークショップ: 9月13日(木)

能面の表側を触ることは本来完全不可ですが、宝生会の協力により、彩色前の能面を多くご用意し、能面を掛けるだけでなく、実際に手で触れて、“ここが口、これが鼻”と体感してもらいました。



本公演: 10月5日(金)

通常演出のスクリーン投影を少なくし、能楽師のMCによる解説、囃子方の演奏などを中心に番組を構成しました。また休憩中は、先生方のご誘導により、皆さんに弊社設営の能楽堂に上がってもらい、距離感や舞台道具の材質を感じてもらいました。



実施可能時期

実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

シテ方は下記より10名

宝生和英

辰巳満次郎

山内崇生

野月聡

大友順

小倉健太郎

水上優

小倉伸二郎

小林晋也

和久荘太郎

高橋憲正

澤田宏司

亀井雄二

東川尚史

佐野玄宜

藪克徳

内藤飛能

當山淳司

佐野弘宜

辰巳大二郎

金森良充

金森隆晋

金野泰大

川瀬隆士

田崎甫

今井基

辰巳和磨

金井賢郎

朝倉大輔

藤井秋雅

木谷哲也

上野能寛

柏山聡子

土屋周子

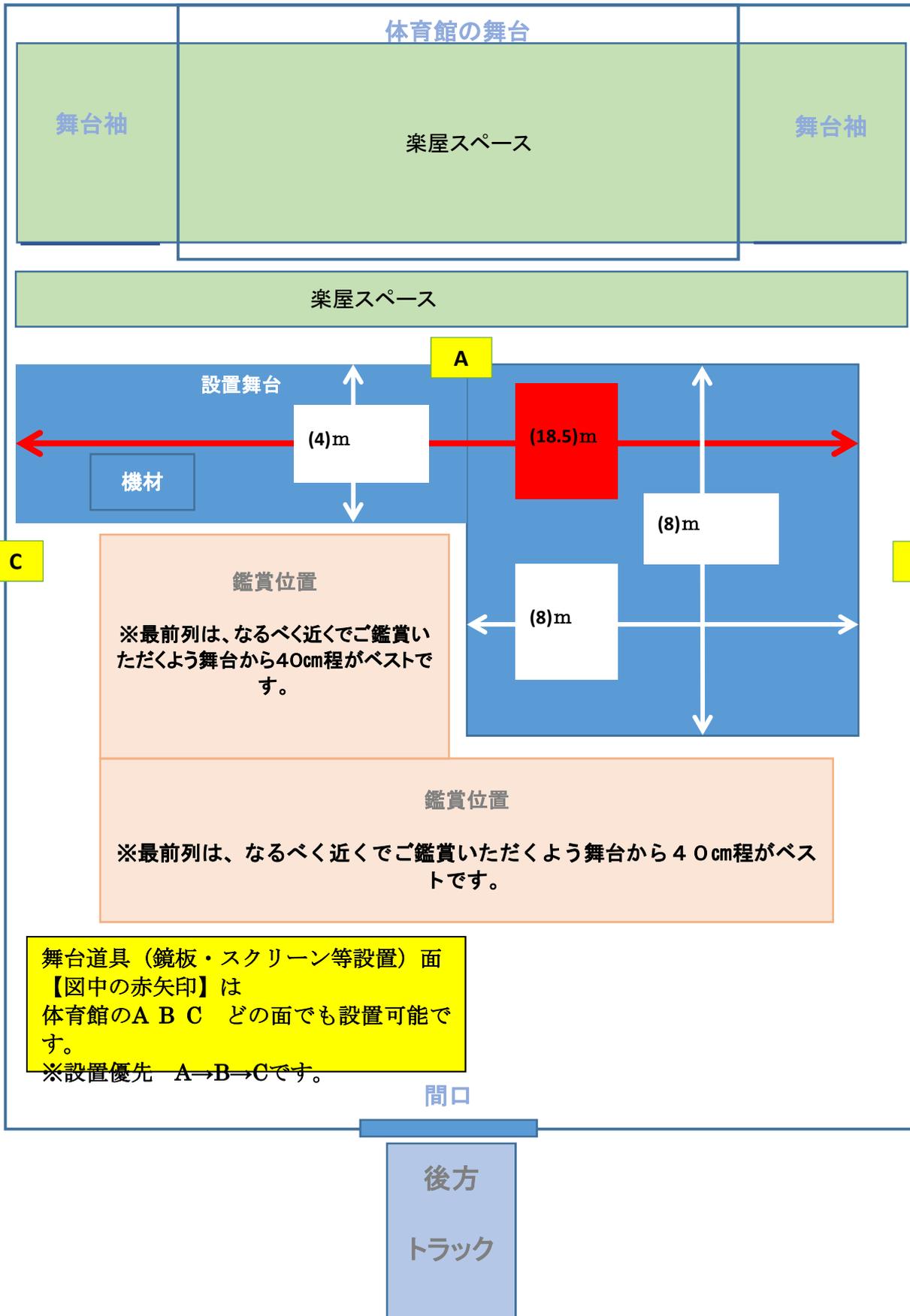
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	939	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 宝生会				制作団体名	株式会社 影向舎			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *		条件	ステージを楽屋として使用しますので、原則別室は不要です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	バン	1台	
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			可能な限り。横付けを希望します。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			特段無。				
		理由							
	可	設置階の制限 *			2階まで可能。				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2	高さ	2		
WSについて	可	参加可能人数			700				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18.5	奥行	8	高さ	4
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *				
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *		バトン *		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			40A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否	可能な限り			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

### 舞台設営例 A面【縦】



250名以上のご参加の場合は、後ろの席からも観えるように、おおよそ250名までは舞台近くで直座り、それ以上は椅子

### 舞台設営例 B面【横】



### 楽屋スペース



## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, ○邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

○あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 ○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ あーと・めーでいあ・おふいす		
制作団体名	株式会社アート・メディア・オフィス		
代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 6-4-13-201 (小田急線成城学園前駅下車バス3分東京都市大付属小学校前より徒歩5分)		
電話番号	03-6411-8113	FAX番号	045-461-9485
ふりがな	ほうかくぐるーぷ たまたまばこ		
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」		
代表者職・氏名	代表 清野さおり		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒266-0034 千葉県千葉市緑区おゆみ野有吉 6-11 (京成線学園前駅徒歩10分)		
制作団体 設立年月	平成元年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役下田文之 取締役下田麻琴 取締役下田文子 監査役下田悦夫	オペラ歌手約30名楽器奏者約20名スタッフ約10名マネジメント 演奏団体11団体。邦楽グループ「玉手箱」は、国際的な活躍で知られた現代邦楽奏者の故高田和子氏が東京芸術大学出身の若手を 集め平成14年より当社にて学校公演を実施。	
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	長嶺尋深

制作団体沿革	<p>平成元年株式会社設立。同時に劇団ミュージカルプラザ設立。  平成4年コンサート部門として東京こども音楽館設立。  年間約100～130校の学校芸術鑑賞会を実施。  特色としては、専門的教育機関を修了した演奏者をキャスティングし、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い、児童・青少年向けのオペラ・ミュージカル・コンサートを制作し、各ジャンルの演奏団体の子ども向けコンサートのマネージメントも多数手がけている。</p>		
学校等における公演実績	<p>全国の小・中学校・高校の芸術鑑賞教室、教育委員会・会館ホールの自主事業など多数。  米沢市教育委員会、高山市教育委員会、富山県新湊市文化振興財団、福井県文化振興財団などの主催で、小中学生を対象に実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>文化庁巡回事業において、各地の特別支援学校にて公演実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

## 【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	○小学生(○低学年・○中学年・○高学年)・○中学生		
企画名	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」		
本公演演目	「日本の音をもとめて」～古典から現代への伝統		
原作/作曲	1.六段調		
脚本	2.鹿の遠音		
演出/振付	3.琵琶		
	4.春の海		
	5.雪ものがたり～朗読入り～ ※または「海鳴り」		
	6.バロック風「日本の四季より」※または「ワールド・トリップ！」		
	7.合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう		
	公演時間(90分)		
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	<p>1.「六段調」は江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。箏・三味線・尺八の合奏で三曲合奏と呼ばれています。</p> <p>2.「鹿の遠音」は古くから伝わる尺八本曲の名曲です。秋の山に鳴き交わす、二頭の鹿の様子を描写したものです。</p> <p>3.琵琶の独奏は「平家物語」で有名な祇園精舎の弾き語りです。</p> <p>4.「春の海」は近代箏曲家で十七絃考案者の宮城道雄の作曲です。お正月に必ず流れてくる曲です。</p> <p>5.「雪ものがたり」は現代作曲家の沢井忠夫の曲で、女優岸田今日子が脚色した朗読が入る音楽物語です。 ※または「海鳴り」は石井由希子作曲で、三絃と十七絃の二重奏です。</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」～早川正昭作曲 季節の曲を選択して演奏します。 ※または「ワールド・トリップ！」は世界各地の有名な民謡等を演奏します。</p>		
演目選択理由	<p>1.「六段調」2.「鹿の遠音」3.「琵琶」4.「春の海」は音楽の教科書にも載っている大変有名な曲です。実際に生演奏で聞くことにより、和楽器を身近なものとして感じて頂きます。5.「雪ものがたり」は、和楽器の合奏の響きと、美しい日本語との調和を楽しんで頂きたいと思います。または「海鳴り」は、穏やかな海・荒々しい海、始終変化する海鳴りを高音の三絃と低音の十七絃で表現しています</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」は子供が知っている日本の歌をヒントに、ヴィヴァルディ・バッハなどの大作曲家の作品をパロディにした部分もあり、楽しく作曲されていて、バロック音楽を聞いたことがない人でも、親しみやすいメロディで自然に楽しめる、流動感ある曲です。または「ワールド・トリップ！」はどこかで聞いた事のある有名な曲で世界各地を巡ります。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>児童・生徒演奏体験用の楽器を当方で持ち込みます。ワークショップ時に欠席等で参加できなかった児童生徒さんにも、可能な限り楽器体験の時間を設けます。体育館ステージまたはフロアに舞台と客席という空間を創り鑑賞して頂きます。一曲ごとに解説やお話しを入れることで、曲にも親しみやすく演奏者を身近に感じて頂けると思います。公演前には、事前に決定した代表児童生徒さんのステージ練習を行います。本番で出演者と一緒に演奏するための流れ等を確認します。</p>		
出演者	<p>清野さおり(箏・三絃・十七絃) 清野 樹盟(尺八) 田中奈央一(箏・三絃・十七絃) 長須与佳(琵琶・尺八) 小間夕起子(箏・三絃・十七絃) 山本啓代(箏・三絃・十七絃) 馬場千年(箏) 清野香菜子(箏) ※東京芸術大学音楽学部邦楽科卒中心のメンバー</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 5名 スタッフ: 4名 合計: 9名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2t 車長 6m 台数 2台</p>

## 【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。						
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・○無) 会場設営の所要時間(2時間程度)						
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午前希望の場合)	内休憩	撤去	退出
	8時	8時~10時	10時~10時20分	10時40分~12時10分	10分	1時20分頃迄	1時30分
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午後希望の場合)	内休憩	撤去	退出
	11時	11時~1時	1時~1時20分	1時40分~3時10分	10分	4時10分頃迄	4時30分
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1学年程度(小規模校の場合は全校生の対応可能)					
	本公演	全校生(1000人規模まで対応可能)					
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>① ワークショップでは、箏20面・三絃10丁・尺八20管・その他備品(琴爪・三絃用バチ・譜面台など)を持ち込みます。参加児童生徒さん全員が3種類の楽器全て体験することができます。</p> <p>② ワークショップ用の教材資料・楽譜・準備物が記載された資料を、実施1カ月前程度に学校に送付致します。当日、参加児童生徒さんに配布をお願い致します。(事前指導は必要ありません)</p> <p>③ 児童生徒さんの箏爪のサイズ合わせ時や移動時には、スムーズに指導ができるよう先生方にもお手伝いをお願い致します。</p> <p>④ ワークショップ後に、本公演での「さくら演奏」の参加希望者を10人決定します。(児童数の多い学校で、希望の多い場合は「さくら演奏」2回実施可)</p> <p>⑤ ワークショップ参加希望の人数が多数の場合は、可能な限り対応できるように指導者を増員して実施致します。</p>						
ワークショップ 実施形態の意図	<p>児童生徒さん体験用の楽器(箏・三絃・尺八)を持ち込みます。</p> <p>初めて和楽器に触れ、楽譜を見る児童生徒さんが多いと思います。</p> <p>ワークショップで学習することにより、気持ちを合わせることの大切さや合奏することの喜び、そして日本の楽器の音色や奥深さを感じて頂きたいと思います。</p>						
特別支援学校で の実施における 工夫点	内容的には、ほぼ変更なく予定しておりますが、児童・生徒さん一人一人に合わせ、体験出来る方法を変えて実施しています。正座・椅子・車椅子・マットの上(寝たまま)等、学校からのご要望がありましたら、一緒に歌えるような馴染みのある曲目等も取り入れ公演時間の調整などにも応じます。						
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。						

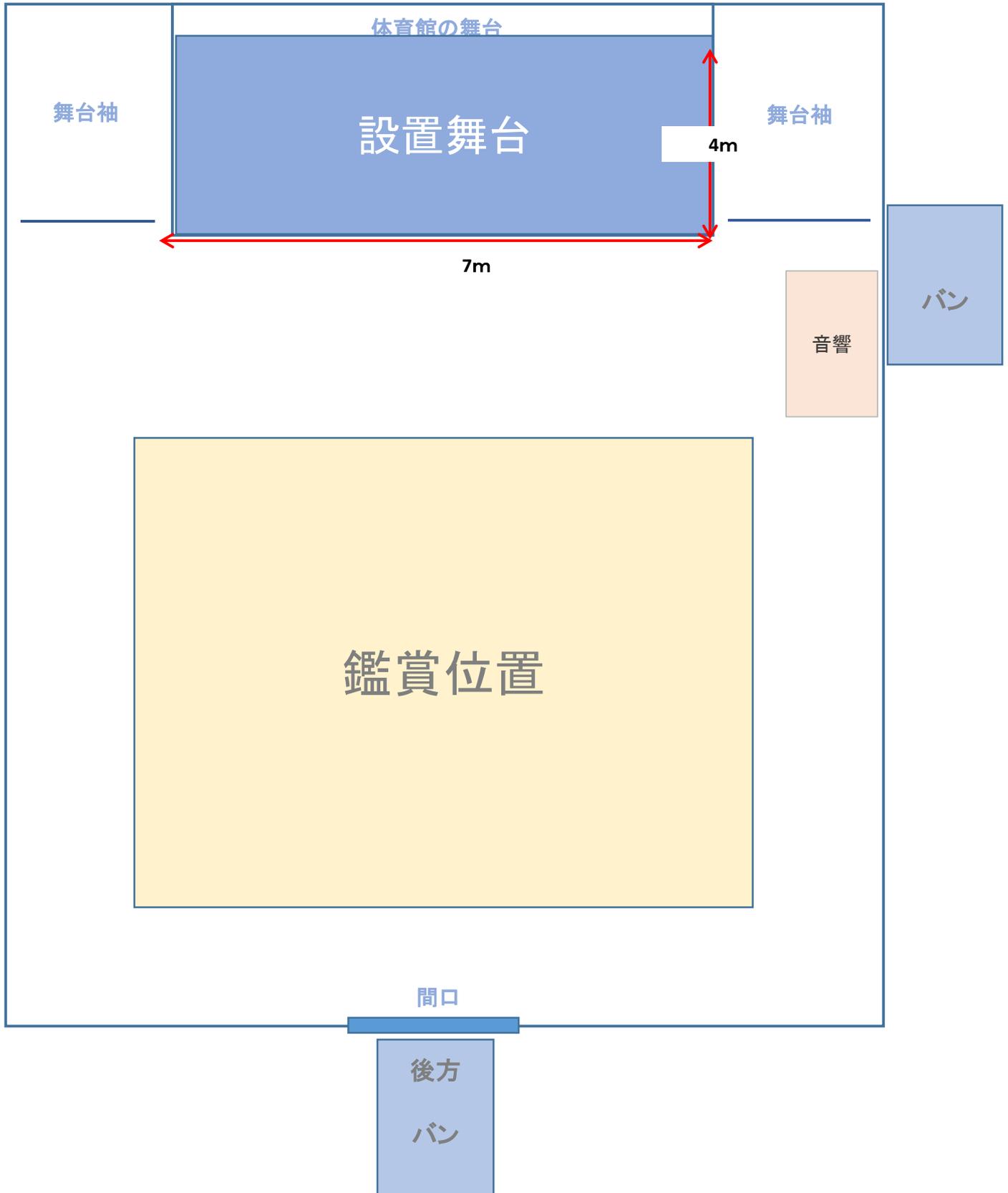
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1119	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」			制作団体名	株式会社 アート・メディア・オフィス				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男女別の着替え用です				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台	乗用車	1台	
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースワゴン車				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			雨天の場合もあり得るためできる限り屋根のある経路が望ましい				
		理由							
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	おおよそ2m	高さ	おおよそ2m			
WSについて	—	参加可能人数			1学年程度				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	—	所要時間の目安 単位:分			問わない				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	—	鑑賞可能人数			1000人程度まで				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	4m	高さ	問わない	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要	
	不可				舞台袖スペースの条件 *			清掃をお願いいたします	
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量				
その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	おおよそ2m	高さ	おおよそ2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

■団体紹介■だんたいしょうかい■

演奏団体 邦楽グループ「玉手箱」

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸術大学出身者の優秀な若手演奏家を集めて従来の邦楽界の枠を超えて、新しい日本の邦楽を世界に、そして日本の若い人たちに広めようと結成されました。かたくるしいイメージのある邦楽に、もっと気軽に親しんでもらいたいと、学校でのワークショップや音楽鑑賞会にも取り組んできました。

●演奏者紹介●えんそうしやしょうかい●

清野 さおり (三味線、箏)

東京芸術大学卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。文化庁新進芸術家国内研修員。北海道三曲コンクール児童の部第一位。同コンクール新曲の部第一位。NHKオーディション合格。第4回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞。NHK-Eテレ「古典芸能鑑賞会」FM「邦楽のひととき」多数出演。第25回若い芽のαコンサート、ソリストとして千葉フィルハーモニーと共演。千葉県芸術家「アーティストソムリエ」に選出。邦楽グループ「玉手箱」代表。平成14年より全国の小中学校、特別支援学校でワークショップと巡回公演実施。

ながす とまか び わ 長須 与佳 (琵琶)

琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に、薩摩琵琶を坂田美子師に師事。NHK邦楽技能者育成会修了。東京芸術大学卒業。第9回長谷校校記念全国邦楽コンクール最優秀賞、文部科学大臣賞受賞。小椋佳、石川さゆり公演に琵琶師として出演。2004年コロンビアよりCDデビュー。

清野 樹盟 (尺八)

1987年北海道三曲コンクール尺八の部第一位。96年東京芸術大学邦楽科卒業。在学中、琴古流尺八を人間国宝山口五郎師に師事。2002年カナダ、アメリカ、スペインにて演奏。2004年尺八独演会開催。現在、NHK文化センター尺八講師。吉幾三、香西かおり公演に尺八奏者として出演。国立劇場「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」に出演。

小間 夕起子 (十七弦、箏)

東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業 (専攻山田流箏曲)。NHK邦楽技能者育成会第42期修了。河東節三味線を故山彦さわ子師に師事、「山彦夕起」の名を許される。第10回長谷校校記念全国邦楽コンクール優秀賞受賞。2003～2016年、朝日カルチャーセンター東京校 山田流箏曲講師。2010年より「小間夕起子 山田流箏曲コンサートシリーズ」を開始、現在までに6回のコンサートを行う。NHK-FM放送・スカパーなどに出演。演奏会や舞台音楽制作、レセプション等で演奏活動を行う。

山本 啓代 (三味線、箏)

山本邦山(尺八・人間国宝)二代山本雅楽邦(箏曲)の長女として生まれ、幼少より母に箏曲を師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。NHK邦楽技能者育成会修了。箏曲家沢井忠夫氏に師事。韓国ソウル国音院アジアミュージック祭、日本ウクライナ芸術文化祭、アメリカ(カーネギーホール)日本の祭典などに出演。FM東京、NHK「いろはに邦楽」、京都南座の市川猿之助公演「黒塚」に出演。CD「山本邦山尺八の魅力」録音。平和堂財団奨励賞受賞。正派邦楽会大師範(雅号・雅萃)。

制作団体 ■株式会社アート・メディア・オフィス

知ってますか? ~ 10月1日は「国際音楽の日」です。~ 1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-

邦楽公演 邦楽グループ「玉手箱」

魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

「日本の音を求めて」~古典から現代への伝統~



「文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



# 魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」

## プログラム

### 1. 六段調 (ろくだんのしらべ) 合奏●箏 三味線 尺八 (三曲合奏)

江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。  
箏と三味線と尺八の合奏で三曲合奏曲と呼ばれています。

### 2. 鹿の遠音 (しかのとおね) 独奏●尺八

ふるくから伝わる尺八本曲の名曲です。  
秋の山に鳴き交わす二頭の鹿の様子を描写したものとされています。

### 3. 祇園精舎 (ぎおんしょうじゃ) 独奏●琵琶

「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり」の琵琶の弾き語りで有名な「平家物語」の始まりの部分です。盲目の琵琶法師によって語りつがれてきました。

### 4. 春の海 (はるのうみ) 二重奏●箏 尺八

十七弦の考案者、宮城道雄の作曲です。お正月には必ず流れて来る曲です。

### 5. 雪ものがたり 合奏●箏 十七弦 尺八 朗読

現代作曲家沢井忠夫の邦楽の新しい曲です。岸田今日子の脚色で朗読がついています。うつくしい日本語と和楽器の響きが調和している音楽物語です。

### 6. さくら 児童生徒参加合奏●箏 十七弦 尺八 琵琶

日本古謡。江戸時代から伝わる曲に明治時代に歌詞が付けられました。  
今もさまざまな音楽に取り入れられて、世界的に知られるようになりました。

### 7. ワールド・トリップ! 合奏●箏 三味線 十七弦 尺八 琵琶

「森へ行きましょう」「フニクリ・フニクラ」など、和楽器で世界の民謡を演奏します。

演奏のあいだに、楽器のいかせつ、体験コーナーがあります。

## ●和楽器のおはなし●

奈良時代のころ中国から伝わって、その後日本で独自に発達した古くから伝わる楽器を和楽器といいます。私たちは、普段は西洋音楽になれ親しんでいます、日本の伝統的な行事、お正月、お祭り、結婚式などでは、必ず和楽器の音楽を聴くことができます。日本の自然と人々の生活から生まれた日本の楽器がどんな音をだすのか、どんな音楽を届けてくれるのか、見て、聴いて、触って、楽しみましょう。きっと、古いものから新しい発見があるでしょう。

## ●楽器いかせつ●



●箏● (こと、または、そう)  
箏は、弦をはじいてならず弦楽器です。弦は13本で、それぞれに「柱(じ)」を立てて指にはめた「爪(つめ)」で弾きます。現代の合奏では、17本の弦のやや大きめで低音が出る「十七弦」も演奏されます。琴(きん、こと)は、箏とは違い、七本の弦で「柱」もありません。



●三味線● (しゃみせん)  
三味線は、バチで3本の弦をはじいて弾く弦楽器です。胴体には猫や犬の皮がはってあり、音がよくひびくように作られています。やはり中国から沖縄をへて、織田信長のころに日本に伝わりました。持ち運びに便利なので、江戸時代には、たくさんの方が演奏して楽しみました。



●琵琶● (びわ)  
楕円形の胴体に上の方が曲がった棹がつき、4本の弦をバチで弾く弦楽器です。ペルシャ(今のイラン)で生まれ、奈良時代に日本に伝わりました。奈良の正倉院には、インドの琵琶が保存されています。日本では「平家物語」を琵琶の伴奏で語る(うたう)「平曲」が有名です。



●尺八● (しゃくはち)  
表に4つ、裏に1つの穴がある竹でできた管楽器です。昔の長さの単位で、竹の長さが1尺八寸(約55センチ)のところから「尺八」と名づけられました。リコーダーのように簡単に吹いて音をだすことはできません。正しい指導でコツをつかめば、和楽器の魅力に触れることができます。

## VI 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, <input checked="" type="checkbox"/> 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ A区分とB区分の両方  C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり  なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

 (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしゃ ぼっくすよろづや		
制作団体名	株式会社 BOX4628		
代表者職・氏名	代表取締役 滝沢直也		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-1-12-702 (最寄り駅、東京メトロ有楽町線・副都心線「要町駅」)		
電話番号	03-6907-0569	F A X 番号	03-6734-0567
ふりがな	おきなわでんとうくみおどり しーのかい		
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」		
代表者職・氏名	子の会代表 喜納吏一		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒901-2226 沖縄県宜野湾市嘉数 2-11-11-202 (最寄りバス停: 嘉数)		
制作団体 設立年月	2015年	4月	

制作団体	役員	団体構成員及び加入条件等	
組織	代表取締役:滝沢 直也 取締役:榎本 かおり 取締役:岡本 雅人 役員:眞貝 祐子 役員:青梅 伸之介 社員:佐藤 麗奈 相談役:織田 紘二 (公益社団法人 日本演劇協会 専務理事)  社会保険労務士:岡安 邦彦 行政書士:廣木 雅之 税理士:大塚 康正  ※加入条件:団体規程	●沖縄伝統組踊「子の会」 会長:喜納利一 副会長:大城貴幸、上原崇弘 事務局長:玉城匠 会計:仲尾勝成 監査:宮里和希、佐喜眞一輝 運営委員:仲嶺良盛、山城峻称 賛助会員:佐辺良和、川満香多、金城真次(立方) 新垣俊道、仲村逸夫、玉城和樹、入嵩西論(地謡) ほか ●琉球舞踊「重踊流」 初代宗家:志田房子 (国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者 総合認定) 二世宗家:志田真木 (琉球舞踊保存会伝承者) 教師:井口三恵子、素鍋美智子 師範:波照間永子、姫野多美、前田恵 ほか 加入条件:団体規程	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	取締役 榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	税理士 大塚康正 大塚税理士事務所
制作団体沿革	2006年より任意団体として長唄、日本舞踊(花柳流)、琉球舞踊(重踊流)、人形浄瑠璃(八王子車人形)、狂言、落語、和楽器など伝統芸能を中心に企画公演、学校公演、イベント、実演家のリサイタルの舞台制作業務に携わる。 2009年「琉球舞踊 安富祖流地謡 西江喜春・玉城正治二人会」舞台監督を務める 2012年東京発伝統は感動実行委員会主催「三弦 海を越えて」舞台監督を務める 2013年アーツカウンシル東京主催「神楽坂まち舞台」の運営管理を担当 2014年東アジア文化都市横浜オープニング式典&イベントに邦楽器グループを派遣 2014年東アジア文化都市横浜共催事業「新七夕伝説、星ノ舟」の制作を担当 2014年日本財団主催による「にっぽん文楽」のアシスタントプロデューサーを務める 2014年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「滝夜叉姫」の狂言方、付け打を務める。 2014年琉球舞踊、重踊流「志田房子・真木 二人会」舞台監督を務める 2015年4月より株式会社 BOX4628として法人設立 2015年「第6回 祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2015年 DANCE DANCE DANCE at YOKOHAMA 共済プログラム 日本舞踊スペシャル公演「2015 横浜 J-dance ～未来へつなぐ日本のをどり～」の制作を担当 2015年琉球舞踊、重踊流「真木の会」舞台監督を務める 2015年日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める。 2016年「第7回 祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる 2016年日本財団主催による「にっぽん文楽」浅草公演にてアシスタントプロデューサーを務める。 2016年「YOKOHAMA OTOMATSURI」共催プログラム 「は・や・と スパニッシュコンサート」制作を担当 2016年「現代泥棒事情」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる		

	<p>2017 年日本財団主催による「にっぽん文楽」伊勢公演にてアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2017 年スーパーパントマイムシアターSOUKI 主催「三国妖狐譚」の狂言方、付け打を務める。</p> <p>2017 年「平成 29 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 C ブロック公演実施</p> <p>2017 年銀座花鏡主催、開幕公演「夏のにぎわい」特別公演「にっぽんの舞踊」制作を担当、観世能楽堂にて記念公演「志の輔らくご」を主催</p> <p>2017 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる。</p> <p>2018 年日本財団主催による「にっぽん文楽」熊本公演にてアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2018 年「平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 A ブロック公演実施</p> <p>2018 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催</p> <p>2018 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる</p> <p>2019 年「第 8 回 祈りは届く」劇団 First Line 舞台監督・公演制作に関わる</p> <p>2019 年日本財団主催による「にっぽん文楽」明治神宮公演にてアシスタントプロデューサーを務める。</p> <p>2019 年「こだまーれ飛騨高山芸術祭オープニング公演」舞台制作に関わる</p> <p>2019 年「北区・地域きずなプロジェクト」舞台制作に関わる</p> <p>2019 年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 F ブロック公演実施</p> <p>2019 年「歌舞伎化粧ワークショップ」を開催</p> <p>2019 年琉球舞踊 重踊流 「志田房子・真木の会」 上皇上皇后両陛下御臨席 舞台監督・舞台美術・制作業務を務める</p> <p>2019 年横浜市主催 「ナイトシンク横浜」制作業務に関わる</p> <p>2019 年町田市文化協会 市民文化祭 制作業務に関わる</p> <p>2019 年日本太鼓財団主催、「浅草太鼓祭」運営、制作にかかわる</p> <p>2019 年琉球舞踊「仲程めぐみ 独演会」舞台監督・舞台美術・制作業務を務める</p> <p>2020 年「令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 沖縄伝統組踊「子の会」 C ブロック公演実施</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2009 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校</p> <p>2010 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校</p> <p>2011 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」6 校、「パーフェクトパントマイム」1 校</p> <p>2012 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」5 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」4 校、「落語教室」5 校</p> <p>2013 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」6 校、「落語教室」6 校</p> <p>2014 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」4 校 「落語教室」10 校</p> <p>2015 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」5 校 「落語教室」10 校</p> <p>2016 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」3 校</p> <p>2017 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10 校、「パーフェクトパントマイム」1 校 「狂言教室」2 校</p> <p>2018 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」 15 校</p> <p>2019 年 組踊鑑賞会「執心鐘入」 10 校</p>

特別支援学校における公演実績	2016年「組踊鑑賞会」1校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	第1部 <a href="https://youtu.be/4sLeRvE8kVk">https://youtu.be/4sLeRvE8kVk</a>  第2部 <a href="https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY">https://youtu.be/7ny1Yt3NQYY</a>
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』			
本公演演目 プログラム 【第一部】 ① 琉球舞踊 上演作品『四つ竹』(舞踊の種類:女踊り) ・振付・監修:志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定) ② 琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介とあらすじのお話 ③ 「沖縄ことばクイズ」・「楽器紹介」・「沖縄音楽ミニコンサート」 ④ 児童・生徒、エイサー演舞 発表コーナー 打って!唄って!踊ろう! 演舞曲『安里屋ユンタ』(沖縄県八重山民謡) 【第二部】 ⑤ 組踊 上演作品『万歳敵討』の作品紹介とあらすじのお話 ⑥ 組踊 上演作品『万歳敵討』仇討物(ユネスコ無形文化遺産) ・作者:田里朝直 ・初演:1756年 尚穆王冊封の宴で上演 ・監修:宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」保持者(総合認定)	本公演演目:琉球舞踊『四つ竹』と組踊『万歳敵討』 公演時間(90分)			
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	無 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	【第一部】 ① 琉球舞踊 上演作品『四つ竹』(舞踊の種類:女踊り) ★歌詞 打ち鳴らし 鳴らし 四つ竹は鳴らし 今日や御座出でて 遊ぶ嬉しや			



琉球舞踊「四つ竹」上演シーン

★見どころ

沖縄の風、空気を最初に感じていただく、演目『四つ竹』で開演です。竹で作られたカスタネットのような鳴り物、四つ竹を両手に持ち、それを「踊りこはでさ節」に乗せてカチカチと打ち鳴らしながら踊ります。

衣装は沖縄を代表する伝統的な染色技法せんしよくぎほうで染められた、艶やかな紅型衣装びんがたいしやうを身にまとい、頭に花笠はながさを被り「四つ竹を打ち鳴らし鳴らして、今日はこのようなおめでたいお座敷で踊り遊ぶことの嬉しさよ」と優雅に華やかに踊ります。

琉球古典音楽「踊りこはでさ節」にのせて、舞踊家が舞台下手しもて(正面左側)から登場し、舞台中央で踊り、最後は再び下手(正面左側)に入って音楽が終わるといふ舞台上での動き方は、伝統芸能の能楽のうがく(能・狂言きやうげん)と同じ動きで、こういった能楽などの要素も取り入れて構成されています。



紅型衣裳



四つ竹



花笠

★ポイント

ゆっくりとした地謡じうたいの演奏で、下手から登場する舞踊家の雰囲気、動き(所作)の美しさ優雅さに驚くことでしょう。

また、初めて観る、聞く沖縄の舞踊や音楽は、最初はなかなか目にも耳にも入りにくいものです。そこでプロジェクターとスクリーンを利用して、タイトル、歌詞、現代語訳を映してより分かりやすく上演いたします。

★振付・監修:志田房子

国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)

1987年度 文化庁芸術祭 芸術祭賞受賞

1991年度 文化庁芸術選奨 文部大臣賞受賞

1996年 沖縄指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」技能保持者認定

2004年度 沖縄県文化功労賞受賞

2009年 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)

2019年 平成30年度文化庁長官表彰

琉球舞踊 ちやうよりゆう 重踊流 しょだいそうけ 初代宗家

## ② 琉球舞踊『四つ竹』の作品紹介とおはなし

案内役(司会)が舞台上に登場します、そして沖縄の方言であいさつと、自己紹介をします。

続いて、方言でのあいさつ、男の子は「ハイサイ」、女の子は「ハイタイ」とみなさんと声を出して言ってみましょう。

次に今事業「文化芸術による子供育成総合事業」の目的をお話します。

スクリーンの日本地図に現在公演を行っている都道府県と沖縄県の位置を示して距離的な感覚を移動時間でお伝えし、現在の沖縄県の様子や歴史についてお話します。

そして最初に鑑賞していただいた琉球舞踊「四つ竹」の作品についてお話します。



案内役

## ③ 「沖縄ことばクイズ」・「楽器紹介」・「沖縄音楽ミニコンサート」

「沖縄ことばクイズ」では、普段なじみのない沖縄県の方言を知っていただけます。

スクリーンに文字を映して、案内役がクイズ形式で進めるコーナーです。

児童・生徒のみなさんから地域の方言なども聞き、お互いに相手の文化を理解することを通して、コミュニケーションを図りながら、言葉の大切さをお話します。



スクリーンの文字

「楽器紹介」では、各楽器の演奏家に楽器の構造や音色を紹介してもらいます。沖縄の方言で演奏家の皆さんのことを「地謡」(じうてい)といいます。また沖縄の方言での楽器の呼び方も併せて紹介します。各楽器それぞれの写真を、スクリーンに投影することで、遠くからでも見られるようにいたします。



演奏家(地謡)のみなさん



三線(さんしん)



胡弓(こきゅう)



笛(ふえ)



太鼓(たいこ)



箏(こと)

「沖縄音楽ミニコンサート」では、沖縄の芸能には欠かすことのできない音楽を、「琉球古典音楽」「沖縄民謡」「現代音楽」と大きく3つに分けて、各ジャンルから1曲ずつ演奏します。

★見どころ

沖縄音楽の大きな特徴は、三線の演奏者が、唄も担当することです。他の伝統芸能、能楽(能・狂言)では地謡、歌舞伎では長唄は唄方、常磐津、清元、義太夫は浄瑠璃方として分かれていて、楽器の演奏をしながら唄ったり語ったりすることはありません。

④ 児童・生徒、エイサー演舞 発表コーナー 打って!唄って!踊ろう!

演舞曲『安里屋ユンタ』(沖縄県八重山民謡)

※児童・生徒の共演、参加又は体験の形態に記載致しました。

【第二部】

⑤ 組踊 上演作品『万歳敵討』 仇討物

★あらすじ

むかし、首里に高平良御鎖たかひらよしのみくさりという鎖之側の位ごうまんになった、とても傲慢な人がいました。

高平良御鎖は大謝名おおじやなの比屋ひやという人が飼っていた、とてもよく走る立派な名馬を欲しがっていました。高平良御鎖はその思いを大謝名の比屋に相談して譲ってくれるように頼みましたが、断られてしまったのです。

そのことを恨みに思い、大謝名の比屋を殺してしまいます。

殺された大謝名の比屋には、男の2人兄弟がいました。

長男の名は謝名じやなぬしの子、次男の名は慶雲ちうんと言います、父を殺された二人の兄弟は、旅芸人に姿を変えて仇討ちの機会を狙っています・・・  
さて最後は、どのようになるのでしょうか。

★見どころ

作品の終盤、謝名兄弟が敵意を剥き出しにして高平良御鎖に迫ります、その気迫に満ちた息の合った舞踊と所作(動き)、それを必死にかわそうとする高平良御鎖、いよいよ謝名兄弟が刀を抜き高平良御鎖に襲い掛かる緊迫したシーンとなります。



組踊『万歳敵討』上演シーン

★ポイント

字幕的な役割として、プロジェクターとスクリーンを利用して、全てのセリフをスクリーンに映して、物語を分かりやすく上演いたします。

組踊の『万歳敵討』は、沖縄伝統芸能の要素が全て入っている作品です、その要素とは①琉球古典語、②琉球古典音楽、③琉球古典舞踊となります。

★監修:宮城能鳳

国指定重要無形文化財「組踊」保持者(総合認定)

1986年 国指定重要無形文化財「組踊」保持者(総合認定)

1996年 沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者(総合認定)

2006年 国指定重要無形文化財「組踊立方」保持者(各個認定)

2009年 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)

2018年 日本芸術院賞受賞

以上が演目概要でございます。

<p>演目選択理由</p>	<p>本公演演目は、沖縄の伝統芸能(琉球芸能)の中から、琉球舞踊『四つ竹』と、組踊の『万歳敵討』です。</p> <p>琉球舞踊は、18世紀から19世紀中期にかけて、琉球王国で大成した古典舞踊と、<small>ぞうおどり</small>雑踊に大別されます。古典舞踊の中心は「女踊り」で、足の運び、構え、腰の使い方、視線の動きや顔の向け方、手や指の所作などに独自の技法があります。今回の上演作品『四つ竹』は女踊りの中でも名作であります。</p> <p>また国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者の重踊流宗家、志田房子師に振付、監修を頂き、舞踊家として重踊流二世宗家の志田真木師の出演による芸術性の高い作品をお送り致します。</p> <p>組踊は1429年に琉球王国が成立した後、1719年に琉球王府の踊り奉行であった<small>たまぐすくちようくん</small>玉城朝薫によって創始されました。能楽、歌舞伎、上方の芸能を見聞きし、それらを参考に琉球の歴史や故事や説話を取り入れて創りだされたのが歌舞劇「組踊」です。</p> <p>この歌舞劇「組踊」は唱え、音楽、踊りの3つの要素から構成されています。</p> <p>公演のプログラムは、舞踊→音楽→芝居の順で展開することにより、観て、聞いて、感じてもらう流れになっています。これにより児童、生徒たちの理解力を深め、『万歳敵討』の作品内容を想像できるよう、大変分かりやすくなっています。</p> <p>また国指定重要無形文化財「組踊」保持者の宮城能鳳師に監修を頂き、大変完成度の高い作品でお送り致します。</p> <p>今回公演される沖縄伝統芸能「組踊」は平成22年11月、国際連合教育科学文化機関ユネスコの無形文化遺産に登録されています。</p> <p>今公演の本公演演目の琉球舞踊『四つ竹』と組踊の『万歳敵討』は、児童、生徒、先生方が、なかなか鑑賞する機会の数少ない作品の1つです。</p> <p>その理由には公演するにあたり多くの費用が掛かることに加え、琉球舞踊、組踊は現在、東京都の国立劇場と沖縄県の国立劇場おきなわに行かなければ鑑賞する機会を得ることが、なかなか出来ないものだからです。</p> <p>今公演を通して、日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることが出来ると同時に、豊かな感性や、創造性を育むことが出来ると考えております。</p> <p>また、グローバル社会の現在、自国の文化を知ることが大切と考えます。</p> <p>さらに、この機会に琉球舞踊や組踊を初めて観たり聴いたりすることで、琉球芸能に興味関心を持つきっかけとなり、将来の芸術家の育成の一助になると考えました。</p> <p>沖縄の古典芸能の2つの大きな柱である、「琉球舞踊」と「組踊」、そして児童、生徒の参加、体験コーナーで行われる民族芸能の「エイサー」この古典芸能と民族芸能を取り入れた公演内容は沖縄県外の多くの児童、生徒、ご家族、学校関係者の方々に大変貴重な知識と経験をお伝えすることの出来る作品であることから本公演の演目に選択致しました。</p> <p>以上が演目選択理由でございます。</p>
---------------	---

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

④ 児童・生徒、エイサー演舞 発表コーナー 打って！唄って！踊ろう！

演舞曲『安里屋ユンタ』(沖縄県八重山民謡)

代表児童・生徒の皆さんが『安里屋ユンタ』の曲に合わせて、エイサー演舞の発表を致します。地謡の生演奏に合わせて、児童・生徒のみなさんだけで舞台上、体育館内に広がっておこないます。



演舞発表コーナーの様子

代表児童・生徒のみなさんは下手側の舞台袖のパネルの陰で準備をします、**打掛け(衣装)**を着け、**パーランクー**と**バチ**を手に持ち、準備が整ったら地謡の演奏に合わせて入場します、いよいよ演舞の発表です、地謡の生演奏『安里屋ユンタ』の曲に合わせて演舞を行います。



衣装の打掛けと帯



パーランクーとバチ

★安里屋ユンタの歌詞

♪サー 君は野中の茨の花か サーユイユイ (お囃子)

暮れて帰れば ヤレホンニ 引き止める

マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)

♪サー 沖縄良いとこ 一度はめんそーれー サーユイユイ (お囃子)

春夏秋冬 緑の島よ

マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)

	<p>★工夫ポイント  スクリーンに歌詞を出し、会場が一体となる雰囲気を作り出します。  代表児童・生徒の準備の間に、代表児童・生徒以外のみなさんは、案内役と地謡によるお囃子の練習を行います。  (安里屋ユンタの、お囃子 → ♪サー ユイユイ♪)</p> <p>そして代表児童・生徒のみなさんの演舞発表では、手拍子やお囃子と一緒に会場の雰囲気を盛り上げ楽しみましょう。</p> <p>※ワークショップにおいて代表児童・生徒は練習を行います、ご担当の先生と相談のうえ、本公演までにワークショップの際に撮影した映像で練習をしていただきます。</p> <p>★エイサーについて</p> <p>1603年から1606年にかけて当時の琉球王の向寧王の知遇を得た浄土宗の「袋中上人」が仏典を踊りながら唱える“念仏踊り”を伝え、沖縄独自の仏典踊りの形態であるエイサーへと発展したと言われています。また、500年以上前の「李朝実録」(1479年)のなかに当時の那覇の記録として残っており、そのころが始まりだという説もあります。</p> <p>★演舞曲目の選択理由  『安里屋ユンタ』(沖縄県八重山民謡)  竹富島に伝わる唄が元歌になりますが、今回演舞で演奏される曲は1934年戦前に標準語でレコード化され、全国に知られることとなった曲です。  プログラム③の「沖縄音楽ミニコンサート」の中では、琉球古典音楽、沖縄民謡、沖縄現音楽と3種類を分けて紹介して、違いを聞き比べてもらいます。  上演演目の「琉球舞踊」と「組踊」は琉球古典音楽が演奏される伝統芸能です。エイサーは沖縄民謡が多く演奏される民族芸能です。その2種類に分類されることから、芸能と音楽的な種類といった側面からみて、紹介するうえで琉球古典音楽も沖縄民謡どちらも大切なことと考え選択致しました。  選曲については、公演団体「子の会」と相談のうえ、実際にエイサーで多く使われることから選択致しました。</p> <p>以上が児童・生徒の共演、参加又は体験の形態でございます。</p>		
出 演 者	<p>立方 (9名) 玉城匠、田口博章、上原信次、上原崇弘、伊藝武士、山城峻称  下地心一郎、高井賢太郎、佐辺良和、川満香多、金城真次 ほか</p> <p>舞踊家 (3名) 志田真木(琉球舞踊保存会伝承者、重踊流二世宗家)  ほか流派から2名</p> <p>地謡 (6名) 喜納吏一、大城貴幸 仲尾勝成、棚原健太、徳田泰樹、仲嶺良盛  宮里和希、大城健太郎、町田倫人、新垣俊道、中村逸夫、玉城和樹、入嵩西諭、池間北斗 ほか</p> <p>案内役 (1名) 西村綾乃、上原信次、玉城匠 ほか  ※子の会 OB、賛助出演者</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 19名 スタッフ: 6名 合計: 25名	機材等 運搬方法	積載量 2 t 車長 4.7 m 台数 1 台

## 【公演団体名 沖縄伝統組踊「子の会」】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 <b>無</b> ) 会場設営の所要時間( 2 時間程度 ) <table border="1" data-bbox="389 745 1431 824"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:00</td> <td>9:00~/11:00~</td> <td>13:30~15:00</td> <td>10分</td> <td>15:10~16:10</td> <td>16:20</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	9:00	9:00~/11:00~	13:30~15:00	10分	15:10~16:10	16:20
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
9:00	9:00~/11:00~	13:30~15:00	10分	15:10~16:10	16:20													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	~600名																
	本公演	~800名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>授業時間の2時限分をお借りして、実施する予定です          1時限目は<b>全校児童・生徒</b>を対象とさせていただきます。          2時限目は<b>代表児童・生徒</b>を対象とさせていただきます。          ※様々な状況を鑑みて実施時間や対象学年、代表児童・生徒の選抜などにつきまして、ご相談をさせていただきます。</p> <p><b>【1時限目】</b>  <b>全児童・生徒</b>対象に、沖縄県の伝統芸能「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」、3つの芸能をしっかりと体験し知ってもらうことが目的です。          ★そうすることで、本公演への興味関心を高めるとともに、期待をして頂ければと考えます。</p> <p>① <b>「琉球舞踊」のお話と実演、手踊りの体験</b></p> <p>琉球舞踊でもっとも特徴的な手踊り<sup>ておど</sup>。ここでは3種類の手の使い方を、ご紹介し体験していただきます。「招き手<sup>まね</sup>」、「こねり手<sup>かえ</sup>」、「返し手<sup>ぎほう</sup>」の技法を用いて、「幸せをよびこみ、その幸せが皆さんにも訪れますように」という思いを込めて表現します。</p> <div data-bbox="600 1722 1171 2085" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;"><b>手踊り体験の様子</b></p>																	

## ② 「組踊」のお話と実演、座り方の体験

組踊の演者が舞台上で座るシーンの時に、男性と女性では座り方が違います。どちらも体験していただきます。

★この体験を通して、本公演演目、組踊『万歳敵討』で同様に座るシーンを鑑賞した際に、ワークショップでのこの体験したときの感想が思い出されることでしょう。



男性役の座り方



女性役の座り方

## ③ 楽器の紹介

ワークショップでご紹介する唯一の楽器は三線です。沖縄県の芸能において、無くしてはならない存在です。その構造や素材についてお話しし、音色を聞いていただきます。

## ④ 沖縄県八重山民謡「安里屋ユンタ」の体験

お囃子と、パーランクーを使ってのエイサー体験をしていただきます。まず歌三線の指導者による八重山民謡「安里屋ユンタ」を聞いていただきます。続いて、みなさんも一緒に声を出して練習してみましよう。

お囃子の箇所は、以下の歌詞の下線の部分になります。

### ★歌詞

♪サー 君は野中の茨の花か サーユイユイ (お囃子)  
暮れて帰れば ヤレホンニ 引き止める  
マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)

♪サー 沖縄良いとこ 一度はめんそーれー サーユイユイ (お囃子)  
春夏秋冬 緑の島よ  
マタハーリヌ チンダラ カヌシャマヨ (お囃子)



「安里屋ユンタ」お囃子の練習の様子  
(少人数の場合)

お囃子の練習が出来たら、つづいてパーランクーとバチをみなさんにお配りし、エイサー体験です。エイサー体験していただく前に、パーランクーの構造やエイサーについてお話します。

まず始めにパーランクーの基本の打ち方を伝えます、つづいて『安里屋ユンタ』の曲に振付けをした動きを練習します。繰り返し練習をしたら、歌三線の演奏に合わせてエイサー体験をしていただきます。児童・生徒のみなさんには必ずパーランクーの体験はしていただきます。

★多くの児童・生徒のみなさんには、初めて聞く音楽『安里屋ユンタ』と、初めて触れる楽器パーランクーで沖縄民謡独特のリズムを感じてもらいます。参加者全員がお囃子と演奏を体験することで、本公演で代表児童・生徒による演舞発表の際に、一緒に楽しく盛り上がることでしょ。

#### ⑤ 質問コーナー・質疑応答(ワークショップの内容を振り返る)

多くの児童・生徒のみなさんが、初めて見たり、聞いたりすることが多いと思います。どんな質問でも感想でもかまいません、また逆に指導者からその地域についての質問もあります。児童・生徒みなさんと、指導者とのコミュニケーションを図ることでワークショップを振り返ってもらい、本公演への興味関心を高められるようおこないます。

#### 【2時限目】

本公演の中で**代表児童・生徒**だけで、エイサー演舞の披露を行うための練習の時間です。本公演当日は地謡の生演奏に合わせて演舞を行います。

本公演の中で案内役から演舞披露の指示が出たら、体育館内の観賞場所から移動します。衣装の打掛けと帯を締め、パーランクーを持って準備が整ったら演舞発表の場所まで移動しましょう。演舞が終わったら挨拶をして退場するまでの流れを、みなさんだけで出来るように、一つ一つ確認しながら丁寧に練習していきます。

★ここで大事なことは、自主性と協調性を育むことです。指導者と児童・生徒のみなさんとコミュニケーションを取りながら進めます。

★ご担当の先生にご協力いただき、指導者の演舞、代表児童・生徒のみなさんの練習風景をビデオカメラで撮影していただきます。本公演当日までご無理の無い程度に時間を作ってください、撮影した映像を確認しながら練習をしていただきます。



エイサー演舞の練習の様子

以上がワークショップ実施形態及び内容でございます。

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>1時限目のワークショップでは、沖縄の伝統芸能の「琉球舞踊」「組踊」「エイサー」という3つの芸能を知ってもらい、体験することで、本公演への興味関心の向上、期待を膨らませていただければと考えます。</p> <p>また近年、民俗芸能のエイサーは沖縄県内にとどまらず、海外、日本本土でのサークル活動や小学校での運動会でも演舞がされており、沖縄の芸能への入口としてエイサーを取り入れることで、沖縄の伝統芸能の周知や理解に繋げることが出来るでしょう。</p> <p>2時限目のワークショップでは代表児童・生徒のみなさんの自主性、協調性を育むことをテーマに指導者一同、コミュニケーションを取りながら、エイサー演舞の発表が、素晴らしい体験となることを目標に行います。</p> <p>以上がワークショップ実施形態の意図でございます。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>ご担当の先生との連絡を密にとり、普段どのように行事を行っているかなど詳しく教えて頂き、多くの児童・生徒さんが参加出来るよう工夫いたします。</p> <p>共演、参加の形態も、ご無理の無いように可能な限り参加していただき、よく相談して進めさせていただきます。</p> <p>上演中、児童・生徒の皆さんがより良い形で鑑賞の出来るように、上演時間、鑑賞方法、共演方法、舞台関係の準備など調整いたします。</p> <p>案内役の言葉の使い方、組踊『万歳敵討』の字幕の表記など、言葉一つ一つ丁寧に修正、対応して参ります。</p> <p>過去、今事業において支援学校で上演させて頂いた経験と知識を活かして、取り組みます。</p> <p>また子の会、重踊流の出演者の皆さんと、私共制作団体は支援学校での上演を大変素晴らしい機会と捉えておりまして、是非もっと積極的に上演の機会が増えればと考えております。</p> <p>プログラムの内容は特別変更する必要はございません。</p> <p>上演時間は普段の時間割に合わせて対応いたします。</p> <p>休憩時間の長さや回数など細やかに対応いたします。</p> <p>以上が特別支援学校での実施における工夫点でございます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

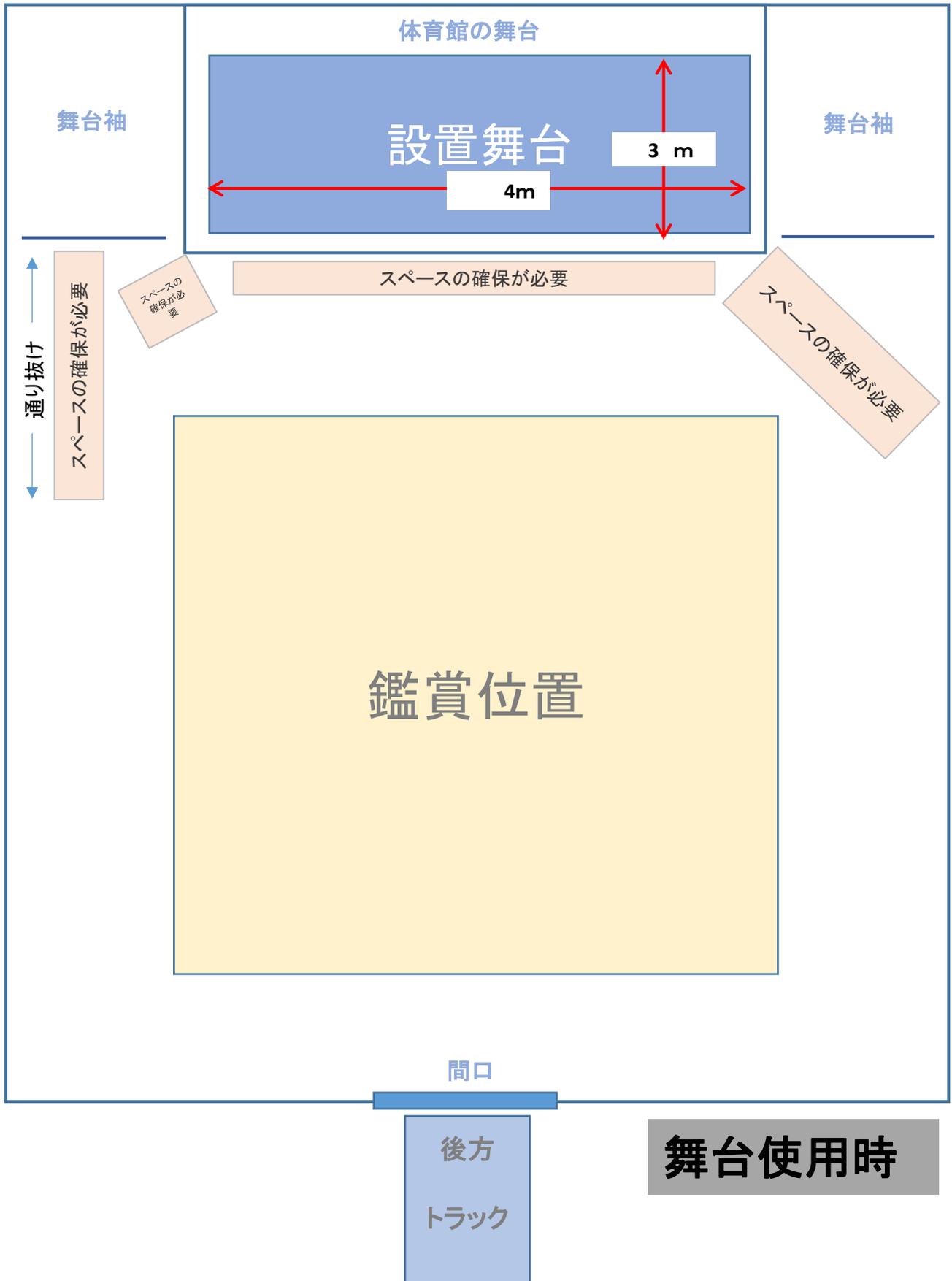
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1205	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック		区分	A区分
公演団体名	沖縄伝統組踊「子の会」			制作団体名	株式会社 BOX4628				

① 会場条件等についての確認

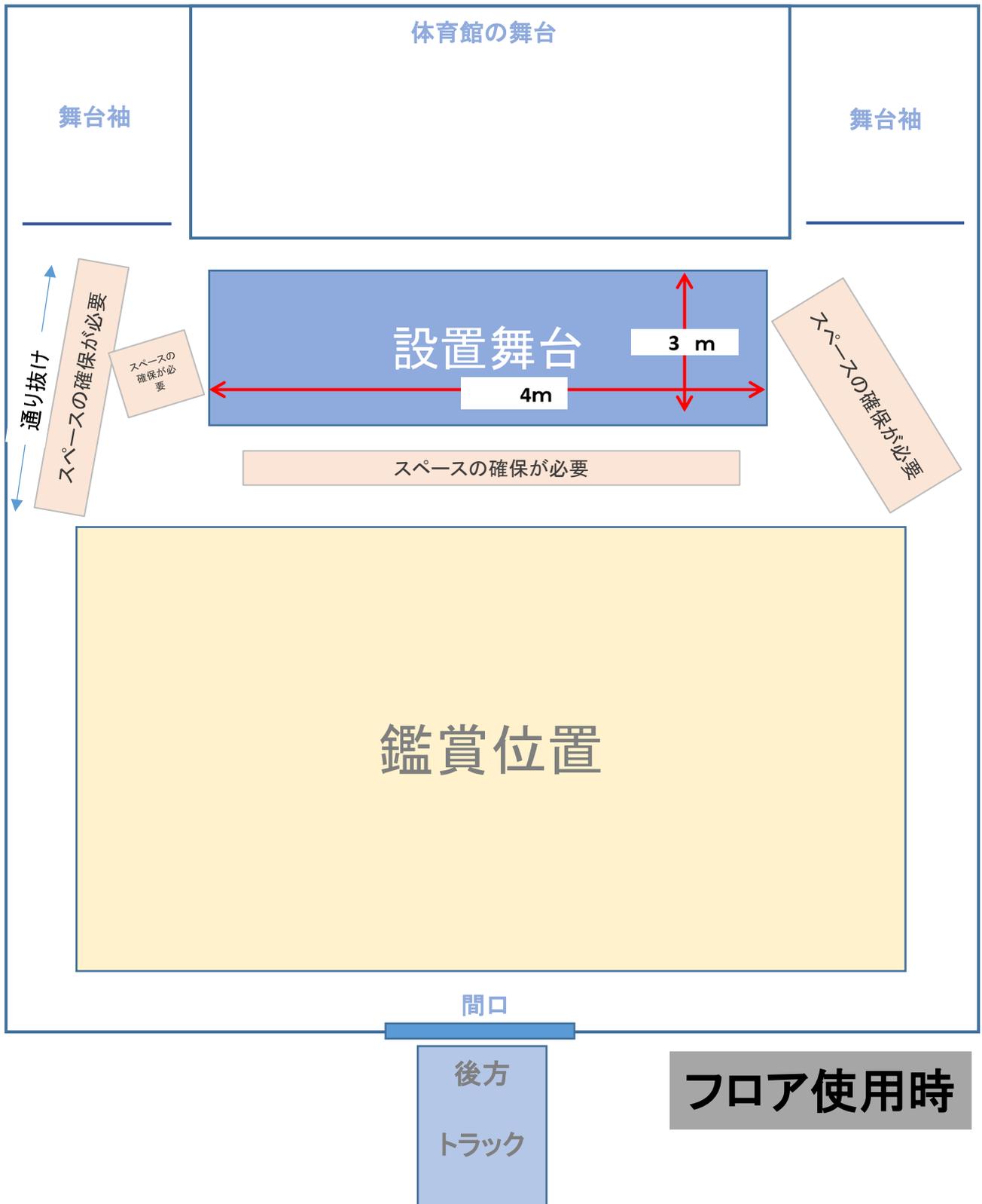
項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	2室	条件	広さが十分確保させていれば、1室でもかまいません。					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック	1台	大型バス	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック、長さ4.7m、幅2m					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない経路が望ましい。					
		理由			重量のある音響機材や寸法の大きい大道具がある為					
	可	設置階の制限 *			問わない					
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.5m			
WSIについて	可	参加可能人数			600名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			800名程度					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	4m	奥行	3m	高さ	指定 ございません	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	可				舞台袖スペースの条件 *			可能な限り、片付け整理された状態		
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量			60A以上	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.5m
搬入車両の横づけの可否	可能な限り			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.5m
搬入車両の横づけの要否		可能な限り		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れいわ に ねんど  
令和2年度

ぶんか げいじゆつ こども いくせい そうごう じぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

ちようよう りゆう  
■重踊流について

りゆうきゆうぶよう ちようようりゆう しだ ふさこ くに してい じゆうよう むけい ぶん か ざい りゆうきゆうぶよう  
「琉球舞踊 重踊流」は、志田房子（国指定重要無形文化財「琉球舞踊」

そうごう にんてい ほ じ しゃ しよだい そうけ でんとう う つ  
(総合認定)保持者)を初代宗家とし、伝統を受け継ぐとともに、

あら さくひん そうさく と く  
新たな作品の創作にも取り組んでいます。

しー かい  
■子の会について

しー かい こくりつ げきじょう くみおどり けんしゅう しゅうりょうしゃ こうせい かい  
「子の会」は、国立劇場おきなわ組踊研修修了者で構成された会です。

ねんかん けんしゅうしゅうりょうご たが みづか ぎ げい こうじょう め ぎ もくてき  
3年間の研修修了後も、互いに自らの技芸の向上を目指すことを目的に

せつりつ  
設立されました。

くみおどり でんしゅうしゃ かつどう とお ぶん か いさん くみおどり  
組踊の伝承者としての活動を通して、文化遺産である組踊をはじめとする

おきなわ でんとう けいのう せ かい おお ひと し じ せだい けいしやう  
沖縄の伝統芸能の世界を多くの人に知ってもらい、それを次世代へ継承

せりよくてき と く  
していくことに精力的に取り組んでいます。

しゆつ えん りゆうきゆうぶよう ちようようりゆう  
■出演：琉球舞踊「重踊流」

おきなわ でんとうくみおどり しー かい  
沖縄伝統組踊「子の会」

りゆうきゆうぶ よう かんしゅう しだ ふさこ くに してい じゆうよう むけい ぶんか ざい りゆうきゆうぶよう そうごうにんてい ほ じ しゃ  
■琉球舞踊監修：志田房子 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」(総合認定)保持者

くみおどり かんしゅう みや ぎ のう ほう くに してい じゆうよう むけい ぶんか ざい くみおどり そうごうにんてい ほ じ しゃ  
■組踊監修：宮城能鳳 国指定重要無形文化財「組踊」(総合認定)保持者

き かく せいさく かぶ じき がいしゃ ボックス よる づや  
■企画制作：株式会社BOX4628

りゆうきゆうぶ よう ちようようりゆう よ だけ  
琉球舞踊 重踊流 「四つ竹」

おき なわ でん とう くみ おどり しー かい まん ざい てき うち  
沖縄伝統組踊 子の会 「万歳敵討」



ぶんか げいじゆつ こども いくせい そうごう じぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -」

わ くに いちりゅう ぶんか げいじゆつ だんたい しょうがっこう ちゅうがっこう など こうえん こども すぐ ぶたい  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台  
芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、  
しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしやうのうりよく こうじょう のうりよく、いくせい  
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえん しどう また かんしやうしどう おこな じつえん  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、  
こども さん か  
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



りゅうきゅうが よう  
**琉球舞踊とは**

おきなわ  
 沖縄は、1879（明治12）年に沖縄県が設置されるまで、  
 りゅうきゅうおうこく  
 琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

- ①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって生まれた「古典舞踊」
- ②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた大衆的な「雑踊」
- ③戦後につくられた「創作舞踊」

くみおどり  
**組踊とは**

せりふ おんがく おどり  
 台詞、音楽、踊り（所作）によって構成される演劇（歌舞劇）のことです。

くみおどり りゅうきゅう  
 組踊は、琉球（今の沖縄県）の新国王認証のため中国から派遣された冊封使を

もてなすために玉城朝薫によって作られ、1719年に初めて上演されました。

ちやうくん りゅうきゅう  
 朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、あるいは中国の演劇から

ヒントを得て、琉球に残る古い伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

ことし ねん  
 今年2020年は、組踊がはじめて上演されてから 301年目となります。

しょうがっき しょうかい  
**【使用楽器の紹介】**



こう えん  
**公演プログラム**

ぶ  
**1部**

りゅうきゅう ぶよう じょうえん さくひん よ だけ こてん おんなおど  
 ◇ 琉球舞踊 上演作品 『四つ竹』 古典女踊り

りゅうきゅう ぶよう じょうえん さくひん かいせつ  
 ◇ 琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

おきなわ おん がく がっき しょうかい  
 ◇ 『沖縄ことばクイズ』 『楽器紹介』

おきなわ おん がく  
 『沖縄音楽ミニコンサート』

あさどや えん ぶ はっぴょう  
 ◇ 『安里屋ユンタ』 エイサー演舞発表コーナー

う た おど  
 打って！唄って！踊ろう！

ぶ  
**2部**

くみおどり じょうえん さくひん  
 ◇ 組踊 上演作品のあらすじとおはなし

くみおどり じょうえん さくひん まんざい てきうち あだ うち もの  
 ◇ 組踊 上演作品 『万歳敵討』 仇討物

くみおどり むけい ぶんか いさん  
 （組踊：ユネスコ無形文化遺産）

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

	○

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ ○A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ ○なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

ふりがな	わんぱくきかくゆうげんがいしゃ		
制作団体名	わんぱく企画有限会社		
代表者職・氏名	代表取締役社長 橋本絵美		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒249-0005 神奈川県逗子市桜山 8-10-13 オリエント逗子 202 号室		
電話番号	045-324-5885	F A X 番号	
ふりがな	わんぱくよせ がっこうよせ		
公演団体名	わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)		
代表者職・氏名	代表取締役社長 橋本絵美		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒249-0005 神奈川県逗子市桜山 8-10-13-オリエント逗子 202 号室		
制作団体 設立年月	平成4年	5月	
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 橋本絵美 中坪征二		舞台スタッフ 制作スタッフ
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	橋本絵美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	斎藤直美

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和47年7月静岡県河津の中学校で本邦初の「学校寄席」を開始。        (構成メンバーは二代目桂小南、入船亭扇橋、桂南喬、二代目林家正楽、森トシ)        頭の柔らかいこどもの時期から伝統芸能に触れることで20年、30年先の観客をつくること、また文化の継承を目的として、全国の小・中学・高校生を対象に芸術鑑賞教室を始める。</p> <p>昭和50年学校帰りの小学生が学校寄席を熱心に聞いているのを見て、小学生にも落語のおもしろさが伝わることを確信し、小学生対象に「わんぱく寄席」の上演を開始。        各地域の教育委員会合同芸術鑑賞教室、子ども劇場、おやこ劇場。上演学校数も1万余校を超える。        平成4年 わんぱく企画有限会社設立。        平成17年厚労省社会保障審議会推薦児童福祉文化財        平成25年厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財        平成25年「長年にわたって、日本の伝統芸能を子どもたちに普及し、児童の健全育成に貢献してきた活動について」        厚労省特別部門児童福祉文化賞受賞</p> <p>全国の小中高で上演を続け、今年で48年。当初、落語は「くだらないもの、難しいもの」というイメージがあり、鑑賞行事として学校上演するまでに苦労を重ねて参りました。        令和の時代になり落語など日本の伝統芸能が多くの人たちに認められるようになり、初めて「学校寄席」を上演した二代目桂小南、入船亭扇橋、桂南喬、二代目林家正楽、三味線の森トシ他の方々から、その弟子へまたその孫弟子へ受け継がれ、現在まで多くの出演者、スタッフの力で、ようやく、学校での公演が認められるようになり、ロコミでひろがるようになりました。</p>	
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>全国北海道から沖縄に至るまで多岐にわたる小・中学校年間約150校        日本児童・青少年演劇劇団協同組合主催        「夏休み児童・青少年演劇フェスティバル」参加        文化庁 平成22年度「本物の舞台芸術体験事業」            平成23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」            平成25年度「次代を担う子供の文化芸術体験事業」            平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」            平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」        令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」        令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」</p>	<p>左から桂小南、森トシ、入船亭扇橋、林家正楽、桂南喬</p>

特別支援学校における公演実績	友部特別支援学校		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	



発表

児童・生徒代表が披露する

一番太鼓

「どんどんとこーい」開場とともに賑やかにみなさんをお出迎えいたします。



落語

開口一番  
若手落語家



柳亭市若 ほか

はじまりは、元気いっぱい  
の若手落語家による落語。  
わかりやすく楽しい演目  
をお話し致します。

※演目は当日子どもたちの様子を見て  
その場で決めます。  
なんのおはなしになるのかお楽しみに！

落語

大阪の笑い  
上方落語家



笑福亭呂好 ほか

落語には東京の江戸落語と  
大阪の上方落語があります。  
東京の落語家さんと話し口調  
がどう違うかな？聞き比べて  
みよう！

※プログラムの編成により、トリの師匠が  
上方落語になる場合もあります。

落語

中トリをつとめる  
実力派の師匠



古今亭志ん丸 ほか

わんぱく寄席、学校寄席に  
数多く出演していただいている  
子どもたち目線で話のできる  
実力派の師匠。

どんな話がとびだすか  
乞うご期待！

※出演者はあくまでも例です

## 発表

### 代表児童・生徒による 落語発表会

#### 落語



#### 落語発表 児童2名

ワークショップで練習した「寿限無」「平林」などの落語を実際の舞台上がって披露します

子どもたちがワークショップで落語家から直接口伝いでセリフなどを教わりながら、手ぬぐいや扇子をつかって、登場人物を演じ分ける技術を習得し、その成果を披露します。

#### 鳴物



#### 鳴物発表 児童数名

落語発表の児童が舞台上に登場する時の出囃子（登場曲）を演奏します。

太鼓、鉦（与助）に加えて、学校で使用しているリコーダーを笛の代わりにして出囃子を演奏し、みんなで一つの寄席を作り上げます。

#### 踊り



#### かっぽれ発表 全員参加

全員で「かっぽれ」を総踊り。全員が楽しく踊って自然と笑みがこぼれます。

授業の関係で難しい場合は、割愛することも可能です。



お仲入り（休憩 10分）

色物 いろもの

ベテラン演者による  
珠玉の芸



林家正楽 ほやし や しょう らく など

芸を極めたベテラン演者の  
珠玉の芸をお楽しみいただきます。  
紙切り芸はお客様のご要望に  
応えて紙にはさみをいれて  
形作っていきます。  
ほかに奇術、漫才、太神楽曲芸  
江戸曲独楽など。



落語 らくご

待ってました！  
大トリ真打！



入船亭扇遊 いり ふね てい せん ゆう ほか

わんぱく寄席・学校寄席のトリを  
かざるのは、前座の時代から現在  
まで学校公演を重ねてきた経験豊  
富な出演者。  
巧みな話術で子どもたちを落語の  
楽しい世界へ誘います。

追い出し太鼓 (ご希望の場合は児童生徒がたたくことも可能です)

「出てけ出てけ」というリズムで追い出し太鼓が流れ、楽しかった寄席もお開きの時間。  
ありがとうございましたという気持ちを込めて。

いままで演じられた

ネタの一部

この中から当日  
児童・生徒の雰囲気を見て選びます



## 公演終了後の工夫

今日見た落語を公演が終わった後も生かす工夫

### 工夫その1

今日話した演目がわかるように、  
終演後会場の出口に本日演じた番組を張り出します。

演目を覚えていただき、自分で調べて、CD や映像配信ツールなどで聞くときの参考にしてもらいたいです。

同じ演目でも違う人が演じる落語はまた雰囲気が変わるため2度3度聞いても楽しむことができます

### 工夫その2

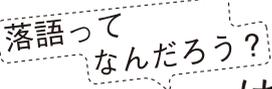
公演後図書室の落語の本が貸し出し中になるという話を聞くことがあり  
落語のお話ののった冊子の PDF データ（弊社作成）を  
お送り致します。

最近、読書をする子どもがめっきり減っているという現状があります。

落語を聞いて想像することの面白さを知ったあと、文字でかかれた落語を読んでもらい、読書することへの呼び水として活用していただくことがねらいです。

<p>演目選択理由</p>	<p><b>落語の演目は当日の子ども達の雰囲気にあったものを</b></p> <p>落語の生命は「落ち」(サゲ)にあります。  あらかじめ、物語のあらすじを知らなくても、子どもたちは一語一句も聞き漏さないように、真剣に話に耳を傾けます。  このことにより「聞く力」を養うことができます。  子どもたちは感性が豊かで、わからない言葉がでてきても全体の話しの流れで理解する柔軟性を持っています。  映像や効果音などない、話し言葉、ただそれだけで、子どもたちは一人一人違った想像を頭の中に作り出していきます。</p> <p>こういった理由から、落語の演目は当日子どもたちの雰囲気を見て、わかりやすい演目を選びます。</p> <p><b>学校に健全な笑いを届けます</b></p> <p>「わんぱく寄席」「学校寄席」は、子どもたちの生活や学校教育の現場に、健全な「笑い」を提供します。その「笑い」は、子どもたちの日本語能力を深め、知的好奇心を刺激するだけでなく、子どもたちの心を解きほぐす力になっています。そして学校全体の雰囲気が和やかになる効果もあります。</p> <p><b>伝統文化と国語教育の一環として</b></p> <p>「伝統芸能を教える項目があるが、どのように教えていいかわからない」と現場の先生からよく伺います。  最近、国語の教科書に落語を題材にしたものが掲載されるようになりましたが、テストで落語のオチを考えさせる問題を、多くの生徒が意味を勘違いして答えていたそうです。古典芸能の落語への関心の低さが課題だという声も聞きます。  現場の先生が伝統芸能を教えることに苦戦しているという背景があるため、是非このワークショップを国語の授業の一環としてご提供できたらと思います。</p> <p><b>本物の話芸にふれて、将来の良き話し手、良き文章家に</b></p> <p>はじめて落語を見た子どもたちの落語の感想は、「『笑点』などの大喜利が落語だと思った」、「落語はおじいさんが見るものだと思った」という意見がほとんどです。  子どもたちに本物の話芸を伝え、将来のお客様を作りたいという思いから全国の小学校、中学校に「わんぱく寄席・学校寄席」を広める活動がはじまりました。  想像力の豊かな子どものうちから、落語の興味あふれる内容を聞くことで、豊かな情操を養い、やがて良き話し手、良き文章家として将来活躍するきっかけになればいいと考えております。</p>
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p><b>事前ワークショップ</b> 本公演を楽しむための事前学習</p> <p>1限目…寄席(落語)ってなんだろう？落語の解説や落語『寿限無』『平林』など  参加者＝全員参加(全員参加が難しい場合は、学年、クラス単位でも可能)</p> <p>2限目…わくわく落語教室  参加者＝学年またはクラス単位参加  ○落語「平林」「寿限無」のお稽古  ○一番太鼓のお稽古(児童生徒入場時に叩く)</p>

	<p>○太鼓、鉦(与助)、笛(リコーダー)のお稽古  …児童生徒が落語発表するときの出囃子にあわせて演奏します  ○かっぱれの踊り、唄、太鼓、鉦(与助)のお稽古  …児童生徒の落語発表の後に代表生徒が踊ります</p>		
出 演 者	<p>「学校寄席」「わんぱく寄席」の出演者は、  初めて落語をみる子どもたちにわかりやすくするための工夫を重ね  師匠から若手へと伝えて48年の間に築き上げた  上演経験のある出演者を主に選定しています。</p> <p>主として落語協会、落語芸術協会、上方落語協会、太神楽協会、漫才協会、日  本演芸家連合所属の出演者からご出演いただいています。</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者: 7~8 名  ス タ ッ フ: 5 名  合 計: 12~13 名  (出演者の色物が漫才の場合出演者8名)</p>	機 材 等 運搬方法	<p>積載量 1 t  車 長 5.5m  台 数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																				
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(2時間30分程度) <table border="1" data-bbox="416 703 1442 824"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8:20</td> <td>8:30</td> <td>11:00-11:30</td> <td>13:30-15:10</td> <td>10分</td> <td>15:10</td> <td>17:00</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。							到着	仕込み	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	8:20	8:30	11:00-11:30	13:30-15:10	10分	15:10	17:00
到着	仕込み	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出															
8:20	8:30	11:00-11:30	13:30-15:10	10分	15:10	17:00															
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1 限目 落語ってなんだろう…全校児童生徒 (学年、クラス単位でも可能) 2 限目 わくわく落語教室…クラス・学年単位参加 (大規模校…クラス参加 小規模校…学年参加)						本公演	全校児童生徒												
ワークショップ 実施形態 及び内容	<div style="text-align: center;">  <h2>よせ はじめての寄席 事前ワークショップ</h2> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>🕒 所用時間</b></p> <p><b>1限目</b> <b>よせ 寄席(落語) ってなんだろう?</b>…45分～60分  <small>全員参加が難しい場合は、学年、クラス単位での参加が可能です</small> <b>全員参加</b></p> <p style="text-align: center;"><b>休憩</b></p> <p><b>2限目</b> <b>わくわく落語教室</b> …45分 <b>クラス単位・学年単位</b></p> </div> <p>1限目は全員参加で落語のみかた、落語にまつわるクイズなど、落語をみる前の予備知識を聞いて、最後に2時限目のワークショップの題材になる落語を2席聞いて頂きます。</p> <p>2限目では、1限目で聞いた落語の演題についてクラス単位、学年単位にしぼって深く掘り下げていきます。</p>																				

1限目 寄席(落語)ってなんだろう?…45分~60分

全員参加

会場へ入るみなさまを一番太鼓でお出迎え



落語のみかた

たのしい解説で  
落語の世界をご紹介します



落語が生まれたのはいつ?  
落語家って何人くらいいるの?  
芸名はどのようにつけられるか?  
寄席文字の意味、座布団にかくされたひみつ  
などなど落語の特徴などをご説明いたします。  
そのあと、簡単な小噺をいたします。  
その時どのようにお話ししているか  
じっくりと観察してみてください。



寄席(下座)音楽の解説

邦楽のダイジェスト版?  
この出囃子は誰のかな

落語家が登場するときに流れる音楽を出囃子といいます。  
おはやさんが弾く三味線に合わせて、太鼓、しめ太鼓、鉦など  
にぎやかに演奏します。有名な落語家さんの出囃子はどんな曲かな?  
また、太鼓のたたき音で水の流れや雪が降っている様子など  
自然の情景を表します。



上下の使い方

一人でも何役も表現する落語  
その表現の方法は?

(向かって左側)

下手(しもて)



かもしも  
上下をつけて  
親子の会話を  
表現

上手(かみて)

(向かって右側)



てぬぐいと扇子は  
どうやってつかうの？  
しぐさってなあに？

落語でつかう道具は  
てぬぐいと扇子だけ。  
その二つの道具を  
つかって、いろいろな  
しぐさをご紹介します。  
聴いている人の想像力  
をふくらませます。



手紙を読む

電話をかける

刀の長さを  
目線の動きで  
表現



一日落語家入門  
めざせあしたの名人！  
落語の修行体験？

落語家は師匠に弟子入りして  
師匠の身の回りのお世話などをする前座修業を  
します。  
その修行時代に礼儀作法から  
相手への気配りや師匠の身の回りの世話など、  
いろいろなことを教わります。  
ここでは、みなさんも前座修行で  
教わる基本的な礼儀作法を体験して  
いただきます。

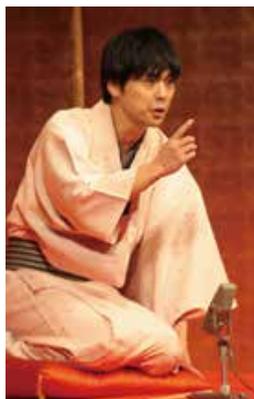


児童、生徒数名舞台上に上がって、  
小噺や仕草をやってみよう！

落語の解説をすべて聞いて頂いたあと、  
代表の児童生徒数名が実際に高座（舞台）  
に上がって披露！



落語の解説で聞いたことを  
踏まえて落語を楽しもう！  
落語を楽しもう！



1. 演目『寿限無（じゅげむ）』
2. 演目『平林（ひらばやし）』

2 限目の『わくわくらくご教室』の  
題材となる演目を 2 席お話します。  
参加学年以外の子もたちは  
落語を楽しみ、2 限目に参加する  
学年は仕草などを注意深く観察  
しながらご覧下さい。

### 寿限無 (じゅげむ)

あらすじ

あるお家に男の子が生まれ、長生きする立派な名前をつけてもらおうと、お寺に行って和尚さんに相談すると「寿限無」「ごこうのすり切れ」「海砂利水魚」など縁起の良い名前を出してもらい、父親はその名前をすべてつなげてしまったからさあ大変。

### 平林 (ひらばやし)

あらすじ

丁稚の定吉がお医者様の「平林」さんへ手紙を届けるために、教えてもらった読み方を忘れないようにつづきながら歩いて行くが途中で忘れてしまいます。

そこで通りがかった人に「平林」の読み方を訪ねますが、

「たいらばやし」

「ひらりん」

「一八十の木木(いちほちじゅうのもくもく)」

「一つと八つで十木木(ひとつとやっつでとっきっき)」

と平林のさまざまな読み方を教えてもらい、そのよみかたをつなげて言っていくという内容の落語です。



最後にみんなで寄席踊り  
かっぱれを踊ろう



みんなで賑やかに  
「かっぱれ」を踊ろう



落語を聞いた後みんなで  
寄席の総おどり「かっぱれ」を  
賑やかに踊ってお開き！

#### 寄席踊りとは

寄席で落語の一席の後に余芸として踊られていた高座での踊りを先代の八代目助六師匠が寄席踊りとして一つにまとめました。

そして、現九代目助六師匠が新たな演出を加え、見て楽しめる作品に仕上げました。

#### かっぱれとは

かっぱれは大阪・住吉大社の住吉踊り(重要無形文化財指定)に端を発し、江戸は浅草三社様の境内で大道芸として踊られていたものです。

落語では、三代目古今亭志ん朝師匠が寄席芸として復活させました。

感染症などの予防や授業の関係などで割愛することも可能です

らくごで  
ことばあそび

## 2限目 わくわく寄席(落語) 教室…45分

クラス単位・学年単位参加

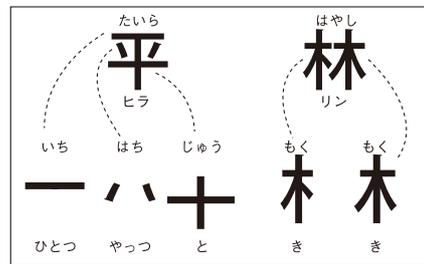
1限目で聞いた落語『寿限無』『平林』について、  
みんなで話し合ったり実際にやってみよう！



その1

### おもしろいと思ったところを話し合おう！

平林は漢字の読み仮名の違いや、漢字を分解して読んだり文字の面白さが題材となっています。その解説や寿限無のおもしろかったところなどを話し合ってみよう。



平林の漢字を分解すると……



その2

### 実際に声に出して言ってみよう！

「寿限無」「平林」の簡単な文章を、  
落語家さんの後につづいて声に出して言ってみよう！

テキストを  
お渡します



その3

### 寄席の太鼓をたたいてみよう

お客様を呼び込む一番太鼓、休憩をしらせる仲入りの太鼓、  
終演後に流れる追い出し太鼓などだけでなく、  
出囃子の時にも三味線にあわせて太鼓を打ち鳴らします。  
順番に太鼓をたたいて、その中から代表生徒が本公演で  
発表します。



出囃子にあわせて太鼓をたたく練習



ドンドンどんとこーいと多くのお客様  
が入るように勢いよく太鼓を叩きます

それぞれグループに分かれて  
本公演の発表にむけて練習しよう！

練習1



落語『寿限無』『平林』発表練習

落語『寿限無』と『平林』の練習を行います。  
落語家が上下（かみしも）の使い方、しぐさなどを直接指導します。  
その中から代表の児童生徒が本公演で『寿限無』『平林』を発表します。

※一人で全部発表することが難しい場合は、一つの演目を数人でリレー方式で発表することも可能です。



目線と上下の位置を指導しています  
右を向いて左を向いて一人で何人もの登場人物を演じ分けます



本来は口伝えで教える落語ですが、  
わかりやすいようにテキストをお渡しします



落語家の表情を見ながら練習するため、  
感染症対策としてアクリル板の仕切りを  
たてて仕切り越しに指導します。

練習2



一番太鼓、出囃子、笛の練習

一番太鼓組……本公演の開場とともに流れる  
一番太鼓を数名の児童生徒が  
交互に打ち鳴らします。

出囃子組 ……落語発表の児童の出囃子に  
あわせて、太鼓、鉦を演奏。

笛 組 ……鳴物の笛の代わりに普段児童  
生徒が使用しているリコーダー  
で出囃子にあわせて演奏。



大太鼓と締太鼓を使って出囃子にあわせて  
叩く練習をします。



学校の好きな曲を出囃子にしてそれに  
あわせてリコーダーを吹きます。

練習3



寄席踊り「かっぽれ」の練習



ねじり鉢巻きを巻いて、小気味の良い  
音楽にあわせて歌いながらみんな  
踊ります。

本公演で児童の落語発表の後に  
代表児童が舞台の前で踊ります。

※授業の関係上上演がむずかしい場合は割愛することも  
可能です。

本公演で共演する落語披露と  
一番太鼓・追い出し太鼓披露の代表児童が

## 本番までに 用意するものなど



### 🐦 亭号と名前をかंगाえてオリジナルめくりを作成

本番で発表するときまでに「○○亭花丸」などの  
自分の落語家としての名前を考えて、オリジナルのめくりを作成します。  
(作り方などの資料をお渡しいたします、ワークショップの時にご説明いたします)



### 🐦 着物を着て舞台へ

落語を発表する代表者には着物を着て登場してもらいます。  
最後に着物のたたみ方をお教えします。  
実際に浴衣を着る機会に活用していただけます。

※ご希望の場合着付け教室を開催することも可能です。



ワークショップ  
実施形態の意図

### 話し方のコツをつかみ、聞き手へ伝える表現力が身に付く

落語には、「小噺」「ことばあそび」「しゃれ」など日本語のことばを学べる要素が  
ふんだんに盛り込まれています。

「間」の取り方、上下(かみしも)をつける話し方、しぐさなど、聞き手にわかるようにする  
「伝える力」「表現する力」、言葉にリズムをつけて話す「音楽性」などの技術がつまっ  
ています。

楽しみながら日本語を学べるというメリットがあります。

また、落語には学習指導要領にある「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「伝統的言語文化  
と国語の特質に関する事項」が含まれています。

聞く人に豊かな情景を思い描いてもらうための表現力も重要になります。

落語家の高度な話し方の技術を学び、「話す力」「表現する力」を育んでもらい、  
スピーチをするときに役立てたり、他者へ気持ちをうまく伝えて  
コミュニケーションをとることに応用してもらいたい。

この技術は、先生が子どもたちに物事を伝える時の参考にもなります。

## 日本語のことばを楽しみながら学べる

落語『寿限無』では、小学校の国語の教科書に取り入れられるようになり、親しみやすい内容という他に、「寿限無寿限無ごころのすりきれ……」ということばの歯切れの良いリズムが子どもたちにうけ、自然と覚えようとします。

落語『平林』では、漢字の読み仮名や漢字を分解することで漢字の持つ意味や成り立ちを遊びながら自然と覚えることができます。

「普段なにげなく使っている日本語は、少し考えるとこんなにおもしろいんだ」と日本語のことばの面白さを再発見してもらうことがねらいです。

## 国語の授業をそのまま伝統芸能を教える場に

わんぱく寄席を学校で行ったときに先生によく言われるのは、

「伝統芸能を子どもたちに教えることが学習指導要領に入っているが、自分たちも伝統芸能を知らないし、どのように教えていいかわからない」という声をききます。

最近では国語の教科書に落語を題材としたものが増えていますが、

実際は CD 音源を活用して生の落語は聞いたことがない学校があるのが現状です。

このワークショップを国語の授業の一環として活用してもらうことがねらいです。

1 限目で生の落語を聞いてもらい、2 限目でそれについて子どもたちが話しあう。

実際に声を出してセリフを話し、間の取り方、上下(かみしも)を使い分ける演じ方を話し方のプロである落語家が直接みなさんと向き合ってお教えます。

この機会を、国語の学習として、また「伝統的言語文化と国語の特質に関する事項」を学ぶ場として活用してもらいたいと思います。

## 日本人の感覚を研ぎすます

手ぬぐい、着物、浴衣、羽織、足袋など、今はなかなか触れる機会が減った日本の伝統的な「和」に触れる。

普段身近ではなくなっている手ぬぐいですが、手ぬぐいの柄には様々な意味があり、その模様には縁起を担ぐもの、駄洒落を模様にしたものとデザイン的にユーモアで粋なものがたくさんあります。

東京オリンピックのエンブレムで使われている「市松模様」は「途切れることなく続いていく」ことから縁起の良い模様とされており、今回の舞台装置にも使用しております。

江戸時代からある日本の柄のデザインの面白さ、美しさを改めて学んで頂き、訪日外国人旅行者や東京オリンピックに訪れる海外の方々に日本の伝統的なデザインの面白さを通してコミュニケーションをとるきっかけになればと思います。

また、和服を着る機会が少ない子どもたちに、浴衣のたたみ方や、足袋のはき方を覚えてもらい、実際に浴衣を着る機会があったときに、浴衣をたためるようになってもらいたいと思います。

## 落語から感じるコミュニケーションの取り方

現在は SNS などのつながりが多く、人と人とのコミュニケーションの取り方が変わってきています。

その中で問題になっているのが、相手への言葉の暴力です。相手の表情が見えず、物事を善悪でしか捉えられず、相手とのコミュニケーションが取りづらい社会になっています。

落語の中には、憎めない愛すべき登場人物がでできます。どこか間が抜けていたりクスッと笑える人間味があるのが落語の醍醐味です。実際の生活の中でも落語のおおらかさを

	<p>取り入れて、物事を善悪だけで捉えるのではなく、相手の気持ちになったり、相手の人間性の良さを考えて付き合うようになってもらいたいと思います。</p> <p>また、落語を通して想像することの楽しさを知ること、落語の本を読んだり、おはなしの本を読むなど、自然と読書をする機会が増えるように促すことの手助けになればと思います。</p>
特別支援学校での実施における工夫点	<p>先生とご相談しながら、児童・生徒さんにあったものを行います。</p> <p>ワークショップの内容もあわせることは可能です</p>
実施可能時期	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

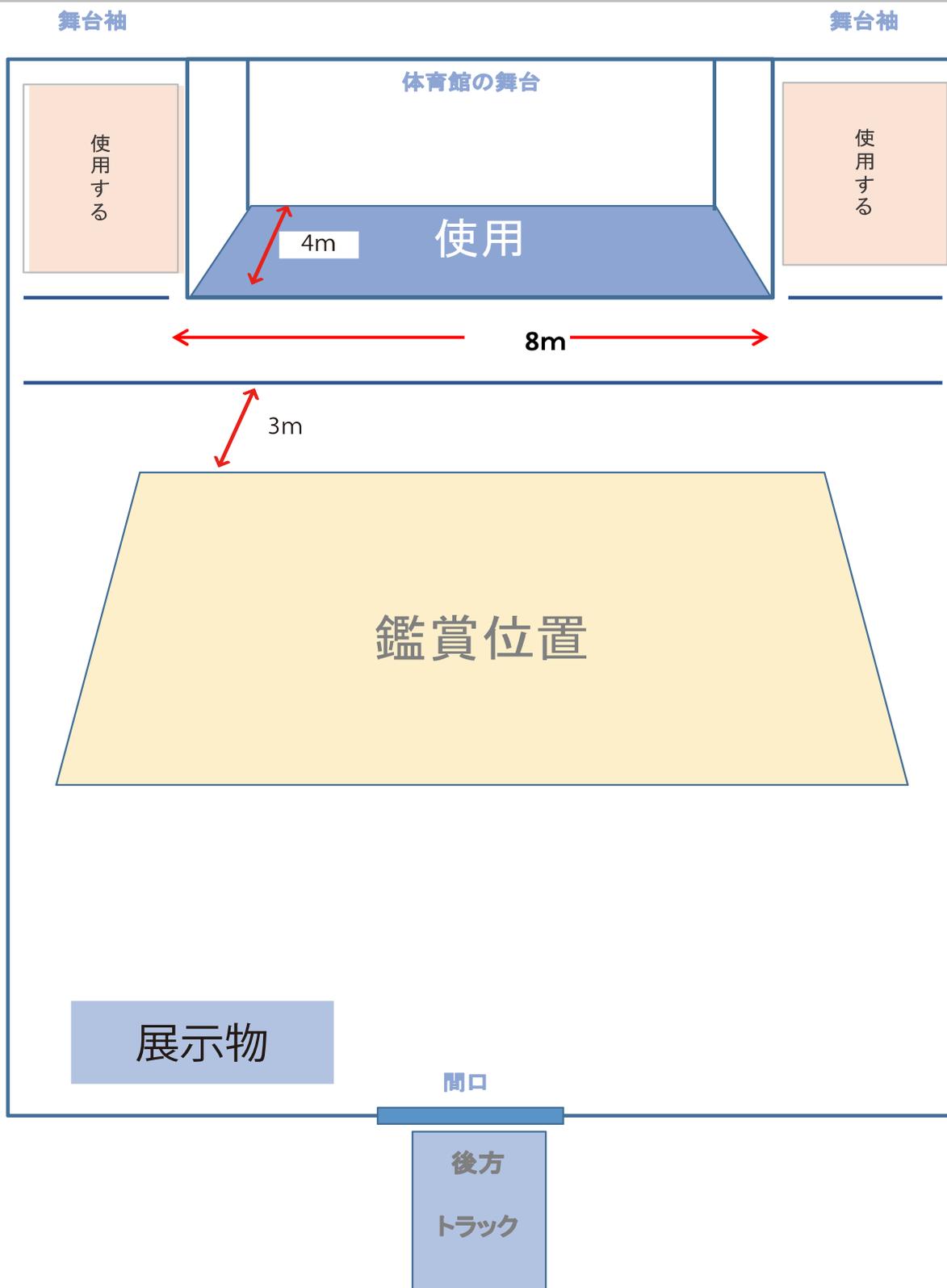
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1304	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	区分	A区分
公演団体名	わんぱく寄席・学校寄席			制作団体名	わんぱく企画 有限会社			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数*	1室	条件				
搬入について	可	来校する車両の大きさ*と台数*			バン	1台	バン	1台
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン1台			
	可	搬入車両の横づけの要否*			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離*			30m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			大きい荷物を運ぶため。			
	可	設置階の制限*			問わない			
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		1限目全員参加 2限目80名以下				
	可	学年の指定の有無*		なし	指定学年*	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分		1限目60分 2限目45分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		800名程度				
	可	舞台設置場所*		体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定無し
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保*		要		
	可			舞台袖スペースの条件*		袖に荷物が無い状態		
	可			緞帳*	要	バトン*	要	
	可	遮光(暗幕等)の要否*		不要	理由	暗幕は使いません		
	不可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動*	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律*	不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							
可	公演が午前中になる場合は前日仕込みになります							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

# 笑 ばんばく 寄席

わんぱく寄席で“わっはっは！”  
 おなかのそこから大笑い！  
 “こわいおぼけのお話からゆかいでたのしいお話まで  
 あたまの中で想像をふくらませてつくる世界。”



漫才



落語



手品



太神楽  
 曲芸



紙切



# 落語の解説

落語を聞くときの決まり事や、寄席にまつわることなどをわかりやすく解説いたします



礼に始まり、礼に終わる……  
まずはおじぎから！



落語家が登場してから、まずはお客様におじぎをします。最初におじぎの仕方をお教えいたします。手で三角をつかってその中に鼻を入れるようにして……

## 体験ワークショップ

### しぐさ

落語では、てぬぐいと扇子だけでさまざまなもの表現します。実際にやってみよう！



### 小断

短い文章でオチがつくかんたんな小断を教わって披露します

### 体験しよう！

### お手本



おまんじゅうを食べるしぐさをしてみよう

# わんぱく寄席

## 落語はこれだけ役に立つ！

### ポイント1

正しくきれいな発音  
落語は師匠から口伝で伝えられてきた口承文字です。文字には表せられない声の抑揚など、話す言葉のテンポや、話し方の取り方で人々を話の世界へと誘います。

### ポイント2

所作や姿勢は礼儀のかがみ  
落語家になるためには、厳しい修行の時期が何年間もあります。この修行の期間に字ぶのは、実は『落語』だけではありません。近年日本人がおろそかにしてしまっている礼儀作法や所作のあり方も落語家は身につけなくてはならないのです。『粋』や『いなせ』と呼ばれる落語家の風情は、実は厳しい修行の賜なのです。

### ポイント3

想像する力が伸びる！  
落語とは、よく『想像の芸術だ』と言われる。扇子や手ぬぐいだけで刀やお箸、手紙や本を表現するのです。想像するのはお客様さんですから、落語家はお客さんの『想像のナビゲーター』です。

### ポイント4

笑いとは心の健康法！  
『笑つことが体にいい』と医学的にも検証されていますが、これは体に限ったことではありません。カラダにもココロにもいいのが『笑い』です。感想文に『生まれて初めて笑った』という声をいただきます。最近の忙しい子どもたちにとって笑いの時間は、カラダとココロのケアになります。

落語家は師匠から口伝で伝えられてきた口承文字です。文字には表せられない声の抑揚など、話す言葉のテンポや、話し方の取り方で人々を話の世界へと誘います。低学年の児童にはわかりにくいとご心配の先生も、子どもたちが大笑いされている姿に驚かれています。落語家の話芸を、先生が児童のみなさんにお話する時にお役立ていただければと思います。

落語家の表現するものが犬だった場合、お客様さんの頭の中にはそれぞれ思い思いの犬が登場することでしょう。犬が森に行つたなら、またそれぞれの森が想像されます。落語家のナビゲーターの中、皆さんの想像力は無限に広がっていくことでしょう。

